令和３年度
事業報告書・収支決算書

足腰の強い「健都ふくしま」を目指して
コロナ禍を乗り越える活力づくり

自　令和３年４月１日
至　令和４年３月31日

福島商工会議所

目　次

総括的概要 …… 1

令和３年度　施策体系 …… 3

Ⅰ　定款および規約等

1　定　　款…… 11
2　規　　約…… 11

Ⅱ　組　　織

1　会　　員…… 12
2　特定商工業者…… 13
3　役　　員…… 13
4　議員定数…… 15
5　正副部会長…… 19
6　正副委員長…… 20
7　顧問・参与…… 21

Ⅲ　議員選挙および役員議員の選任

1　議員の選挙…… 22
2　役員の選任…… 22
3　役員議員の補充選任…… 22

Ⅳ　事 務 局

1　組　　織…… 24
2　職　　員…… 24

Ⅴ　庶　　務

1　文　　書…… 25
2　授　　章…… 25
3　名義承諾…… 26
4　慶弔・その他…… 27

Ⅵ　会　　議

1　議員総会…… 28
2　常議員会…… 29
3　正副会頭会議…… 29
4　監 査 会…… 30
5　議員懇話会…… 30
6　部　　会…… 31
7　委 員 会…… 37

Ⅶ　事　　業

1　各種事業

Ⅰ　活力ある福島の創造

ⅠＡ　ふくしま将来ビジョンの推進…… 44
ⅠＢ　政策提言・要望活動の推進…… 45
ⅠＣ　中心市街地の活性化…… 47
ⅠＤ　広域連携の推進…… 52
ⅠＥ　観光振興と交流人口拡大の推進…… 54
ⅠＦ　地域の祭り・伝統文化の興隆…… 57
ⅠＧ　消費拡大の推進…… 59

Ⅱ　会員事業所の発展

ⅡＡ　小規模事業者の伴走型支援の推進… 63
ⅡＢ　相談支援体制の充実・強化…… 63
ⅡＣ　経営革新の推進…… 63
ⅡＤ　事業継承・事業再生の支援…… 63
ⅡＥ　創業の推進…… 63
ⅡＦ　ビジネス拡大の推進…… 64
ⅡＧ　人材育成事業の推進…… 68
ⅡＨ　雇用対策事業の推進…… 77
ⅡＩ　各種調査・情報提供…… 80
ⅡＪ　業種別振興事業の推進…… 83
ⅡＫ　福利厚生の充実…… 84

Ⅲ　魅力ある商工会議所
ⅢＡ　商工会議所の運営強化…… 87
ⅢＢ　運営基盤の強化…… 94
ⅢＣ　事務局機能の強化…… 94
ⅢＤ　情報収集力と発信力の強化…… 95

2　意見活動（陳情・要望活動等）…… 98

3　調査研究…… 98

4　広　　報…… 98

5　証明等（貿易関係証明）…… 98

6　技能技術の普及および検定…… 98

7　経営改善普及事業…… 99

8　受託事業……113

Ⅷ　登　　録

1　法定台帳……114

Ⅸ　事務所等 ……114

Ⅹ　団体への加入および連携

1　日本商工会議所……115
2　東北六県商工会議所連合会……115
3　福島県商工会議所連合会……116

Ⅺ　その他の会議等への参加 ……117

令和３年度収支決算書

1　収支決算総括表……121

2　一般会計収支決算書……122

3　特別会計収支決算書
(1)　中小企業相談所収支決算書……124
(2)　会員事業所共済制度等収支決算書……126
(3)　特定退職金共済制度収支決算書……127
(4)　職員退職給与積立金収支決算書……128
(5)　会館営繕準備積立金収支決算書……128
(6)　財政調整積立金収支決算書……129
(7)　ふるさと元気支援基金収支決算書……129
(8)　まちづくり推進基金収支決算書……130
(9)　記念行事準備積立金収支決算書……130

4　貸借対照表……131

5　財産目録……132

6　監査報告書……134

事業報告書

総括的概要

新型コロナウイルス感染症の収束はなおも見通せず、さらには供給制約や石油・原材料の高騰による収益の悪化に加えて、国際紛争による世界経済への影響など会員事業所を取りまく環境は非常に深刻な状況であった。

令和２年３月25日に渡邊博美会頭を本部長とする「新型コロナウイルスに伴う経営支援対策本部」を設置して以降、この緊急事態に対応するための各種取組みを相次いで展開した。ホームページやSNS等を通じて各種支援策の迅速な周知を図ったほか、コロナ対応への経営相談体制を強化し、中小企業診断士などの専門家と連携した特別経営相談会を毎月開催するなど会員事業所に真摯に寄り添った。

コロナ禍の影響調査によって寄せられた会員事業所の声は、福島市議会議員との懇談会をはじめ国、県、市に伝え、大胆な経済対策の実施などを訴えた。

地域一丸となってコロナ禍を乗り越えるためには、「新しい生活様式」の実践とともに感染対策の徹底とウィズコロナ、アフターコロナを見据えた経済活動の両立が欠かせないため、特に影響が深刻な飲食業を支援する「ランチで食うポン」事業を春・秋の２回実施したほか、令和３年12月に酒類提供飲食店支援事業「呑んde食うポン」を発行するとともに、同参加店で使えるプレミアム率200％の「会員限定プレミアム飲食券」を販売して飲食店を支援した。

福島商工会議所の基本理念である「足腰の強い『健都ふくしま』を目指して」の下、年間テーマである「コロナ禍を乗り越える活力づくり」に向けて、会員事業所と地域に寄り添った活動を積極的に展開した。

令和３年度も３つの施策体系に基づいて事業を展開し、１つ目の「活力のある福島の創造」については、令和３年４月に開設された福島県立医科大学保健科学部の新入生への歓迎おもてなし事業を展開し、中心市街地における若者の滞留時間の増加を図った。広域連携においては、福島、相馬、米沢の沿線３商工会議所の悲願であった東北中央自動車道相馬福島道路の全線開通を記念した祝賀会・記念講演会を開催し、３商工会議所の一層の連携をさらに深めた。

２つ目の「会員事業所の発展」については、平成30年３月に経済産業大臣から認定を受けた「経営発達支援計画」に基づいて事業者に寄り添った伴走型支援を推進するとともに、新型コロナウイルスの影響を受けた事業者向けの各種協力金・支援金等の申請におけるサポートや持続化補助金などの補助事業計画の策定支援などを通じて、会員事業所の安定・継続につなげる経営支援を展開した。

自然災害が相次ぎ、事業継続計画（BCP）策定の支援に取り組む中、令和３年２月13日に発生した福島県沖を震源とする地震の際には、迅速な相談窓口の開設と被災会員事業所の復旧・復興に向けて、福島県「中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業」を活用した支援を行うとともに、令和４年３月16日に発生した福島県沖を震源とする地震においても、迅速な相談窓口の設置はもちろん、同様の対応を実施するために、今後予定されるグループ補助金などの支援情報について配信した。

３つ目の「魅力ある商工会議所」を体現するために、令和３年８月にLINE公式アカウントを開設し、事業者向けの支援策やイベント情報を積極的に発信するなど情報発信力（見え

る化）の強化を行ったほか、会員巡回を通じて「商工会議所活用辞典」ダイジェスト版を全会員にお届けした。

財　　政

◇収入について

会費については、議員会費・一般会費・特定商工業者ともほぼ予算通りとなり、会費収入総額は前年度決算対比131千円増の93,137千円となった。

補助金については、コロナの影響により事業費の一部減額はあったが、補助対象職員の１名増や、福島県沖地震の復旧のためのグループ補助金交付により、県・市補助金総額は前年度比7,011千円増の125,920千円となった。

事業収入については、コロナ対策として実施した酒類提供飲食店プレミアム食事券事業等の販売収入2,748千円のほか、所報広告料は前年度比1,940千円増の5,933千円となった。一方、検定事業の収入は、簿記･販売士検定の一部がネット試験となったことで前年度比2,774千円の減となり4,841千円となった。また、受託費・補助金については、福島県飲食店前払利用券事業（おらほ券）の実施期間が４月から６月までの３ヶ月に短縮したことなどにより、前年度比49,520千円減の63,464千円となった。また、収益事業については、生命共済・個人保険等手数料は前年度比2,902千円減の110,202千円、パソコン教室受講料は5,126千円増の34,831千円、損害保険手数料は890千円増の6,419千円、その他の事業収入は税務支援手数料等の収入により8,865千円増の24,151千円、特退金の保険料等は39,237千円増の174,700千円となり、収益事業全体として51,307千円増の350,315千円となった。

◇支出について

事業費については、飲食店支援として酒類提供飲食店プレミアム食事券事業や呑んで食うポン事業を実施し、またコロナ対策相談窓口事業や伴走型支援事業も昨年同様実施したが、新型コロナウイルスの影響による各種イベント等の縮小や受託事業の縮小などにより、支出総額は前年度比4,255千円減の354,220千円となった。

管理費については、人件費は検定試験やイベント中止による超過勤務手当の減、また賞与の支給率の減により、前年度比5,710千円減の216,038千円となった。また、事務費等については、福島県沖地震の被害による修繕費・備品購入費を含めて12,943千円増の78,691千円となり、管理費の支出総額は前年度比7,232千円増の294,730千円となった。

積立金については、記念行事積立へ1,000千円、会館営繕積立へ1,500千円、財政調整積立へ1,500千円、まちづくり推進基金積立へ5,000千円、退職給与積立へ17,000千円を計画通り積み立てることができた。

◇繰越金について

次年度の繰越金となる一般会計収支剰余金は37,523千円となり、今後の安定的な事業運営および環境変化や不測の事態に対応するための必要な事業を実施できる健全な財政内容となった。

令和３年度　施策体系

施策 Ⅰ　活力ある福島の創造（地域経済の活性化）

Ⅰ－A　ふくしま将来ビジョンの推進

1　SDGsなど新しい視点によるアクションプランの見直しならびに進捗管理

(1)部会・委員会等連携による具体的事業の実施

(2)福島市をはじめとする関係機関への提言ならびに要望活動の実施

Ⅰ－B　政策提言・要望活動の推進

1　商工会議所ネットワークの活用・強化による提言能力・実現力の向上

(1)部会・委員会による地域課題の調査・研究

(2)日本商工会議所、東北六県商工会議所連合会、福島県商工会議所連合会との連携

(3)各種経済団体・業界団体・大学等との政策課題の調査・研究

2　政策提言・要望活動の実施

(1)コロナ禍等に対応した中小企業支援対策等に関する要望

(2)福島駅周辺を核とする中心市街地活性化に関する要望

(3)福島市の都市形成およびまちづくりの推進に関する要望

(4)中核市としての独自の施策の実施および連携中枢都市圏構想の推進に関する要望

(5)復興のための幹線道路の整備促進および建設促進に関する要望

(6)観光振興および交流人口拡大に関する意見・要望活動の実施

(7)東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組みの強化に関する要望

(8)原子力災害に関する要望

Ⅰ－C　中心市街地の活性化

1　中心市街地活性化の推進

(1)福島市中心市街活性化協議会の運営と第３期基本計画の推進

(2)福島駅周辺を核とする中心市街地の活性化

①福島駅東口地区再開発事業への支援・協力

②福島駅前通りホコ天事業への支援・協力

③福島駅エリアの東西一体化に向けた推進体制の整備

④福島駅周辺（駅前通り等）における賑わい創出イベント等の実施

⑤まちづくり推進基金を活用した中心市街地活性化のための調査・研究およびイベント推進

⑥街なか広場の利活用の推進

(3)県立医大保健科学部のまちなか受入れ事業の実施

①新入生歓迎おもてなし事業の実施

②県立医大保健科学部開設に伴う住居ニーズへの対応

(4)若者のまちづくりへの参画の推進

①若い世代に魅力のあるまちの創造と学生が滞留するための施策の検討

②市内の学生および若者をまちづくり活動に取り込む仕掛けづくりの検討

(5)㈱福島まちづくりセンターとの連携

2　世代を超えて集える賑わい創出の推進

(1)福島駅前元気プロジェクト（春・夏・秋・冬）等のにぎわい創出イベントの展開

(2)商店街等の各種行事・イベントへの支援・協力

(3)関係団体との情報・意見交換

3　都心居住の推進

(1)県立医大保健科学部開設に伴う住居ニーズへの対応（再掲）

(2)集合住宅、ニーズに対応した居住サービスの提供に関する検討

(3)空家対策の推進

4　情報の発信

(1)ホームページ「まちなかイベントカレンダー」等情報発信の強化

(2)まちなかイベントの相互のPRの推進

Ⅰ－D　広域連携の推進

1　県境を越えた広域連携の推進

(1)東北中央自動車道を活用した広域連携の推進（福島・相馬・米沢・山形）

①相馬・米沢方面からの誘致策の検討

②東北中央自動車道沿線道の駅等を活用した本市観光PR事業の実施

③仙台国際空港を活用した広域観光周遊ルートの検討

④福島大笹生IC周辺に整備される「（仮称）道の駅ふくしま」を活用した広域観光の推進

⑤相馬・米沢の企業・山形大学工学部および商工会議所等との交流推進

⑥連携中枢都市圏構想を見据えた福島市周辺の経済団体による連携事業の推進

⑦福・相・米「観光ドライブMAP」改正版の発行

(2)東北中央自動車道、福島西道路沿線における土地利用に関する調査・研究

(3)連携中枢都市圏構想による中小企業振興の推進

(4)東北中央自動車道大笹生IC周辺整備（（仮称）道の駅ふくしま、工業団地等）の促進

(5)被災三県朝ドラ連携プロジェクトの支援・協力

2　福島西道路の南進・東北中央道霊山ICと医大を結ぶ新たな国道115号線ルートの整備促進

Ⅰ－Ｅ　観光振興および交流人口拡大対策の推進

1　東北デスティネーションキャンペーン（東北DC）に連動した誘客事業の実施および支援

⑴東北DCに連動した観光資源（「エール」ロケ地（水林自然林・民家園等）・花見山・花ももの里等）PR事業の実施

⑵東北DC成功へ向けた市内企業・商店街・市民等へのおもてなし啓発活動の実施

⑶東北DC応援企画「TOHOKUサポーター」登録募集活動への協力

⑷優待お食事券事業によるJRとの連携事業の実施

⑸福島駅周辺での観光誘客イベント（ハル・ナツ・アキフェス）の開催

⑹「花のまちふくしま」による誘客事業の実施

①「ふくしま花のまちフェスティバル2021」の実施

⑺東北の情報発信拠点事業「東北ハウス」による連携事業の推進

2　地域資源を活用した観光素材等の情報発信による誘客の推進

⑴古関裕而氏を活かしたまちづくりの推進

①福島市が行う「古関裕而のまち・ふくしま」シンフォニーへの支援・協力

②「古関裕而氏の野球殿堂入りを実現する会」への支援・協力

③青年部「古関裕而関連事業」への支援・協力

⑵まつり（東北絆まつり2021山形・第52回福島わらじまつり）を活用した地域活性化の推進

⑶第52回福島わらじまつりへの「エール」出演者の誘致活動の実施

⑷ふくしま地域ポータルサイト「ももりんく」の運営支援

3　観光振興のための連携の推進

⑴仙台国際空港を活用した南東北３県にまたがる広域的な観光商品の検討

⑵周辺市町村と連携した広域観光の推進

①「相馬野馬追」「米沢上杉まつり」などを活用した相馬・米沢との連携による広域観光の推進

②「福島ロボットテストフィールド」等を活用した観光振興

⑶福島市観光コンベンション協会との連携強化

4　交流人口拡大に向けたスポーツイベントへの支援・協力

⑴東京2020オリンピック（福島市開催）への支援

①福島わらじまつりによるオリンピック歓迎事業の推進

②東京オリンピック（福島市開催）に向けた各種歓迎イベントとの連携強化

⑵スイス連邦、ベトナムのホストタウンとしての交流への支援

⑶福島ユナイテッドFCへの支援（サポーターズクラブ加入促進等）

⑷「大相撲大波三兄弟福島後援会」への支援

5　国際交流およびインバウンド推進

⑴アフターコロナに向けたインバウンド対応の推進

①外国人との接客に関するおもてなしセミナーの実施

②インバウンド受入れ態勢の充実

③インバウンド受入れ拡大に向けた情報発信の強化

⑵ふくしま台湾友好協会の交流の促進

Ⅰ－Ｆ　地域のまつり・伝統文化の興隆

1　第52回福島わらじまつりの開催
［８月６日（金）・７日（土）］

2　東北絆まつり2021山形への福島わらじまつりの参加
［５月22日（土）・23日（日）］

3　第43回ふくしま花火大会への協力

4　ふくしま山車祭りへの協力

5　信夫三山暁まいりに対する協力

Ⅰ－Ｇ　消費拡大の推進

1　飲食店の消費拡大の推進

⑴優待お食事券事業「2021ランチで食うポン（春・秋）」の実施

施策Ⅱ　会員事業所の発展（企業の安定・成長）

Ⅱ－A　コロナ禍および地震対策に対応した会員事業所の再生支援

1　新型コロナウイルス対策支援事業への迅速な対応

2　中小企業の事業再構築（新分野展開、業種展開、事業・業種転換）への支援

3　令和３年福島県沖地震災害への支援・協力

4　福島県小規模いきいき支援事業に対する支援・協力

5　連携による中小企業振興の推進

(1)福島市中小企業振興基本条例に関する支援・協力

(2)オールふくしま中小企業・小規模事業者経営支援連絡協議会に対する支援・協力

Ⅱ－B　相談支援体制の充実・強化

1　さまざまな経済環境に対応した経営相談の充実

2　金融に関すること

(1)小規模事業者経営改善資金融資制度（マルケイ融資）の利用促進

(2)小規模事業者経営発達支援融資事業の利用促進

(3)各種制度資金（国・県・市等）の利用促進

(4)金融相談会の開催

3　税務申告業務の充実

(1)税務事務自立化への支援強化（セミナー、個別相談会の開催）

(2)記帳の電子化・クラウド化に関する支援（ブルーリターンＡ等）

(3)消費税申告に関する支援

4　消費税に関すること

(1)消費税対策窓口相談事業の実施

①個別経営なんでも相談会の開催

②消費税に関するセミナーの開催

5　労務に関すること

6　原子力損害賠償に関すること

7　専門家による指導体制の充実

(1)中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業

(2)嘱託専門職員（専門指導センター）の活用

(3)専門家（中小企業診断士等）の個別企業への派遣指導

(4)弁護士、社会保険労務士等による個別相談の実施

(5)国際ビジネスアドバイザーによる貿易相談の実施

8　事業継続計画（BCP）に関する支援

(1)自然災害や新たな感染症などの緊急事態に備えたBCPの策定支援

(2)事業継続力強化支援計画の策定・認定（福島市との共同作成）

(3)経営セーフティ共済（中小企業倒産防止共済制度）の普及促進

(4)BCPと連動した提携損害保険の推進

Ⅱ－C　経営革新の推進

1　経営革新等支援機関としての経営革新支援の充実・強化

(1)経営革新計画策定および認定に関する支援

(2)経営革新に関する個別相談会の開催

Ⅱ－D　ビジネス拡大の推進

1　小規模事業者の販路拡大支援（補助金活用による経営安定化の推進）

(1)「ランチで食うポン」の充実および参加店のレベルアップによる飲食業の支援

(2)福島のフルーツを活用したスイーツのブラッシュアップ事業の実施

2　医療福祉分野、再生可能エネルギー分野、ロボット産業分野への参入支援

3　医療連携推進事業の充実

(1)ふくしま医療関連ビジネス研究会の推進ならびに福島県立医科大学と中小企業のマッチングおよび医療機器メーカーと中小企業のマッチング支援

4　産学官連携の推進

(1)東北中央自動車道を活かした米沢市・相馬市の事業所や山形大学工学部等との連携の推進

(2)福島大学食農学類をはじめとした市内大学と連携した６次化の検討

(3)研究機関や行政等との連携による新産業育成支援強化

(4)福島県立医科大学「ふくしま国際医療科学センター」と地元企業との連携に関する研究

(5)福島イノベーション・コースト構想に関する地域企業との連携

5　ビジネスチャンスの提供

(1)会員交流会・商談会、新入会員交流会の開催

(2)ICTの利活用の推進（ザ・ビジネスモールの登録推進等）

(3)所報のチラシ折込サービス・広告掲載による取引拡大支援

(4)商取引の照会・斡旋

6　優良会員事業所表彰制度の充実

Ⅱ－E　事業承継・事業再生・事業再構築の支援

1　後継者対策、事業承継に関する支援の充実

(1)事業承継のマッチングに関する支援

(2)事業承継に関する個別相談の実施

(3)福島県事業承継・引継ぎ支援センターと連携した無料相談会の開催

2　事業再生に関すること

(1)経営安定特別相談事業による倒産防止相談の実施

(2)事業転換に関する支援

3　事業再構築に関すること（再掲）

(1)中小企業等事業再構築補助金の採択支援

Ⅲ－F　創業の推進

1　創業スクールの実施

2　創業に関する個別相談の充実

(1)ビジネスプラン作成の支援

(2)開業資金の調達に関する支援

Ⅱ－G　人材育成事業の推進

1　人材育成・経営課題に関するセミナーの実施

(1)インターネットを活用したWEBセミナーの配信

(2)経営課題別セミナーの開催

(3)組織階層別セミナーの開催（新入社員、中堅社員、営業社員等）

(4)製造企業の技術力向上に関するセミナーの開催（県北技塾）

(5)生産性向上支援訓練の開催

①パソコン教室の運営

2　各種検定試験による商工技能の向上

(1)各種検定の実施

①日商簿記検定試験

②リテールマーケティング検定試験

③日商珠算検定試験

④PC検定試験

⑤福祉住環境コーディネーター検定試験

⑥ビジネス実務法務検定試験

⑦環境社会検定試験

⑧ビジネスマネージャー検定試験

⑨カラーコーディネーター検定試験

(2)検定試験受験に関する企業・大学等へのPR強化

Ⅱ－H　雇用対策事業の推進

1　雇用対策に関すること

(1)高等学校との連携による取組み（意見交換会・企業見学会等の開催）

(2)市内の大学との連携

(3)福島市雇用促進サポート事業の実施

(4)インターンシップの推進

(5)福島県プロフェッショナル人材戦略拠点との連携および普及・啓発

2　働き方改革・若者・女性活躍に関すること

(1)働き方改革に関する国の各種施策についての情報提供

(2)ICTによるデジタル技術活用による生産性向上への支援

(3)ワーク・ライフ・バランスの普及啓発および推進

(4)若者・女性の人材育成についての先進的な取組み事例の研究

(5)福島市人材確保支援事業の実施

(6)福島市若者自立支援仕事体験事業の実施

(7)女性就業促進に関する行政への要望

3　健康経営・職場環境に関すること

(1)健康経営に関する研究および情報提供

(2)健康経営セミナーの開催

(3)健康寿命延伸に関する調査・研究および推進

Ⅱ－I　各種調査・情報提供

1　登録・申請・検査業務の実施

(1)公害健康被害補償業務の徴収業務の実施

(2)容器包装リサイクル業務の実施

(3)原産地証明書の発行

2　地域経済に関する各種調査の実施

(1)LOBO（早期景況調査）調査

(2)中小企業景況調査

Ⅱ－J　業種別振興事業の推進

1　食品商業に関すること

(1)経営力強化に関すること

(2)新型コロナウイルス感染症に関する各種支援情報の提供

(3)商環境の変化への対応に関すること

2　生活関連商業に関すること

(1)新しい生活様式へ対応した個店の魅力向上支援

(2)おもてなしサービスの向上支援

(3)販売物流の情報提供と調査研究

3　工業に関すること

(1)SDGsの理念に基づく活動の推進

(2) 出前工場見学会の開催による地域内連携の強化

(3) 県内外商工会議所工業部会との交流の推進

(4) コロナ禍における人材育成事業および新型コロナウイルス感染症に関する情報提供

(5) 足腰の強いふくしまの実現に向けた産学官連携の推進

4　建設業に関すること

(1)建設業の基盤強化に向けた取組み

(2)新型コロナウイルス感染症対策への支援

(3)福島市の都市形成に関する検討

(4)建設業界に関する情報提供

5　金融・経営支援に関すること

(1)新型コロナウイルス感染症対策への支援

(2)中小企業支援のための各関係機関との連携強化

(3)新たな産業創出に資する研究開発拠点・産業集積拠点等の調査・研究

(4)経済・金融・経営および地域動向に関連する講演会の開催

6　観光・飲食業に関すること

(1)東北デスティネーションキャンペーン（DC）に連動した誘客事業への協力

(2)地域飲食店の繁盛支援

(3)新型コロナウイルス感染症等に関する各種支援情報の提供

(4)東京オリンピック・パラリンピックに向けた各種イベントとの連携強化

(5)関係機関等との連携の強化

7　情報・通信業に関すること

(1)テレワークなど新型コロナウイルス感染症対策でデジタル化に取組む会員事業所への支援

(2)ICTの利活用、情報提供に関する支援

(3)部会員スピーチの開催

(4)福島市のブランド力向上につながる情報発信への支援・協力

8　不動産業に関すること

(1)快適で魅力あるまちづくりと都心居住の推進

(2)今後の住宅ニーズの動向に関する調査および対策

(3)コロナ禍の業界への影響に関する調査および対策

(4)会員事業所への情報の提供

9　健康・社会サービス業に関すること

(1)部会員のおもてなし向上に向けた事業の推進

(2)部会員の健康経営の推進

(3)ICTを活用した生産性向上の支援

(4)部会員間の親睦事業等の実施

(5)会員事業所への情報提供

Ⅱ－K　福利厚生の充実

1　会員事業所の福利厚生と事業リスク対策の充実

(1)生命共済制度［エール共済］・個人保険の普及・拡大

(2)特定退職金共済制度の普及・拡大

(3)小規模企業共済制度の普及・拡大

(4)共済加入者還元事業の充実

2　会員事業所従業員の健康増進と疾病リスク対策の推進

(1)生活習慣病健診の実施

(2)人間ドック健診の実施

3　会員事業所従業員の永年勤続表彰事業の実施

施策Ⅲ　魅力ある商工会議所（商工会議所の活性化）

Ⅲ－A　商工会議所の運営強化

1　運営強化のための会議等の充実
- ⑴ 常議員会・議員懇話会の充実
- ⑵ 正副会頭と部会長・委員長会議の開催
- ⑶ 女性会・青年部と正副会頭との意見交換会の開催
- ⑷ 福島市・福島市議会との意見交換会の開催
- ⑸ 他地区商工会議所の視察および懇談会の開催
- ⑹ 議員ゴルフ等の議員親睦事業の開催
- ⑺ 福島市新年市民交歓会の開催

2　商工会議所組織の活性化に関すること
- ⑴ 部会・委員会の活性化

3　会員サービスの充実
- ⑴ 会員ニーズ把握のための調査の実施
- ⑵ 会員交流会・商談会、新入会員交流会の開催（再掲）
- ⑶ オリジナルカレンダーの作成・配布

4　女性会・青年部の運営支援と連携強化
- ⑴ 福島商工会議所女性会の運営
- ⑵ 福島県商工会議所女性会連合会の運営
  - ①全国商工会議所女性会連合会2021福島全国大会の受入れ
- ⑶ 福島商工会議所青年部の運営
- ⑷ 各種事業への支援と連携強化

5　福島県商工会議所連合会の運営
- ⑴ 各種会議の開催（会頭会議、総会、政策委員会、幹事会、事務局長会議、中小企業相談所長会議等）
- ⑵ 福島県等への要望の実施
- ⑶ 風評被害・風化対策事業の実施
- ⑷ 県内商工会議所職員研修の実施

6　外郭団体との連携
- ⑴ 福島市商店街連合会
- ⑵ 福島市商店街連合会青年部
- ⑶ 福島青色申告会連合会
- ⑷ 福島市青色申告会
- ⑸ 福島県珠算連盟
- ⑹ 福島珠算連盟
- ⑺ 福島わらじまつり実行委員会
福島夏まつり委員会
- ⑻ 福島エネルギー懇談会
- ⑼ 東北経済連合会福島地域懇談会
- ⑽ 福島県警察官友の会連合会
- ⑾ 福島地区警察官友の会
- ⑿ 福島県自衛隊協力会連合会
- ⒀ 福島市自衛隊協力会
- ⒁ 福島県クリーンふくしま運動推進協議会県北地域協議会
- ⒂ 福島リサイクル推進協議会
- ⒃ ふくしま台湾友好協会
- ⒄ 福島県商工３団体暴力団等排除対策協議会
- ⒅ 福島市にサッカースタジアムを作る会
- ⒆ 大相撲大波三兄弟福島後援会
- ⒇（仮称）福島駅エリア東西一体化推進協議会

Ⅲ－B　商工会議所の情報発信力（見える化）の強化

1　情報戦略の構築
- ⑴ 会員事業所への情報発信の強化
  - ①SNSを活用したセミナー、イベント等の開催案内など情報発信力の強化
- ⑵ 未加入事業所と市民への情報発信の研究・強化
  - ①ももりんビジョンによる情報発信
- ⑶ メディアへの情報発信の強化
  - ①マスコミとの意見交換会の開催
  - ②各種メディアによる情報発信

2　所報ふくしまの発行と内容のさらなる充実

3　ホームページおよびICT環境の整備促進

4　資料提供の拡充・強化

Ⅲ－C　運営基盤の強化

1　組織基盤の強化
- ⑴ 組織率40％達成に向けた会員増強運動の実施
- ⑵ エール共済の維持拡大および会員限定の損害保険の加入促進

2　会員事業所の巡回訪問

3　未加入事業所に対する会員加入勧奨

Ⅲ－D　事務局機能の強化
1　所内の新型コロナウイルス感染症対策の徹底
2　職場におけるメンタルヘルス・ハラスメント対策の徹底
3　環境変化に対応した支援組織としての組織のあり方の検討
4　職員の経営支援能力等の向上
⑴経営指導員、経営指導補助員研修会など職層に応じた各種研修への参加
5　働き方改革の推進
6　各種業務の見直しおよび改善の徹底
7　法令順守体制の強化

Ⅰ　定款および規約等

※下線部分は変更箇所を示す

1　定　　款

定款の改正

なし

2　規　　約

規則等の改正

⑴　**職員給与規則の一部改正**

■改正決議　　令和３年11月２日　　第２回常議員会

■改正要旨　　小規模事業経営改善支援事業費の補助対象職員への人件費補助の変更に伴う職員給与規則の改正

・期末手当の見直し（第20条）

■施行期日　　令和３年12月１日

⑵　**職員就業規則の一部改正**

■改正決議　　令和４年３月28日　　第４回常議員会

■改正要旨　　１．令和４年４月1日から職場におけるパワーハラスメント防止措置が義務化されることを受けての改正

・職場におけるハラスメントの禁止（第43条）

２．年次有給休暇の取得促進として半日単位での取得を可能にするための改正

・年次有給休暇（第28条）

■施行期日　　令和４年４月１日

⑶　**育児・介護休業規則の一部改正**

■改正決議　　令和４年３月28日　　第４回常議員会

■改正要旨　　育児介護休業法改正に伴い令和４年４月１日から、雇用環境の整備、個別周知・意向確認の措置などが義務化されることを受けての改正

・育児休業の対象者（第２条）、介護休業の対象者（第６条）、円滑な取得および職場復帰支援（第19条）

■施行期日　　令和４年４月１日

Ⅱ 組　　織

1 会　　員

1．会員数

（　）内は前年度末数

①年度末会員数

3,716
（3,777）
新規　119
退会　180

②区分別会員数

個人　1,285（1,338）
新規76／退会102
※法人へ異動77

法人　2,361（2,318）
新規41／退会76
※個人より異動78

団体　70（　71）
新規２／退会２
※法人へ異動１

③地区別会員数

地区内会員数
3,442

地区外会員数
274

④会費持口数別（選挙権者数）会員数

100口以上／	50票	56会員
50～99口／	50票	77会員
30～49口／30～49票		11会員
10～29口／10～29票		67会員
5～9口／5～9票		136会員
2～4口／2～4票		1,919会員
1口／	1票	1,450会員

2．部　　会

部会名	所属業種	部会員数
食品商業部会	食品関連卸・小売、農業　等	252
生活関連商業部会	食品関連以外の商品を取扱う卸・小売、貨物・倉庫等運輸関係　等	659
工業部会	製造全般、自動車整備、広告・看板製造　等	419
建設業部会	建設業、建設材料卸業、各種計画・設計・監理　等	762
金融・経営支援部会	金融、証券、保険関係、弁護士･経営コンサルタント･中小企業診断士･公認会計士・税理士・社会保険労務士・行政書士　等	189
観光・飲食部会	旅客鉄道・バス・タクシー等輸送関係、飲食、旅館・ホテル、旅行、観光農園　等	454
情報・通信部会	新聞・放送、ICT関連、広告代理店、ソフトウェア関連開発　等	124
不動産業部会	不動産取引業、不動産賃貸･管理（ビルメンテナンス･駐車場管理含む）、土地家屋調査士・不動産鑑定士・司法書士　等	197
健康・社会サービス部会	医療・福祉・介護、理美容、生活衛生、リサイクル・環境関連、各種学校・教室、冠婚葬祭、警備、各種サービス　等	660
合　計		3,716

3．委員会

※議員、女性会、青年部で構成

委員会名	活動目的	委員数
総務委員会	商工会議所の組織運営に関すること	20
復興創生委員会	復興対策および将来ビジョンに関すること	34
中小企業振興委員会	企業支援および販路拡大に関すること	30
観光交流委員会	観光振興および交流人口拡大に関すること	23
中心市街地活性化委員会	商業振興および中心市街地活性化に関すること	23
雇用育成委員会	雇用対策および人材育成に関すること	20
合　計		150

2　特定商工業者

特定商工業者
1,733

法人 **1,704**

会　員　1,643
非会員　61

個人 **29**

会　員　29
非会員　0

会員合計　1,672
未加入事業所合計　61

3　役　　員

区　分	定　数	実　数
会　　頭	1名	1名
副 会 頭	4名	4名
専務理事	1名	1名
理　　事	2名以内	2名
常 議 員	43名	43名
監　　事	3名	3名
計	52～54名	54名

※常議員、監事は50音順

地　位	氏　　名	企業の名称および企業上の地位	業　　種
会　頭	渡 邊 博 美	福島ヤクルト販売㈱　代表取締役会長	食料品卸・小売業
副会頭	菅 野 日出喜	菅野建設㈱　代表取締役	建設業
副会頭	後 藤 忠 久	㈱後藤歯科商店　代表取締役	歯科機材販売業
副会頭	坪 井 大 雄	福島貸切辰巳屋自動車㈱　代表取締役社長	旅客運送業
副会頭	大 槻 博 太	大槻電設工業㈱　代表取締役	電気工事業
専務理事	石 井 浩	福島商工会議所	
常議員	博 多 義 雄	朝日システム㈱　代表取締役会長	情報処理サービス業
常議員	伊 藤 信 弘	㈱いちい　代表取締役社長	各種商品小売業
常議員	岩 見 政 弘	㈱岩見　取締役会長	業務用食品卸売業
常議員	内 池 浩	内池醸造㈱　代表取締役会長	調味料製造業
常議員	加 藤 利 夫	加藤鉄工㈱　代表取締役社長	金属製品製造業
常議員	川 瀬 成 人	㈱川瀬酒販　代表取締役	酒類小売業
常議員	清 野 弘	北芝電機㈱　取締役社長	電気器具製造業
常議員	吾 妻 学	キョウワプロテック㈱　代表取締役社長	総合ビル管理業
常議員	倉 島 卓 史	㈱クラシマ　代表取締役社長	石油卸売業
常議員	菅 野 孝太郎	こころネット㈱　代表取締役社長	冠婚葬祭・石材業
常議員	渡 邉 和 裕	㈱山水荘　代表取締役	旅館業
常議員	千 葉 政 行	㈱サン・ベンディング福島　代表取締役	清涼飲料水販売業

地　位	氏　　名	企業の名称および企業上の地位	業　　種
常議員	三　枝　通　晃	サンヨー缶詰㈱　　代表取締役社長	食料品製造業
常議員	大和田　知　昭	㈱大丸工務店　　代表取締役	建設業
常議員	馬　場　智　和	㈱ダイユーエイト　　取締役管理部長	日用品雑貨小売業
常議員	新　田　良　一	㈱テレビユー福島　　代表取締役社長	放送業
常議員	安　部　　宏	東栄物産㈱　　代表取締役会長	不動産業
常議員	佐久間　政　文	東信建設㈱　　代表取締役	建設業
常議員	遠　藤　勝　利	㈱東邦銀行　　常務執行役員本店営業部長	金融業
常議員	二階堂　宏　樹	東北電力㈱福島支店　　執行役員福島支店長	電気供給業
常議員	佐久間　信　幸	㈱日進堂印刷所　　代表取締役社長	印刷業
常議員	桃　井　三　夫	㈱日新土建　　代表取締役	建設業
常議員	梶　田　明　正	日東紡績㈱福島工場　　執行役グラスファイバー事業部門生産本部長兼福島工場長	繊維製造業
常議員	畠　山　良　平	東日本電信電話㈱福島支店　　支店長	電気通信業
常議員	加　藤　容　啓	㈱福島銀行　　取締役社長	金融業
常議員	畠　　利　行	福島県信用保証協会　　会長	金融業
常議員	村　上　伸一郎	福島交通㈱　　福島支社長	旅客運送業
常議員	小　河　日出男	福島市商店街連合会　　会長	小売商業団体
常議員	樋　口　郁　雄	福島信用金庫　　理事長	金融業
常議員	福　谷　宏　介	福島製鋼㈱　　代表取締役社長	鉄鋼業
常議員	百　田　昭　洋	㈱福島製作所　　代表取締役	船舶用機器製造業
常議員	横　山　　淳	福島テレビ㈱　　代表取締役社長	放送業
常議員	蔵　敷　大　浩	福島トヨタ自動車㈱　　代表取締役社長	自動車小売業
常議員	金　子　與志人	福島日産自動車㈱　　代表取締役社長	自動車小売業
常議員	石　本　　朗	㈱福島丸公　　代表取締役会長	水産物卸売業
常議員	中　尾　富　安	㈱福島民報社　　専務取締役	新聞発行業
常議員	中　川　俊　哉	福島民友新聞㈱　　代表取締役社長	新聞発行業
常議員	右　近　八　郎	㈱マクサムコミュニケーションズ　　代表取締役社長	携帯電話等小売業
常議員	鈴　木　宏　幸	㈱杜設計　　代表取締役	建築設計業
常議員	山　川　　彬	㈱山川印刷所　　専務取締役	印刷業
常議員	畠　　隆　章	㈲吉川屋　　代表取締役会長	旅館業
常議員	半　野　秀　一	㈱ラジオ福島　　会長	ラジオ放送業
常議員	山　岸　則　紀	ワイヂーエル㈱　　取締役会長	梱包資材製造業
監　　事	加　藤　　守	協三工業㈱　　代表取締役	輸送用機械器具製造業
監　　事	大　橋　廣　治	日東物産㈱　　取締役会長	内装工事業
監　　事	大　沼　健　次	ネッツトヨタ福島㈱　　取締役会長	自動車小売業
常務理事	本　田　政　博	福島商工会議所	
理　　事	日下部　之　彦	福島商工会議所	

4　議員定数

区　分	内　容	人　数
選挙議員（1号議員）	会員・特定商工業者の選挙による選任	86名
部会選出議員（2号議員）	業種別に設置された部会による選任	27名
推薦議員（3号議員）	選定委員会による選任	17名
計		130名

1．選挙議員（86名）

（敬称略・事業所50音順）

役職名	氏　名	企業の名称・企業上の地位	業　種
議員	麻生　大	アクサ生命保険㈱福島営業所　所長	保険業
常議員	博多義雄	朝日システム㈱　代表取締役会長	情報処理サービス業
議員	菅野寿夫	アサヒ通信㈱　代表取締役	電気機械器具製造業
〃	阿部裕治	㈱阿部紙工　代表取締役社長	印刷業
〃	相良元章	㈱アポロガス　代表取締役社長	燃料小売業
〃	上西和子	入三機材㈱　代表取締役	建設業
常議員	岩見政弘	㈱岩見　取締役会長	業務用食品卸売業
議員	横澤　靖	㈱インフォメーション・ネットワーク福島　代表取締役社長	情報処理業
〃	岡部政美	㈱エスケーコーポレーション　代表取締役会長	不動産管理業
〃	粟島光久	NECプラットフォームズ㈱福島事業所　福島事業所責任者	通信機器製造業
〃	矢野武臣	NOK㈱　常務執行役員オイルシール事業部長	金属製品製造業
〃	追分拓哉	㈱追分　代表取締役会長	酒類小売業
〃	五十嵐俊道	㈱オノヤスポーツ　代表取締役	スポーツ用品小売業
〃	小林勇一	㈱家具のこばやし　代表取締役	家具販売業
常議員	清野　弘	北芝電機㈱　取締役社長	電気器具製造業
監事	加藤　守	協三工業㈱　代表取締役	輸送用機械器具製造業
常議員	倉島卓史	㈱クラシマ　代表取締役社長	石油卸売業
議員	八巻正衛	倉島商事㈱　顧問	燃料小売業
〃	反後堯雄	㈱クリーンテック　相談役名誉会長	産業廃棄物処理業
〃	小林仁一	コバックス㈱　代表取締役	管工事業
〃	小林健夫	小林土木㈱　会長	建設業
〃	古俣　猛	㈱古俣工務店　代表取締役	建設業
〃	武川修一	㈱SHG・セレクトン福島　取締役総支配人	ホテル業
常議員	千葉政行	㈱サン・ベンディング福島　代表取締役	清涼飲料水販売業
〃	三枝通晃	サンヨー缶詰㈱　代表取締役社長	食料品製造業
議員	松川浩司	㈱七十七銀行福島支店　支店長	金融業
〃	渋谷順子	渋谷レックス㈱　取締役会長	菓子・食品卸売業
〃	花谷智隆	㈱商工組合中央金庫福島支店　支店長	金融業
〃	岡﨑　貴	㈱常陽銀行福島支店　支店長	金融業
〃	古川幸治	㈱第一印刷　代表取締役社長	印刷業
〃	大内弘之	第一温調工業㈱　代表取締役	管工事業
〃	大村雅恵	大和自動車交通㈱　代表取締役社長	旅客運送業
〃	髙橋良行	㈱高橋設備工業所　代表取締役	管工事業
〃	多勢弘之	㈱タカムラ　代表取締役社長	建築資材卸売業
〃	林　克重	タカラ印刷㈱　取締役会長	印刷業

役職名	氏　　名	企業の名称・企業上の地位	業　　種
議　員	多　田　恵　造	多田建設㈱　　代表取締役社長	建設業
〃	加　藤　貴　之	（福）多宝会　　理事長	高齢者介護施設事業
〃	尾　越　建　一	㈱帝北ロジスティックス　　代表取締役	貨物運送業
〃	佐　藤　ミヨ子	㈲鐵扇屋　　取締役会長	寝装具小売業
〃	作　田　謙太郎	㈱電工社　　代表取締役	電気設備工事業
〃	三　浦　康　伸	東開クレテック㈱　　代表取締役	建設資材卸売業
〃	髙　野　次　郎	東開工業㈱　　代表取締役	建設業金属製品製造業
〃	守　　正　樹	東京電力ホールディングス㈱　　福島復興本社副代表	電気供給業
〃	守　山　勝　雄	トーホー産業㈱　　代表取締役会長	包装資材卸売業
〃	小　口　直　孝	東北サーモ㈱　　代表取締役	ポリエチレンフィルム製造業
〃	五十畑　昌　之	東北自興㈱　　代表取締役	頒布製品製造業
〃	青　野　浩　文	東北電力ネットワーク㈱福島支社　　執行役員福島支社長	電気供給業
〃	西　川　博　美	西川サッシ販売㈱　　代表取締役会長	サッシ販売施工業
常議員	佐久間　信　幸	㈱日進堂印刷所　　代表取締役社長	印刷業
〃	桃　井　三　夫	㈱日新土建　　代表取締役	建設業
議　員	占　部　恵　太	日東産業㈱　　代表取締役	一般産業廃棄物収集運搬業
監　事	大　橋　廣　治	日東物産㈱　　取締役会長	内装工事業
議　員	藪　　政　勝	日本中央競馬会福島競馬場　　場長	競馬開催業
〃	中　川　宏　生	㈱ニューメディア福島センター　常務取締役福島センター長	有線放送・情報通信業
監　事	大　沼　健　次	ネッツトヨタ福島㈱　　取締役会長	自動車小売業
議　員	佐々木　高　敏	東日本旅客鉄道㈱福島駅　　福島駅長	旅客運送業
〃	樋　口　幸　一	㈱樋口商店　　代表取締役社長	燃料小売業
〃	桜　田　葉　子	（学）福島学院　　理事長・学長	学校業
〃	西　形　健　吉	福島ガス㈱　　代表取締役会長	ガス供給業
〃	藤　田　博　文	福島県酒類卸㈱　　代表取締役会長	食料品卸売業
常議員	畠　　利　行	福島県信用保証協会　　会長	金融業
議　員	河原田　浩　喜	㈱福島県中央計算センター　　代表取締役社長	情報処理業
常議員	村　上　伸一郎	福島交通㈱　　福島支社長	旅客運送業
議　員	鈴　木　一　海	福島コミュニティ放送㈱　　代表取締役社長	ラジオ放送業
〃	渡　邉　　勉	福島市観光開発㈱　　代表取締役社長	市有財産管理運営
〃	涌　井　敏　秀	福島水産物商業（協）　　専務理事	水産物小売業
〃	吉　川　　昭	福島ネオ工業㈱　　代表取締役	管工事業
〃	佐戸川　政　実	福島鈑金工業㈱　　代表取締役社長	鈑金製品製造業
〃	佐　藤　吉　宗	㈱福島放送福島支社　執行役員福島支社長	放送業
〃	草　野　　健	㈱福島まちづくりセンター　　常務取締役	産業業務支援
常議員	中　尾　富　安	㈱福島民報社　　専務取締役	新聞発行業
〃	中　川　俊　哉	福島民友新聞㈱　　代表取締役社長	新聞発行業
議　員	澁　谷　修　一	㈲福島熔材工業所　　代表取締役社長	精密機械加工業
〃	八木澤　勝　夫	㈱フミン　　代表取締役	農業・環境資材製造業
〃	先　崎　良　博	文化設備工業㈱　　代表取締役会長	管工事業
常議員	右　近　八　郎	㈱マクサムコミュニケーションズ　　代表取締役社長	携帯電話等小売業
議　員	菅　野　　晋	丸進機業㈱　　代表取締役社長	絹織物製造業
〃	齋　藤　嘉　紀	丸藤ガラス㈱　　代表取締役社長	ガラス製品卸売業
〃	伊　藤　雄　治	㈱みずほ銀行福島支店　　支店長	金融業
〃	遠　藤　武　義	みちのく陸運㈱　　代表取締役社長	貨物運送業
〃	三　宅　一　秀	㈱三宅新聞店　　代表取締役	新聞販売業

役職名	氏　　名	企業の名称・企業上の地位	業　　種
常議員	山　川　　彬	㈱山川印刷所　　専務取締役	印刷業
議　員	佐　藤　允　昭	山正酸素㈱　　代表取締役会長	ガス製造販売業
〃	内　田　　靖	㈱彌満和製作所福島工場　　執行役員工場長	機械部品製造業
〃	中　畑　俊　二	㈱ユアテック福島支社　　常務執行役員福島支社長	電気・管工事業
〃	村　山　広　一	陽光社印刷㈱　　代表取締役	印刷業

議員職務執行者の変更（選挙議員）

- 令和３年４月12日　㈱クラシマ　代表取締役社長　倉島　卓史（前任：代表取締役社長　鈴木　廣明）
- 令和３年６月24日　㈱福島民報社　専務取締役　中尾　富安（前任：常務取締役　馬場　憲明）
- 令和３年10月１日　福島交通㈱　福島支社長　村上伸一郎（前任：執行役員福島支社長　茅原　稔）

新任議員

- 令和３年５月28日　㈱電工社　代表取締役　作田謙太郎
- 令和３年５月28日　日東産業㈱　代表取締役　占部　恵太

２．部会選出議員（27名）

（敬称略・事業所50音順）

役職名	氏　　名	企業の名称・企業上の地位	業　　種
議　員	櫻　内　宣　仁	㈱秋田銀行福島支店　　支店長	金融業
常議員	伊　藤　信　弘	㈱いちい　　代表取締役社長	各種商品小売業
議　員	手　塚　健　一	㈱ウェディングエルティ　　代表取締役社長	結婚式場業
副会頭	大　槻　博　太	大槻電設工業㈱　　代表取締役	電気工事業
議　員	土　田　　淳	（一財）大原記念財団　　副理事長	病院業
常議員	加　藤　利　夫	加藤鉄工㈱　　代表取締役社長	金属製品製造業
〃	川　瀬　成　人	㈱川瀬酒販　　代表取締役	酒類小売業
〃	吾　妻　　学	キョウワプロテック㈱　　代表取締役社長	総合ビル管理業
副会頭	後　藤　忠　久	㈱後藤歯科商店　　代表取締役	歯科機材販売業
議　員	八　巻　恵　一	佐藤工業㈱　　代表取締役社長	建設業
〃	大　村　信　裕	仙台ターミナルビル㈱エスパル福島　　店長	各種商品小売業
〃	桑　原　浩　二	㈱大東銀行福島支店　　福島ブロック長兼福島支店長兼福島南支店長	金融業
常議員	大和田　知　昭	㈱大丸工務店　　代表取締役	建設業
〃	安　部　　宏	東栄物産㈱　　代表取締役会長	不動産業
〃	佐久間　政　文	東信建設㈱　　代表取締役	建設業
副会頭	坪　井　大　雄	福島貸切辰巳屋自動車㈱　　代表取締役社長	旅客運送業
常議員	小　河　日出男	福島市商店街連合会　　会長	小売商業団体
〃	福　谷　宏　介	福島製鋼㈱　　代表取締役社長	鉄鋼業
〃	百　田　昭　洋	㈱福島製作所　　代表取締役	船舶用機器製造業
議　員	小　林　典　子	㈱福島中央テレビ福島支社　　福島支社長	放送業
常議員	石　本　　朗	㈱福島丸公　　代表取締役会長	水産物卸売業
議　員	蒲　倉　達　也	福島リコピー㈱　　代表取締役	事務機器卸売業
〃	齋　藤　武　二	㈱峰亀　　取締役会長	飲食業
常議員	鈴　木　宏　幸	㈱杜設計　　代表取締役	建築設計業

役職名	氏　　名	企業の名称・企業上の地位	業　　種
〃	畠　　隆　章	㈲吉川屋　代表取締役会長	旅館業
〃	半　野　秀　一	㈱ラジオ福島　　会長	ラジオ放送業
〃	山　岸　則　紀	ワイヂーエル㈱　　取締役会長	梱包資材製造業

３．推薦議員（17名）

（敬称略・事業所50音順）

役職名	氏　　名	企業の名称・企業上の地位	業　　種
常議員	内　池　　浩	内池醸造㈱　　代表取締役会長	調味料製造業
副会頭	菅　野　日出喜	菅野建設㈱　　代表取締役	建設業
常議員	菅　野　孝太郎	こころネット㈱　　代表取締役社長	冠婚葬祭・石材業
議　員	紺　野　道　昭	㈱こんの　　代表取締役	再生資源卸売業
常議員	渡　邉　和　裕	㈱山水荘　　代表取締役	旅館業
〃	馬　場　智　和	㈱ダイユーエイト　　取締役管理部長	日用品雑貨小売業
〃	新　田　良　一	㈱テレビユー福島　　代表取締役社長	放送業
〃	遠　藤　勝　利	㈱東邦銀行　　常務執行役員本店営業部長	金融業
〃	二階堂　宏　樹	東北電力㈱福島支店　　執行役員福島支店長	電気供給業
〃	梶　田　明　正	日東紡績㈱福島工場　　執行役グラスファイバー事業部門生産本部長兼福島工場長	繊維製造業
〃	畠　山　良　平	東日本電信電話㈱福島支店　　支店長	電気通信業
〃	加　藤　容　啓	㈱福島銀行　　取締役社長	金融業
〃	樋　口　郁　雄	福島信用金庫　　理事長	金融業
〃	横　山　　淳	福島テレビ㈱　　代表取締役社長	放送業
〃	蔵　敷　大　浩	福島トヨタ自動車㈱　　代表取締役社長	自動車小売業
〃	金　子　與志人	福島日産自動車㈱　　代表取締役社長	自動車小売業
会　頭	渡　邊　博　美	福島ヤクルト販売㈱　　代表取締役会長	食料品卸・小売業

議員職務執行者の変更（推薦議員）

- 令和３年５月19日　㈱ダイユーエイト　取締役管理部長　馬場　智和（前任：専務取締役　三瓶　善明）
- 令和３年６月23日　㈱東邦銀行　常務執行役員本店営業部長　遠藤　勝利（前任：常務執行役員　須藤　英穂）
- 令和３年７月１日　東日本電信電話㈱福島支店　支店長　畠山　良平（前任：支店長　山貫　昭子）

5　正副部会長

（敬称略）

部会名と部会役職名		氏　　名	企業の名称および企業上の地位	業　　種
食品商業部会	部会長	川瀬成人	㈱川瀬酒販　代表取締役	酒類小売業
	副部会長	岩見政弘	㈱岩見　取締役会長	業務用食品卸売業
		渋谷順子	渋谷レックス㈱　取締役会長	菓子・食品卸売業
		池田進二	福島中央青果卸売㈱　代表取締役社長	青果物卸売業
		吾妻イネ	㈲吾妻屋　代表取締役社長	食肉卸売業
		遠藤淳弘	福島水産㈱　代表取締役社長	鮮魚卸売業
生活関連商業部会	部会長	右近八郎	㈱マクサムコミュニケーションズ　代表取締役社長	各種商品小売業
	副部会長	伊藤信弘	㈱いちい　代表取締役社長	各種商品小売業
		倉島卓史	㈱クラシマ　代表取締役社長	石油卸売業
		馬場智和	㈱ダイユーエイト　取締役管理部長	日用品雑貨小売業
		大沼健次	ネッツトヨタ福島㈱　取締役会長	自動車小売業
		小河日出男	福島市商店街連合会　会長	小売商業団体
工業部会	部会長	加藤利夫	加藤鉄工㈱　代表取締役社長	金属製品製造業
	副部会長	内池浩	内池醸造㈱　代表取締役会長	調味料製造業
		加藤守	協三工業㈱　代表取締役	輸送用機械器具製造業
		三枝通晃	サンヨー缶詰㈱　代表取締役社長	食料品製造業
		佐久間信幸	㈱日進堂印刷所　代表取締役社長	印刷業
		福谷宏介	福島製鋼㈱　代表取締役社長	鉄鋼業
		百田昭洋	㈱福島製作所　代表取締役	船舶用機器製造業
		山川彬	㈱山川印刷所　専務取締役	印刷業
		山岸則紀	ワイヂーエル㈱　取締役会長	梱包資材製造業
建設業部会	部会長	桃井三夫	㈱日新土建　代表取締役	建設業
	副部会長	大和田知昭	㈱大丸工務店　代表取締役	建設業
		鈴木宏幸	㈱杜設計　代表取締役	建築設計業
		大橋廣治	日東物産㈱　取締役会長	内装工事業
		小林仁一	コバックス㈱　代表取締役	管工事業
		小林健夫	小林土木㈱　会長	建設業
		吉川昭	福島ネオ工業㈱　代表取締役	管工事業
金融・経営支援部会	部会長	樋口郁雄	福島信用金庫　理事長	金融業
	副部会長	遠藤勝利	㈱東邦銀行　常務執行役員本店営業部長	金融業
		加藤容啓	㈱福島銀行　取締役社長	金融業
		鈴木洋敬	東北税理士会福島支部　支部長	税理士団体
観光・飲食部会	部会長	畠隆章	㈲吉川屋　代表取締役会長	旅館業
	副部会長	佐々木高敏	東日本旅客鉄道㈱福島駅　福島駅長	旅客運送業
		菅野裕輔	福島飲食業組合　組合長	飲食業団体
		村上伸一郎	福島交通㈱　福島支社長	旅客運送業
		渡邉勉	福島市観光開発㈱　代表取締役社長	市有財産管理運営
		髙橋光子	福島社交飲食業組合　組合長	社交飲食業団体
		日比野恒夫	㈲シーリン　代表取締役	飲食業

部会名と部会役職名		氏　　名	企業の名称および企業上の地位	業　　種
情報・通信部会	部会長	畠山良平	東日本電信電話㈱福島支店　支店長	電気通信業
	副部会長	博多義雄	朝日システム㈱　代表取締役会長	情報処理サービス業
		横澤靖	㈱インフォメーション・ネットワーク福島　代表取締役社長	情報処理業
		新田良一	㈱テレビユー福島　代表取締役社長	放送業
		横山淳	福島テレビ㈱　代表取締役社長	放送業
		中尾富安	㈱福島民報社　専務取締役	新聞発行業
		中川俊哉	福島民友新聞㈱　代表取締役社長	新聞発行業
		半野秀一	㈱ラジオ福島　会長	ラジオ放送業
不動産業部会	部会長	安部宏	東栄物産㈱　代表取締役会長	不動産業
	副部会長	岡部政美	㈱エスケーコーポレーション　代表取締役会長	不動産管理業
		加納武志	㈲菅野地所　代表取締役	不動産業
		金子克之	㈱北陽不動産鑑定事務所　代表取締役	不動産鑑定業
		斎藤伸洋	㈱芭蕉堂　代表取締役	不動産業
健康・社会サービス部会	部会長	吾妻学	キョウワプロテック㈱　代表取締役社長	警備業
	副部会長	手塚健一	㈱ウェディングエルティ　代表取締役社長	結婚式場業
		土田淳	（一財）大原記念財団　副理事長	病院業
		反後堯雄	㈱クリーンテック　相談役名誉会長	産業廃棄物処理業

6　正副委員長

（敬称略）

委員会名	役職名	氏名	企業の名称および企業上の地位
総務委員会	委員長	博多義雄	朝日システム㈱　代表取締役会長
	副委員長	右近八郎	㈱マクサムコミュニケーションズ　代表取締役社長
		西川博美	西川サッシ販売㈱　代表取締役会長
		手塚健一	㈱ウェディングエルティ　代表取締役社長
復興創生委員会	委員長	伊藤信弘	㈱いちい　代表取締役社長
	副委員長	小林仁一	コバックス㈱　代表取締役
		古川幸治	㈱第一印刷　代表取締役社長
中小企業振興委員会	委員長	大和田知昭	㈱大丸工務店　代表取締役
	副委員長	佐藤允昭	山正酸素㈱　代表取締役会長
		樋口幸一	㈱樋口商店　代表取締役社長
観光交流委員会	委員長	佐々木高敏	東日本旅客鉄道㈱福島駅　福島駅長
	副委員長	畠隆章	㈲吉川屋　代表取締役会長
中心市街地活性化委員会	委員長	小河日出男	福島市商店街連合会　会長
	副委員長	草野健	㈱福島まちづくりセンター　常務取締役
雇用育成委員会	委員長	遠藤勝利	㈱東邦銀行　常務執行役員本店営業部長
	副委員長	大橋廣治	日東物産㈱　取締役会長
		古俣猛	㈱古俣工務店　代表取締役

7　顧問・参与

（敬称略）

顧　問	金　子　恵　美	衆議院議員
	亀　岡　偉　民	衆議院議員
	増　子　輝　彦	参議院議員
	森　　雅　子	参議院議員
	佐　藤　正　久	参議院議員
	若　松　謙　維	参議院議員
	内　堀　雅　雄	福島県知事
	渡　辺　義　信	福島県議会議長
	木　幡　　浩	福島市長
	真　田　広　志	福島市議会議長
	児　嶋　洋　平	福島県警察本部長
	三　浦　浩　喜	国立大学法人福島大学　学長
	山　川　潤　一	東北財務局福島財務事務所長
	河　西　直　人	福島労働局長
	植　田　リ　サ	日本銀行福島支店長
	芳　見　弘　一	㈱福島民報社　代表取締役社長
	佐　藤　　稔	（一社）福島県銀行協会　代表理事会長
	浅　倉　俊　一	元会頭
	瀬　谷　俊　雄	前会頭

参　与	橘　　清　司	福島県企画調整部長
	安　齋　浩　記	福島県商工労働部長
	国　井　祐　典	福島警察署長
	江　川　智　明	福島公共職業安定所長
	市　村　尊　広	福島市商工観光部長
	齋　藤　　慎	㈱日本政策金融公庫福島支店　支店長兼中小企業事業統轄
	二　村　元　樹	㈱日本政策金融公庫福島支店　国民生活事業統轄

Ⅲ　議員選挙および役員議員の選任

1　議員の選挙

1．推薦議員（3号議員）

なし

2．部会選出議員（2号議員）

なし

3．選挙議員（1号議員）

なし

2　役員の選任

1．会頭・副会頭・専務理事・常議員・監事

なし

2．常務理事

なし

3．顧問・参与

なし

4．理　　事

なし

3　役員議員の補充選任

1．常議員補充選任

選任年月日と選任方法	被選任常議員	
令和３年５月28日 通常議員総会において満場一致で承認	議　　員	㈱クラシマ 代表取締役社長　　倉島　卓史 氏
	議　　員	㈱ダイユーエイト 取締役管理部長　　馬場　智和 氏

２．議員補充選任

選任年月日と選任方法	被 選 任 議 員		
令和３年５月28日 通常議員総会において満場一致で承認	議　　員	㈱電工社 代表取締役	作田謙太郎 氏
	議　　員	日東産業㈱ 代表取締役	占部　恵太 氏

Ⅳ 事 務 局

1 組　　織

部課名および所掌事務			職員数	
専務理事				1名
常務理事				1名
理事				1名
事務局長兼総合企画部長			1名	15名
総合企画部	総務課	議員、人事、経理、庶務　等	6名	
	会員サービス課	会員管理募集、共済事業、雇用対策、女性会　等	4名	
	総合企画課	中心市街地活性化、所報、原子力災害対策、情報化、福島県商工会議所連合会　等	4名	
事業推進部	部長		1名	16名
	地域振興課	交流人口拡大、地域開発、まちづくり、商業振興、青年部等	7名	
	経営支援課	中小企業の経営相談・指導　等	8名	
			合　計	34名

2 職　　員

1．職 員 数

区分	一般職員	専門経営指導員	経営指導員	補助員	嘱託職員	臨時・派遣職員	計
男性	5名	3名	9名	3名	2名	0名	22名
女性	2名	0名	0名	2名	0名	5名	9名
計	7名	3名	9名	5名	2名	5名	31名

2．主な職員

- 事務局長兼総合企画部長　　椿　　哲
- 事業推進部長　　大　金　英　一

3．その他の参考事項

なし

V 庶　　務

1 文　　書

受信件数　1,095件　／　発信件数　539件

2 授　　章（福島商工会議所　推薦分）

1．叙　　勲　旭日中綬章　受章

受彰年月日	受　彰　者
令和３年４月29日	会　頭　　渡　邊　博　美 氏（福島ヤクルト販売㈱　代表取締役会長）

2．褒　　章 …… 該当者なし

3．福島県知事表彰 …… 該当者なし

4．日本商工会議所会頭表彰

(1)　表彰規則第２条第２項に該当する役員・議員（永年勤続）

受彰年月日	受　彰　者	勤続年数
令和３年９月16日	常議員　加　藤　利　夫 氏（加藤鉄工㈱　代表取締役社長）	20年
令和４年３月17日	常議員　博　多　義　雄 氏（朝日システム㈱　代表取締役会長）	20年
	監　事　加　藤　　守 氏（協三工業㈱　代表取締役）	20年
	常議員　渡　邉　和　裕 氏（㈱山水荘　代表取締役）	20年
	常議員　佐久間　政　文 氏（東信建設㈱　代表取締役）	20年
	監　事　大　沼　健　次 氏（ネッツトヨタ福島㈱　取締役会長）	20年
	常議員　畠　　隆　章 氏（㈲吉川屋　代表取締役会長）	20年

(2)　表彰規則第３条に該当する職員（永年勤続）

受彰年月日	受　彰　者	勤続年数
令和３年９月16日	事業推進部地域振興課　課長補佐　紺　野　智　裕	30年
	総合企画部総合企画課　係長　佐久間　純　子	30年
	事業推進部経営支援課　係長　小　坂　剛　弘	20年
	総合企画部総務課　係長　国　分　沙　織	20年

５．東北六県商工会議所連合会会長表彰　※表彰規定第２条１項に該当する役員・議員（永年勤続）

受彰年月日	受　彰　者	勤続年数
令和３年７月12日	常議員　岩見政弘氏（㈱岩見　取締役会長）	30年
	常議員　内池　浩氏（内池醸造㈱　代表取締役会長）	30年
	常議員　三枝通晃氏（サンヨー缶詰㈱　代表取締役社長）	20年
	議　員　小林仁一氏（コバックス㈱　代表取締役）	10年
	議　員　小林健夫氏（小林土木㈱　会長）	10年
	議　員　西川博美氏（西川サッシ販売㈱　代表取締役会長）	10年
	議　員　吉川　昭氏（福島ネオ工業㈱　代表取締役）	10年
	議　員　齋藤武二氏（㈱峰亀　取締役会長）	10年
	議　員　古俣　猛氏（㈱古俣工務店　代表取締役）	10年

６．福島県商工会議所連合会

⑴　福島県経済功労者表彰

受彰年月日	受　彰　者
令和３年７月１日	常議員　安部　宏氏（東栄物産㈱　代表取締役会長）
	常議員　三瓶善明氏（㈱ダイユーエイト　専務取締役）

⑵　職員表彰

受彰年月日	受　彰　者
令和３年７月１日	事業推進部地域振興課　課長補佐　小場将文
	事業推進部経営支援課　課長補佐　田村陽介
	総合企画部総合企画課　係長　伊東朋宏
	事業推進部経営支援課　係長　小坂剛弘
	総合企画部総務課　係長　国分沙織

3　名義承諾（後援・共催等）

令和３年	
５月18日	ふくしま新産業創造推進協議会総会特別講演会
７月８日	高校生対象福島市内企業説明会
８月８日	第５回ヴォイスふくしま納涼祭
８月21日	令和３年度福島市合同企業説明会
８月25日～８月26日	第10回環境放射能除染研究発表会
９月１日～９月15日	第17回ふくしま花案内人養成講座
９月20日～９月26日	第10回小学生ポスター展
９月23日	第10回とっておきの音楽祭INふくしま2021
10月18日	令和３年度新規高卒者等就職面接会（福島会場）
10月19日	第49回福島市交通安全市民大会
10月23日～10月24日	第70回福島市発明くふう展
11月１日～11月４日	福島菊花展示会
11月３日	第19回あづまの郷ウォーク大会

11月３日	ふくしま市民活動フェスティバル2021
11月23日	福島市男女共生セミナー2021
12月３日	社労士会セミナー
12月10日、12月11日	ふくしま県北まるごと物産展
12月16日～12月31日	歳末イベント「まいどくんゆめくじ」キャンペーン
12月23日	CSR（企業の社会的責任）と人権セミナー・福島会場
12月３日～１月31日	2021光のしずくイルミネーション
令和４年	
１月５日～１月11日	第２回大京都店
１月18日、１月20日、２月18日	福島市内高校２年生対象業界研究会
２月１日～３月15日	ふくしままち歩き雛めぐり
２月３日	生産性向上支援訓練
２月12日	第43回福島自衛隊音楽祭
２月25日	令和４年度倫理経営講演会
３月15日～８月31日	第17回花見山フォトコンテスト
３月20日、３月21日	劇団120○EN 10周年記念公演「歌舞伎デカ前田刑事」
３月25日	DXセミナー（オンラインセミナー）

4　慶弔・その他

令和３年	
４月18日	第39回波恵ダンス発表会
５月31日	元理事　羽田幸弘氏　逝去
６月15日	郡山商工会議所相談役　佐々木寛侑氏　逝去
７月４日	元副会頭　和合アヤ子氏　逝去
７月27日	議員　陽光社印刷㈱　村山広一氏のご母堂　逝去
９月17日	議員　㈱樋口商店　樋口幸一氏のご尊父　逝去
９月20日	議員　佐藤工業㈱　八巻恵一氏のご岳母　逝去
10月４日	元常議員　星榮祐氏　逝去
10月22日	議員　文化設備工業㈱　先崎良博氏のご尊父　逝去
11月13日	元顧問　半沢正典氏のご母堂　逝去
12月25日	当所専務理事　石井　浩氏のご母堂　逝去
令和４年	
１月25日	議員　㈱古俣工務店　古俣猛氏のご母堂　逝去
３月２日	福島県副知事　鈴木正晃氏のご母堂　逝去

Ⅵ 会　　議

1 議員総会

開催日等	開催内容	
第１回（通常） 書面審議 128名 （うち書面表決数117名）	報　　告	１．議員職務執行者等の変更について ２．顧問・参与の変更について
	議　　案	１．令和２年度事業報告について ２．令和２年度一般会計・特別会計収支決算承認について ３．常議員の補充選任（案）について ４．議員の補充選任（案）について
第２回（臨時） ３年11月２日 130名 （うち委任状行使者37名）	報　　告	１．日本商工会議所表彰 20年勤続　常議員　加藤利夫 ２．東北六県商工会議所表彰 30年勤続　常議員　岩見政弘 常議員　内池浩 20年勤続　常議員　三枝通晃 10年勤続　議員　小林仁一 議員　小林健夫 議員　西川博美 議員　吉川昭 議員　齋藤武二 議員　古俣猛 ３．日本商工会議所　職員表彰 30年勤続　事業推進部　地域振興課　課長補佐　紺野智裕 総合企画部　総合企画課　係長　佐久間純子 20年勤続　事業推進部　経営支援課　係長　小坂剛弘 総合企画部　総務課　係長　国分沙織 ４．議員職務執行者の変更等について ５．顧問・参与の変更について ６．雇用育成委員会　委員長の委嘱について
	議　　案	１．常議員の補充選任（案）の承認について
第３回（通常） ４年３月28日 130名 （うち委任状行使者33名）	報　　告	１．日本商工会議所表彰 20年勤続　常議員　佐久間政文 20年勤続　常議員　博多義雄 20年勤続　常議員　畠隆章 20年勤続　常議員　渡邉和裕 20年勤続　監事　大沼健次 20年勤続　監事　加藤守 ２．令和４年度（第31期）議員改選日程及び議員登録金について ３．日本商工会議所表彰（財政基盤強化、事業活動）受賞について
	議　　案	１．令和４年度事業計画（案）の承認について ２．令和４年度一般会計・特別会計収支予算（案）の承認について
	そ　の　他	令和４年度福島商工会議所人事異動について

2　常議員会

開催日等	開　催　内　容	
第１回 書面審議 47名 （うち書面表決数45名）	議　　案	１．令和３年度第１回通常議員総会の開催について ２．令和２年度事業報告について ３．令和２年度一般会計・特別会計収支決算承認について ４．常議員の補充選任（案）について ５．議員の補充選任（案）について ６．新入会員の承認について
第２回 ３年11月２日 45名 （うち委任状行使者９名）	議　　案	１．令和３年度第１回臨時議員総会の開催について ２．常議員の補充選任（案）について ３．雇用育成委員会　委員長の委嘱について ４．新議員の委員会の委嘱について ５．新入会員の承認について ６．福島商工会議所職員給与規則の一部改正（案）について
第３回 ４年３月15日 49名 （うち委任状行使者11名）	議　　案	１．令和４年度福島商工会議所事業計画の概要（案）について ２．令和３年度収支予算の補正（案）について
第４回 ４年３月28日 49名 （うち委任状行使者10名）	議　　案	１．第２回通常議員総会への提出議案について ２．令和４年度事業計画（案）について ３．令和４年度一般会計・特別会計収支予算（案）について ４．令和４年度（第31期）議員改選日程及び議員登録金（案）について ５．新入会員の承認について ６．福島商工会議所　職員就業規則の一部改正（案）について ７．福島商工会議所　育児・介護休業規則の一部改正（案）について

3　正副会頭会議

回数	開催年月日	主　な　議　題
第１回	３年４月21日	１．第１回常議員会・第１回通常議員総会の開催（案）について ２．令和２年度収支決算の概要について　他
第２回	３年５月19日	１．令和２年度事業報告・収支決算について ２．常議員・議員の補充選任（案）について　他
第３回	３年６月23日	１．福島市からの職域における新型コロナワクチン接種推進に関する要請について ２．令和４年度　福島商工会議所職員採用（案）について　他
第４回	３年７月30日	１．新型コロナウイルス感染症に伴う被害状況・対応について ２．第2回常議員会・第1回臨時議員総会・議員懇話会の開催（案）について　他
第５回	３年８月27日	１．新型コロナワクチンの職域接種について　他
第６回	３年９月22日	１．福島商工会議所飲食店支援事業実施方針（案）について ２．第２回常議員会・第１回臨時議員総会並びに議員懇話会の開催について　他
第７回	３年10月27日	１．新型コロナウィルス感染症に伴う被害状況・対応について ２．福島商工会議所職員給与規則の一部改正（案）について　他
第８回	３年11月25日	１．ふくしまの飲食店にエールを！（仮称）ふくしまの夜のにぎわいを取り戻そうキックオフ会の開催について ２．知事を囲む県下商工会議所正副会頭会議における福島商工会議所からの要望について　他

回数	開催年月日	主　な　議　題
第９回	３年12月22日	１．商工会議所損害保険制度「推進パートナー制度（仮称）」の導入について ２．事業承継に関するアンケート調査報告について　他
第10回	４年１月26日	１．正副会頭　委員長会議・部会長会議よりの意見について ２．令和４年度（第31期）議員改選日程（案）及び議員登録金（案）について　他
第11回	４年２月24日	１．第７回新型コロナウイルス感染症に関する影響調査　集計結果 ２．令和３年度　福島商工会議所　会員事業所応援表彰制度「福エール賞」について　他
第12回	４年３月２日	１．令和３年度収支予算の補正（案）について ２．令和４年度事業計画の概要（案）について　他
第13回	４年３月23日	１．令和４年福島県沖を震源とする地震による市内事業所の被害状況について ２．令和４年度福島商工会議所事業計画（案）並びに収支予算（案）について　他

4　監 査 会

開催日等	監　査　事　項
３年５月17日 監事　３名	令和２年度業務決算関係書類

5　議員懇話会

開催日等	開　催　内　容
３年11月２日 86名	【講　演】 テーマ　「日本経済と福島経済の現状と先行き～新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて～」 講　師　日本銀行　福島支店長　植田　リサ 氏
４年３月４日 78名	【部会長・委員長報告】 各部会・委員会の令和３年度事業概要並びに令和４年度事業計画について 部会長・委員長からの報告 【講　演】 テーマ　「福島相双復興推進機構の活動概要について」 講　師　公益財団法人福島相双復興推進機構　専務理事　桜町　道雄 氏

6　部　　会

1．食品商業部会

⑴　会議の開催

開催年月日 出席者数	会議等名	内　　容
３年11月８日 11名	正副部会長・ 常任委員会議	（説　明） • 福島商工会議所　飲食店支援事業について
		（意見交換） • 各社におけるコロナ禍の影響や現在の業況について • 今後、商工会議所に望む取組み等について
３年11月８日 13名 （全体40名）	講　演　会	【生活関連商業部会との合同講演会】 消費税インボイス制度対策セミナー（オンラインセミナー） 講　師　きむらあきらこ税理士事務所　所長　　木村　聡子 氏
４年１月28日 10名	会　　議	（議　事） ⑴　令和３年度事業報告について ⑵　令和４年度事業計画（案）について
	講　演　会	地方創生下における「稼ぐ地域」の仕組みづくり ～広域ローカル経済圏創造を目指す当社の地域商社戦略事例より～ 講　師　㈱ファーマーズ・フォレスト　代表取締役　松本　　謙 氏

⑵　事業等の実施

【販路開拓に向けた展示商談会出展支援事業】

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた食品製造・加工・卸売業の事業所を対象に、減少した売上回復並びに新たな販路開拓を支援することを目的として「2021年　販路開拓塾」を開催したほか、仙台市で開催された展示商談会「ビジネスマッチ東北2022春」への出展支援を行った。

※詳細はⅧ　事業Ⅱ会員事業所の発展（Ｐ.67）参照。

2．生活関連商業部会

開催日等	開　催　内　容	
３年11月８日 25名	会　　議	⑴　副部会長の選任について ⑵　今後の部会活動について
	講　演　会	オンラインセミナー（食品商業部会と合同） 「消費税インボイス制度の対策」について 講　師　きむらあきらこ税理士事務所 所長　木村　聡子 氏
４年２月16日 14名	会　　議	⑴　令和３年度事業報告 ⑵　令和４年度事業計画案について
	講　演　会	「ウィズコロナにおける業界の動向及び自社の取り組みについて」 講　師　㈱マクサムコミュニケーションズ 代表取締役社長　右近　八郎 氏
		「“健康経営”と福利厚生制度について」 講　師　アクサ生命保険㈱　福島営業所 所長　麻生　　大 氏

３．工業部会

開催日等	開　　催　　内　　容	
３年６月29日 34名	会　　議	⑴　視察会の実施について ⑵　その他
	説　　明	「厚生労働省『若年技能者人材育成支援等事業』ものづくりマイスター派遣の実技指導について」 説明者　福島県職業能力開発協会　　酒井　健作 氏
	講　　演	「DX時代に伸びる中小製造業のデジタル化戦略 ～『非競争領域』デジタル化のポイント～」 講　師　アクセンチュア㈱　シニアマネージャー　鈴木　鉄平 氏
３年11月29日 17名	視　察　会	• 産総研福島再生可能エネルギー研究所（郡山市） • 福島県ハイテクプラザ（郡山市） 水素エネルギーをはじめとした再生可能エネルギー研究の関連施設、技術開発支援に関する検査・研究施設の視察研修会を実施した。
４年２月２日 29名	会　　議	⑴　令和３年度事業報告について ⑵　令和４年度事業計画（案）について
	講　　演	「DECADE OF ACTION ～ SDGsの取組と現状～」 講　師　東京海上日動火災保険㈱ 公務開発部　担当部長　中塚　啓二郎 氏
－	SDGsの 取 組	プラスチック使用量の削減を図ることを目的に、所報送付用の封筒を紙製に変更することを提言

４．建設業部会

開催年月日	開　　催　　内　　容	
３年12月10日 46名	会　　議	⑴　新型コロナウイルス感染症に対する福島商工会議所としての対応について
	講　演　会	「建設業の働き方改革～2024年の労働時間上限規制に向けての対策は～」 講　師　福島働き方改革推進支援センター　アドバイザー 社会保険労務士　丹治　正夫 氏
		「働きやすい職場づくりの取り組み」 講　師　㈱三本杉ジオテック　代表取締役　三本杉　裕 氏
		「健康経営と福利厚生制度」 講　師　アクサ生命保険㈱　福島営業所長 健康経営推進シニアパートナー　麻生　　大 氏
４年１月６日 ７日 18名	講　演　会	生産性向上支援 「インターネットマーケティングの活用」 講　師　イーンスパイア㈱　代表取締役　横田　秀珠 氏
４年２月18日 35名	会　　議	⑴　令和３年度事業報告について ⑵　令和４年度事業計画（案）について
	講　演　会	「福島河川国道事務所の事業概要について」 講　師　国土交通省　東北地方整備局 福島河川国道事務所　所長　福島　陽介 氏

5．金融・経営支援部会

開催年月日	開催内容	
3年11月25日 37名	会議	1．副部会長の補充選任について 2．令和3年度　新型コロナウイルス感染症に対するこれまでの福島商工会議所の取組みについて
	講演会	「我が国の経済情勢について　～福島県経済を中心に～」 講　師　東北財務局福島財務事務所　所長　山川　潤一 氏
4年1月14日 32名	正副会頭・部会長会議	1．新型コロナウイルス感染症に対するこれまでの福島商工会議所の取組みについて 2．意見交換 • 各部会や業界の現状・課題等について • 今後の商工会議所並びに部会の取り組みについて ※　樋口部会長出席
4年2月9日 32名	会議	1．令和3年度事業報告について 2．令和4年度事業計画（案）について
	講演会	「スマートシティによる自律分散社会の実現へ ～市民・地域主導によるデジタルイノベーション～」 講　師　アクセンチュア㈱イノベーションセンター福島センター 共同統括マネジング・ディレクター　中村　彰二朗 氏

6．観光・飲食部会

(1)　会議の開催

開催日等	開催内容	
3年9月22日 15名	会議	1．新型コロナウイルスに対する観光・飲食部会としての対応について 2．「ふくしま感染防止対策認定店制度」について
	講演会	「コロナに負けない！集客と安全な店づくり」 講　師　TITC合同会社　代表社員　富田　良治 氏
3年10月19日 午前16名 午後13名	説明会	「ふくしま感染防止対策認定店制度の取得方法について」 講　師　福島県食品生活衛生課　担当者
		「プレミアム付き電子食事券事業について」 講　師　福島県商工総務課　担当者
3年10月25日 9名	講習会	【福島市商店街連合会との共催での実施】 「オイルパステルチョークアート実技講習会」 講　師　ドリームチョーク＆ペイントアート　代表　今野　真理 氏
4年2月10日 15名	会議	1．令和3年度事業報告について 2．令和4年度事業計画（案）について
	説明会	「福島市観光振興計画について」 講　師　福島市　商工観光部　観光交流推進室　室次長補佐　深谷　淳 氏

(2)　事業等の実施

【ふくしま応援（エール）お持ち帰り支援事業 継続支援】

《お持ち帰りごはんチラシ作成代行事業》

- 実施期間　令和3年3月15日～令和4年3月31日
- 仕　　様　A4／片面4色刷　300枚以内
- 申込実績　8事業所

【東北DC応援企画「TOHOKUサポーター」へ登録】

- 登 録 日　令和３年４月１日

【観光ドライブMAP作成】

- 発 行 日　令和３年４月１日
- 作成部数　20,000部
- 設 置 先　３市観光案内所、道の駅、東北自動車道SA・PA等

【特別お食事券事業】

〇2021春のランチで食うポン

- 実施期間　令和３年４月１日～５月31日
- 参加店数　51店
- お食事数　45,701食（22,851食／月、896食／店）
- スタンプラリー応募数　5,477通

〇2021秋のランチで食うポン

- 実施期間　令和３年10月１日～11月30日
- 参加店数　47店
- お食事数　56,566食（28,283食／月、1,204食／店）
- スタンプラリー応募数　5,156通

【新型コロナワクチン職域接種】

- 実 施 月　令和３年９・10月
- 接種対象　観光・飲食部会、健康・社会サービス部会所属の小規模事業所（20名以下）の経営者および従業員
- 接種人数　１回目　475名　２回目　457名

【古関裕而氏をテーマにしたオリジナルカレンダー作成】

- 発 行 月　令和３年11月
- 作成部数　5,000部
- 配 布 先　当所会員事業所等

【会議用弁当の紹介】

- 実施期間　令和３年11月号～令和４年２月号

【酒類提供飲食店支援事業】

〇呑んde食うポン

- 実施期間　令和３年12月６日～令和４年３月31日
- 発行枚数　30,000部
- 参加店数　87店舗
- 設 置 先　市役所、市内金融機関、市内旅館・ホテル、会議所会員事業所、参加店など

〇プレミアム飲食券事業

- 実施期間　令和３年12月６日～令和４年３月31日
- 発行枚数　500枚

7．情報・通信部会

⑴　会議の開催

開催日等	開　　催　　内　　容	
３年９月６日 16名 オンライン	会　　議	１．部会長の選任について ２．副部会長の補充選任について
４年２月15日 20名	会　　議	１．令和３年度事業報告について ２．令和４年度事業計画（案）について

⑵　事業の実施

①　講演会の開催

a．テーマ　「事業の課題解決に向けたデジタル化へのアプローチ」
　日　時　令和３年11月12日
　会　場　オンライン
　講　師　東日本電信電話株式会社福島支店　支店長　畠山　良平 氏

b．テーマ　「キャッシュレス対応セミナー」
　日　時　令和４年２月15日
　会　場　ホテル福島グリーンパレス
　講　師　株式会社ドコモCS東北　エバンジェリスト　川村　美樹 氏

②　情報提供

a．総務省テレワークサポートネットワークへの登録

総務省では、中小企業等のテレワークに関する相談や各種サポート体制を充実させるため、日本商工会議所とNTTが連携し、標記ネットワーク体制を令和２年度に構築した。当所もこのネットワークに登録し、テレワークなどに関する相談があった場合は専門家等につなげる体制としている。

令和３年度も同ネットワーク主催のオンライン相談会などをホームページ、所報等を通じて案内した。

テレワークサポートネットワーク
ホームページ

b．所報による情報提供

テレワーク導入にかかわるチェックポイントや電子帳簿保存法への対応などデジタル化への対応が求められる内容について所報に掲載した。

８．不動産業部会

開催年月日	開　　催　　内　　容	
３年11月29日 23名	会　　議	⑴　県立医科大学保健科学部への住宅情報の提供について ⑵　今後の活動計画について
	説　　明	「市営住宅の現状と今後の整備の方向性について」 福島市都市政策部　住宅政策課　市営住宅係 課長補佐兼係長　熊坂　勝成 氏
４年１月21日 42名	セ　ミ　ナ　ー	「リノベーションまちづくりセミナー」への参加 主　催　福島市中心市街地活性化協議会 講　師　㈱らいおん建築事務所　代表取締役　嶋田　洋平 氏
４年２月４日 12名	正副部会長会議	⑴　令和３年度事業報告について ⑵　令和４年度事業計画（案）について
４年２月８日 18名	会　　議	⑴　令和３年度事業報告について ⑵　令和４年度事業計画（案）について
	講　演　会	「国道13号福島西道路の整備状況と福島都市圏の交通状況について」 国土交通省　東北地方整備局 福島河川国道事務所　副所長　奥　　豊 氏
４年２月10日 ～	事　　業	県立医科大学保健科学部への住宅情報の提供 福島県立医科大学合格者専用イントラネットに学生向けの住宅情報を掲載、定期的に更新し、安心・安全な住まいを提供

９．健康・社会サービス部会

開催年月日	開　　催　　内　　容	
３年11月12日 17名 当部会14名	健康経営 セミナー	『Withコロナ・Afterコロナの中での健康経営について』 第１部 「少子高齢化を勝ち抜く“健康経営” ～健康経営優良法人2023に向けて～」 講　師　アクサ生命保険㈱ HPM推進部担当課長・健康経営エキスパートアドバイザー 井上　貴樹 氏 第２部 「感染症を防ぐために 「腸内環境」を整えて免疫機能を正常に！」 講　師　㈱グリーンハウス 管理栄養士・健康経営アドバイザー 山田　修子 氏
	会　　議	１．今後の部会活動について ２．意見交換 ３．その他
４年２月８日 16名	セ　ミ　ナ　ー	「中小・小規模事業所におけるWeb・SNS活用のポイント」 講　師　合同会社プラスタ 代表社員・CEO　桒原　篤史 氏
	会　　議	１．令和３年度事業報告について ２．令和４年度事業計画（案）について ３．その他

7 委員会

1．総務委員会

(1) 会議の開催

開催日等	開催内容	
３年４月23日 ４名	正副委員長会議	(1) 本年度の総務委員会活動について (2) その他
３年７月14日 ５名	正副委員長会議	(1) 今後の総務委員会活動について (2) その他
３年10月22日 16名	会議	(1) 今後の総務委員会活動について ① 情報発信機能の強化について ② 会員満足調査の実施について ③ 課題共有化に向けた各種会議の開催について ④ 先進会議所視察の実施について ⑤ その他 (2) その他
３年11月30日 14名	正副会頭・委員長会議	(1) 報告 ① 新型コロナウイルス感染症に関する現状等について ② 新型コロナウイルス感染症に対する当所のこれまでの取り組み (2) 意見交換 ① 今後の取り組み等について
４年１月14日 15名	正副会頭・部会長会議	(1) 報告 ① 新型コロナウイルス感染症に対する当所のこれまでの取組みについて ② 各部会や業界の現状・課題等について (2) 意見交換 ① 今後の商工会議所並びに部会の取り組みについて
４年１月31日 18名	福島市議会経済民生常任委員会との懇談会	(1) 新型コロナウイルス感染症に関する課題等について (2) 福島市の課題について
４年２月２日 ５名	正副委員長会議	(1) 令和３年度事業報告並びに令和４年度事業計画（案）について (2) その他
４年２月16日 12名	会議	(1) 令和３年度事業報告並びに令和４年度事業計画（案）について (2) その他
	講演会	「SDGsのゴールの先へ」 講師 国立大学法人 福島大学 共生システム理工学類 エネルギーコース 教授 佐藤 理夫 氏
４年３月４日 78名	議員懇話会	(1) 各部会・委員会の令和３年度事業概要ならびに令和４年度事業計画

(2) 会員満足度調査の実施

① 調査の目的　会員事業所へのサービス向上や充実を図るため、会員満足度調査を実施

② 調査方法　アンケート調査票を会員巡回時に配布し、WEB（スマホ･当所HP）、返信用封筒、FAXにて回収

③ 調査期間　令和３年11月８日～令和４年１月11日

④ 調査対象　会員事業所　3,750件

⑤ 回答数・回答率　684件・18.2%

２．復興創生委員会

⑴　会議の開催

開催日等	開　　催　　内　　容	
３年４月22日 17名	会　　議	⑴　令和３年度事業計画について
	説　　明	「第６次福島市総合計画と令和３年度の地方創生の取り組みについて」 福島市政策調整部　次長兼政策調整課長　松田　和士 氏 政策調整課課長補佐　目黒　貴裕 氏
３年８月25日 ４名	正副委員長会議	⑴　今後の事業計画の取り組み内容について ①　これまでの取り組み内容について ②　福島駅周辺連続立体交差化事業について ③　新たな国道115号線ルートの整備について ④　福島西道路の南進事業について ⑤　福島駅東口市街地の再開発について
３年12月８日 20名	会　　議	⑴　令和３年度当委員会事業について
	講　演　会	「仙台駅の東西自由通路整備について」 東日本旅客鉄道㈱仙台支社 総務部　企画部長　中山弥須夫 氏
４年１月20日 ４名	正副委員長会議	⑴　次年度の事業計画の取組み内容について
４年２月７日 17名	会　　議	⑴　令和３年度事業報告について ⑵　令和４年度事業計画（案）について
	会員スピーチ	「福島市の今後に期待する事」 ㈱いちい　代表取締役社長　伊藤　信弘 氏 コバックス㈱　代表取締役　小林　仁一 氏

⑵　福島市の将来を見据えた地方創生のあり方の検討に関する取り組み

①　第６次福島市総合計画（Ｒ３～Ｒ７）を基本とする地方創生（まち・ひと・しごと）の取り組みに関する調査・研究関係

⒜　若者の地元企業への就職促進並びに、Ｕターン等での就職に対する仕事づくりの環境整備の推進について

◆当所雇用育成委員会において、高等学校との連携による就職促進等の取組として、会員事業所人事担当者〔㈱いちい、コバックス㈱、福島信用金庫他９社〕と高等学校就職担当教諭〔県北地区５校９名〕との意見交換会並びに、企業説明会〔㈱いちい、㈱日進堂印刷所〕を12／16に開催。

②　第３期福島市中心市街地活性化基本計画（Ｒ３～Ｒ８）に対する支援・協力関係

⒜　商店街エリア価値向上・リノベーションまちづくりに関する検討について

◆Ｒ４．１／21　福島市中心市街地活性化協議会において、㈱らいおん建築事務所の嶋田洋平氏を講師にお招きし、嶋田氏がこれまでリノベーション（既存の建物等の用途や機能を変更し、その価値を上昇させること）の手法を用いて、空き家･空き店舗などの遊休不動産を再生することで、町のにぎわいづくり、地域の課題の解決、コミュニティの再生等でエリアの価値を向上させてきた取り組みの話を伺った。

・参加者：55名

⒝　福島市の将来を担う高校生や大学生等の若者が、まちづくりに参画する機会創出等に関する調査・研究について、

◆福島市から福島まちづくりセンターに委託された、大学生等が中

心市街地で開催するイベントを支援する補助事業（最大10万円）について、センターと連携してPR活動等を行った。

(i) 10／30　アキフェス参加の福島大学ダンスサークルへ補助

(ii) 11／3　桜の聖母短大あかしや祭（ラコパ福島）での、食物栄養専攻科による焼き菓子製作販売へ補助

(iii) 上記同、世界最大のぬり絵の展示へ補助（12／11～1／10、旧中合2階街なか交流館で展示）

(3) 福島市の広域連携に関する調査・研究に関する取り組み

① 商工団体の広域連携としての、（仮）県北商工団体広域連携会議の設立に向けての検討（東北中央自動車相馬福島道路の開通による産業推進連携などを含む）関係

◆7／9　福島・相馬・米沢地域経済開発懇談会の主催により、東北中央自動車道相馬福島道路の全線開通を祝い、周辺地区も含めて連携を深め、同道路の利活用促進を図ることを目的に「東北中央自動車道（相馬～福島～米沢間）全線開通を祝う会」を開催。

記念講演として、日本商工会議所観光インバウンド専門委員会学識委員の丁野朗氏より「地域が育てる選ばれる観光地づくり」をテーマに実施。

広域的連携の見地から、東北中央自動車道の沿線商工会として、飯坂町・松川町・飯野町・桑折町・伊達市・保原町の6商工会関係者も出席した。

◆福島・相馬・米沢3商工会議所会報へ観光情報等を掲載するとともに、3市連携の「観光ドライブMAP」を作成。

3．中小企業振興委員会

開催日等	開催内容	
3年8月28日 8名	正副委員長会議	（協　議） 1．福島駅周辺連続立体交差化の実現に向けた商工会議所の今後の取り組みについて 2．新たな優良会員事業所表彰制度について （報　告） 1．小規模事業者等支援事業（各種補助事業）の状況について
3年10月26日 17名	会　議	（報　告） 1．令和3年度上半期支援実施状況について 2．経営発達支援事業について 3．「福島駅東西の往来に関するアンケート」の実施について （協　議） 1．福島商工会議所会員事業所応援表彰の実施について 2．福島商工会議所会員事業所飲食店応援事業（案）について 3．その他 （意見交換） テーマ　「新型コロナウイルスの影響に係る現状と今後の課題について」
4年2月14日 9名	正副委員長会議	1．令和3年度事業報告について 2．令和4年度事業計画（案）について 3．新たな優良会員事業所表彰制度について
	福島商工会議所会員応援表彰「福エール賞」選考委員会	1．表彰推薦事業所の内容確認 2．表彰事業所決定

開催日等	開　　催　　内　　容	
４年２月19日 15名	会　　議	（議　題） １．令和３年度事業報告について ２．令和４年度事業計画（案）について ３．新たな優良会員事業所表彰制度について （報　告） １．令和３年度福島商工会議所会員事業所応援表彰「福エール賞」選考結果について

４．観光交流委員会

(1)　会　　議

開催日等	開　　催　　内　　容	
３年８月31日 12名	会　　議	(1)　今年度の委員会活動について (2)　その他
	説　　明	「令和３年度福島市の観光事業取組み概要」 説明者　福島市商工観光部観光交流推進室 室長　三浦　裕治 氏
３年12月６日 ～７日 ５名	全国商工会議所観光振興大会２０２１ｉｎおきなわ那覇	(1)　分科会 (2)　全体会議 • 基調講演 「新・観光産業」～地域の総合産業としての観光のあり方～ 講演者　藻谷　浩介 氏（㈱日本総合研究所　主席研究員） • パネルディスカッション 「新・観光産業」～地域の総合産業としての観光のあり方～ コーディネーター　下地　芳郎 氏 （沖縄観光コンベンションビューロー　会長） パネリスト　藻谷　浩介 氏（㈱日本総合研究所 主席研究員） 〃　山北栄二郎 氏（㈱JTB　代表取締役） (3)　オンラインツアー • 専門ガイドと巡る首里城の歴史を旅するオンラインツアー • 新！世界自然遺産ヤンバルの魅力にせまるオンラインツアー
４年１月25日 ２名	正副委員長会議	(1)　令和３年度事業報告について (2)　令和４年度事業計画（案）について (3)　その他
４年２月15日 ９名	会　　議	(1)　令和３年度事業報告について (2)　令和４年度事業計画（案）について (3)　その他
	説　　明	「福島県の観光振興の取り組みについて」 講　師　福島県観光交流局観光交流課 課長　渡邊　重勝 氏

(2) 事　　業

年月日	内　　容
３年４月１日	東北DC応援企画「TOHOKUサポーター」へ登録
３年４月１日	【観光ドライブMAP作成】 東北中央自動車道の利活用促進並びに３市への交流人口拡大を図るため、山形県、福島県、宮城県と県境を越えた３市連携による広域の「観光ドライブマップ」を作成した。 ○作成部数　20,000部 ○設 置 先　３市観光案内所、道の駅、東北自動車道SA・PA等
３年４月１日 ～23日	【ふくしま花のまちフェスティバル2021】 ①　花見山の花木（桜、桃、レンギョウ、ボケ、ハクシン他）で東口駅前広場の花時計の左右に花のモニュメント『ミニ花見山』を設置 ②　古関裕而ストリート（駅前通り～レンガ通り）への花ももの木プランター（85鉢）・切り花ポット（30個）の設置 ③　福島駅東口・西口駅前広場への切り花ポットの設置
３年４月１日 ～５月31日	【2021春のランチで食うポン】 ○参加店数　51店 ○お食事数　45,701枚（前年度29,437枚） ○スタンプラリー　5,477通（前年度1,885通）
３年４月 ～４年３月	【福島・相馬・米沢３商工会議所報による観光等情報発信】
３年４月３日	【Fukushimaハルフェスinえきまえ2021】 ○内　　容 • 信夫中学校吹奏楽部による古関裕而楽曲演奏 • 東京オリパラ競技大会福島市推進室によるPRブースの設置 • 福島・相馬・米沢３商工会議所連携事業、相馬市、米沢市の観光PRブースの設置 • 花見山から切り花を用意し、当日来場者へプレゼント（先着100名様）
３年７月９日	【東北中央自動車道（相馬～福島～米沢間）全線開通を祝う会】 ○内　　容 • 祝う会 • 記念講演 テーマ　「地域が育てる選ばれる観光地づくり」 ～地域ブランドは「物語（ストーリー）」づくりから～ 講　師　東洋大学大学院国際観光学部　客員教授 日本商工会議所観光インバウンド専門委員会 学識委員　丁野　　朗 氏

年月日	内　　容
３年10月１日 ～11月30日	【2021秋のランチで食うポン】 ○参加店数　47店 ○お食事数　56,566枚（前年度47,313枚） ○スタンプラリー　5,156通（前年度3,262通）
３年10月30日	【Fukushimaアキフェスinえきまえ2021】 ○内　　容 • 古関裕而氏の楽曲を使用した市民参加型ダンスイベント「古関裕而ミュージックダンスステージ」の実施 • 福島・相馬・米沢３商工会議所連携事業、相馬市・米沢市の名産品等の販売ブース・置賜支所より農作物直売ブースの開設 • 朝ドラ「エール」藤丸役『井上希美』による古関楽曲の歌唱パフォーマンス　ほか
４年２月28日	【古関裕而氏を紹介するラジオ番組の放送】 ○放 送 局　ラジオ福島 ○番組タイトル　『「エール」で結ぶ、友と創った古関メロディ』 ○内　　容　古関裕而を育んだ“福島三羽烏”が作曲人生で出逢う人々のストーリーを探る。 ○放送時間　19時30分～20時

５．中心市街地活性化委員会

開催日等	開　　催　　内　　容	
３年11月１日 12名	会　　議	⑴　令和３年度の当委員会活動について ⑵　その他
	説　　明	「㈱福島まちづくりセンターの活動について」 講　師　当所常務理事　本田　政博 （㈱福島まちづくりセンター専務取締役）
		「福島大学林ゼミによる賑わいづくりの取り組み」 講　師　福島大学行政政策学類　准教授　林　　嶺那 氏
４年２月１日 ３名	正副委員長会議	⑴　令和３年度事業報告について ⑵　令和４年度事業計画（案）について ⑶　その他
４年２月７日 11名	会　　議	⑴　令和３年度事業報告について ⑵　令和４年度事業計画（案）について ⑶　その他
	説　　明	「新 街なか広場について」 講　師　福島市都市政策部　市街地整備課　課長　末永　栄司 氏 「福島学院大学による地域活性化の取り組みについて」 講　師　福島学院大学短期大学部　情報ビジネス学科長 地域連携センター副センター長　木村　信綱 氏

６．雇用育成委員会

開催日等	開　　催　　内　　容	
３年11月30日 10名	会　　議	１．令和３年度の当委員会事業について ２．会員事業所人事担当者と高等学校就職担当教諭との意見交換会の開催について
３年12月16日 34名	高等学校就職担当教諭向け企業説明会および会員企業人事担当者と高等学校就職担当教諭との意見交換会	１．高等学校就職担当教諭向け企業説明会 ⑴　㈱いちい ⑵　㈱日進堂印刷所 ２．説明 「最近の雇用情勢について」 講　師　福島公共職業安定所 統括職業指導官　佐藤　明美 氏 ３．意見交換会 ⑴　高等学校就職担当教諭からの現状ならびに要望発表 ⑵　会員企業人事担当者からの現状ならびに要望発表 ⑶　意見交換
４年２月４日 ４名	正副委員長会議	１．令和３年度事業報告について ２．令和４年度事業計画（案）について
４年２月10日 ９名	会　　議	１．令和３年度事業報告について ２．令和４年度事業計画（案）について
	講　演　会	「雇用シェア（在籍型出向制度）の活用について」 講　師　（公財）産業雇用安定センター　福島事務所長　古川　公義 氏
		「福島市子どものえがお条例」について 講　師　福島市　こども未来部こども政策課　担当者

Ⅶ 事　　業

1　各種事業

Ⅰ
活力ある福島の創造（地域経済の活性化）

ⅠＡ
ふくしま将来ビジョンの推進

1　「ふくしま将来ビジョンアクションプラン」の遂行

1　「ふくしま将来ビジョンアクションプラン」の遂行

平成28年に策定した「ふくしま将来ビジョン」の実現に向けた具体的なアクションプランを遂行した。

1．実施方法

各委員会・部会および青年部・女性会等が行ったアクションプランの実施状況の確認を基に、プラン作成時から３年余経過したことによる、県立医科大学保健科学部の開校、コンベンション機能を含む福島駅前市街地再開発整備事業など、中心市街地の活性化の動きが見られることなどの変化等に伴い、アクションプランの見直しを検討した結果、課題１の福島駅周辺を核とする中心市街地の活性化について見直しを行った。

今後、さらに変化していくことが予想される、課題１～福島駅周辺を核とする中心市街地の活性化を含め、課題２～福島市の都市形成および居住環境整備、課題３～中小企業支援策の充実、課題４～観光振興および交流人口拡大策の推進について、現状と実施状況の確認を行い、見直しを検討していくものとした。

ＩＢ
政策提言・要望活動の推進

１　商工会議所ネットワークの活用による提言力の強化

１．日商・東北六県連・福島県連との連携
⑴　日本商工会議所との連携
⑵　東北六県商工会議所連合会との連携
⑶　福島県商工会議所連合会との連携

２　政策提言・要望活動の実施

１．復興・再生に関する要望

１　商工会議所ネットワークの活用による提言力の強化

１．日商・東北六県連・福島県連との連携

⑴　日本商工会議所との連携

日本商工会議所と福島県の復興や原子力損害賠償の現状に関する情報提供や意見交換を実施し、内容について日本商工会議所が実施する国等に対する要望活動に反映されるなど、日本商工会議所の事業活動との連携を行った。

⑵　東北六県商工会議所連合会との連携

副会長会議所として各種要望を共同で実施した。

⑶　福島県商工会議所連合会との連携

会長会議所として、各地経済振興のための情報収集に努めて提供した。また、様々な課題について連携し解決にあたった。

２　政策提言・要望活動の実施

１．復興・再生に関する要望

⑴　令和４年度福島県予算編成に対する要望

県内産業の復興支援や中小企業・小規模事業者の支援策の強化等について要望活動を実施した。

- 要 望 先　福島県議会
  （自由民主党、県民連合、公明党）
- 要 望 者　福島県商工会議所連合会
  福島県商工会連合会
  福島県中小企業団体中央会
  福島県信用保証協会
- 要 望 日　令和３年８月25日
- 要望内容
  ①　原子力災害及び頻発する自然災害の克服と県内産業の復興・再生に向けた支援強化について

② 中小企業・小規模事業者支援対策の拡充強化について

③ 中小企業・小規模事業者の復興・事業継続を推進するための中小企業支援機関に対する予算措置の拡充について

(2) 福島県知事に対する要望

福島県商工会議所連合会と連携し、県内商工会議所としても各地域の課題等について内堀県知事に対して要望を行った。

- 要 望 先　内堀雅雄 福島県知事
- 要 望 者　福島県商工会議所連合会・県内商工会議所
- 要 望 日　令和３年12月26日
- 要望内容

福島県商工会議所連合会

① 新型コロナウイルス感染対策の支援拡充強化と継続

② 原子力災害及び頻発する自然災害の克服と県内産業の復興・再生に向けた支援強化

③ 中小企業・小規模事業者支援対策の拡充強化

④ 中小企業支援機関に対する予算措置の拡充

福島商工会議所

① 霊山ICから福島市内を通り国道115号に至る新たなルートの整備促進について（継続）

ＩＣ
中心市街地の活性化

１　中心市街地活性化の推進

１．福島市中心市街地活性化協議会の運営と第３期基本計画の推進
２．福島駅前通り活性化に向けた取り組み支援
３．無料貸し傘サービス事業の実施
４．㈱福島まちづくりセンターとの連携
５．福島駅エリア東西一体化推進協議会によるまちづくりの研究

２　にぎわい創出の推進

１．福島駅前元気プロジェクトによるにぎわい創出イベントの実施
２．商店街元気イベントの実施
⑴　ふくしまふれあい商店街朝市の開催
⑵　福島うまいもの市の開催
⑶　まちなかイルミネーション事業への協力

３　街なか情報の発信

１．ホームページによる「まちなかイベントカレンダー」の発信

４　県立医大保健科学部開設に関するおもてなし

１　中心市街地活性化の推進

１．福島市中心市街地活性化協議会の運営と第３期基本計画の推進

第２期福島市中心市街地活性化基本計画（計画期間：平成27年４月～令和３年３月）の最終フォローアップに関し、福島市に対する意見の提出を行うとともに、第３期基本計画（計画期間：令和３年４月～９年１月）の各種事業について、社会的、経済的および文化的活動拠点となるにふさわしい魅力ある市街地の形成の実現を図るため、地域住民および関係機関・団体の合意形成を図った。

⑴　協議会・運営会議の開催

開催年月日	内　　容
令和３年 ４月26日	○第36回運営会議 報　告 ⑴　第３期福島市中心市街地活性化基本計画の認定について 議　事 ⑴　令和２年度事業報告および収支決算について ⑵　令和３年度事業計画（案）および収支予算（案）について ⑶　役員改選について ⑷　第２期福島市中心市街地活性化基本計画の最終フォローアップ報告について ⑸　令和３年度第26回福島市中心市街地活性化協議会（総会）の開催について
令和３年 ６月24日	○第26回協議会 報　告 ⑴　第３期福島市中心市街地活性化基本計画の認定について ⑵　第２期福島市中心市街地活性化基本計画の最終フォローアップ報告について 議　事 ⑴　令和２年度事業報告について ⑵　令和３年度事業計画（案）について ⑶　役員改選について
令和３年 11月29日	○第37回運営会議 議　事 ⑴　第３期福島市中心市街地活性化基本計画の変更概要について ⑵　今後のスケジュールについて
令和３年 12月20日 （書面審議）	○第27回協議会 議　事 ⑴　第３期福島市中心市街地活性化基本計画の変更（第１回）について

２．福島駅前通り活性化に向けた取り組み支援

福島駅前通りのリニューアル完成を受けて周辺商店街の方を主メンバーに「福島駅前通り活性化委員会」が組織された。

当協議会では、福島駅前通りをはじめとした賑わいの創出や今後の再開発事業に伴う工事期間中のまちのあり方等について同委員会へ情報を提供するなど取り組みを支援した。

３．無料貸し傘サービス事業の実施

福島駅前通りリニューアルによるアーケード撤去に伴う歩行者の利便性の確保と、大原綜合病院移転開院による福島駅から大原綜合病院の区間（古関裕而ストリート）の回遊性の向上を図るため、無料貸し傘サービス事業「ももりん貸し傘サービス事業」を平成30年１月から実施している。

- 設 置 場：７ヶ所〔１．福島駅東口観光案内所　２．AXCビル（１階ししどやおや）　３．ウィズもとまち　４．チェンバおおまち　５．大原綜合病院　６．こむこむ　７．福島県立医科大学保健科学部〕
- 設置本数：300本

４．㈱福島まちづくりセンターとの連携

⑴　取締役会への出席

⑵　株主総会への出席

⑶　中心市街地の空き地・空き店舗対策事業への協力

５．福島駅エリア東西一体化推進協議会によるまちづくりの研究

福島市においては、駅東西が鉄道によって分断され、その往来で利用されるあづま・西町の２陸橋、曾根田踏切は慢性的な渋滞など課題が山積している。

また、吾妻山火山防災マップによれば、大規模噴火発生時の泥流が２時間後には市内に到達すると予測されており、課題が多岐にわたる。

当所では令和２年度末に標記協議会を設立し、３年度から福島駅エリアの東西一体化を推進する事業を展開した。

- アンケートの実施
  駅東西の往来に関する利用実態を調査した。
  回答件数　518件
  （内訳：一般202件、高校生316件）
- 講演会の開催
  日時　令和４年３月10日
  会場　ウェディングエルティ
  演題　「駅周辺の一体化を図るまちづくり促進のための工夫」
  講師　中央大学研究開発機構　秋山研究室
  客員研究員
  ㈱オリエンタルコンサルタンツ
  都市政策・デザイン部
  理事　都築　　正 氏

２　にぎわい創出の推進

１．福島駅前元気プロジェクトによるにぎわい創出イベントの実施

開催年月日	内　　容
令和３年 ４月３日 ～ ５月５日	「Fukushimaハルフェスinえきまえ2021」実施 • 開催日時　４月３日(土) 10：00～16：00 • 会　　場　福島駅前通り、中合ツイン広場 • 内　　容　オープニングセレモニー ステージイベント 果物・野菜の直売、手づくり雑貨類の販売や飲食ブースの設置 福島・相馬・米沢PRブースの設置、もの切り花のプレゼント、クーラクーリアンテサンパレス・いちい街なか店によるブース出店 スタンプラリーの実施　等

開催年月日	内　　容
	• そ の 他　※中合一番館壁面に協賛企業PR看板を設置 ※４月より開始した東北ディスティネーションキャンペーンの一環として開催 • 来場者数　9,000名
	「Fukushimaナツフェスinえきまえin2021」に関しては、７月22日(木・祝)開催予定も、新型コロナウイルス感染症の影響のため、８月28日(土)に延期。しかし、８月も引き続き新型コロナウイルスの感染状況の悪化が続き、中止を判断した。
令和３年 10月30日 ～ 11月30日	「Fukushimaアキフェスinえきまえ2021」 • 開催日時　10月30日(土) 10：00～16：00 • 会　　場　東口駅前広場、福島駅前通り、中合ツイン広場 • 内　　容　古関裕而ミュージックダンスステージ（古関氏作曲の楽曲を使用し、市民参加型のダンスイベントを開催、全10チーム参加） オープニングセレモニー シークレットゲスト（NHK連続テレビ小説「エール」出演の井上希美氏にご出演頂き、歌唱パフォーマンスのほか、福島への想いなどをトーク頂いた。） 果物・野菜の直売、手づくり雑貨類の販売、福島･相馬･米沢PRブースの設置、福島大学食農学科が出店ブースとして参加、クーラクーリアンテサンパレス・いちい街なか店によるブース出店 スタンプラリーの実施　等 • そ の 他　※中合二番館跡ビル壁面に協賛企業PR看板を設置 • 来場者数　15,000名

開催年月日	内　　容
令和３年 12月３日 ～ 令和４年 １月31日	「Fukushimaフユフェスinえきまえ2021」開催 • 開催日時　12月３日(金) 16：00～18：00 • 会　　場　東口駅前広場 • 内　　容　駅前イルミネーション点灯式（リニューアルしたイルミネーションを点灯・光のしずくイルミネーションも同時に点灯） 先着順にてメッセージキャンドル点灯、ホットワインの振舞いを実施 ゴスペルグループ等によるクリスマスソングのライブを実施 • 来場者数　3,300名 • そ の 他　中合二番館跡ビル壁面に協賛企業PR看板を設置

※このほか、事務局会議を５回開催

※新型コロナウイルス感染症への対応

- スタッフのイベント前体温測定、マスク着用
- 各控室、バックヤード、テント内のこまめな消毒
- 各ブースレイアウトの変更、数の調整
（人込みの緩和、ソーシャルディスタンスの確保）
- 厚生省労働局新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」をイベントチラシ・ポスターに掲載し、登録を呼び掛けた。
- 備品に関しては都度消毒

２．商店街元気イベントの実施

(1)　ふくしまふれあい商店街朝市の開催

まちなかの賑わい創出と商店街の活性化を目的に、街なか広場で計３回、さんかく広場で計５回、出張朝市で計４回実施した。出張朝市は平成25年度より買い物弱者対応策として、福島市との共同開催となっている。なお、令和３年度については、新型コロナウイルスの影響により中止となった回もあったが、感染防止対策を十分にとり開催した。

朝市開場前恒例のラジオ体操とイベントの目玉として生卵１パック10円販売を実施した。

回	開催日時	場所	出店数	来場者数
1	４／18(日)　７：30～８：30	街広	４店	約50人
2	５／９(日)　10：00～11：00	出張	４店	約60人
3	５／16(日)　７：30～８：30	街広	４店	約60人
4	６／13(日)　10：00～11：00	出張	４店	約60人
5	６／20(日)　７：30～８：30	街広	４店	約70人
6	７／11(日)　９：00～10：00	出張	４店	約60人
7	７／18(日)　７：30～８：30	さんかく	４店	約60人
8	８／８(日)　９：00～10：00	出張	４店	約50人
9	８／15(日)　７：30～８：30	さんかく	４店	約40人
10	９／12(日)　９：00～10：00	出張	－	※中止
11	９／19(日)　７：30～８：30	さんかく	－	※中止
12	10／17(日)　７：30～８：30	さんかく	４店	約50人
13	11／３(祝)　７：30～８：30	さんかく	４店	約60人
14	11／14(日)　10：00～11：00	出張	４店	約60人

街広：街なか広場　出張：出張開催　さんかく：さんかく広場

(2)　福島うまいもの市～食べてエール～の開催

福島市内のおいしいものが勢ぞろい！福島市が誇るソウルフード「円盤餃子」の販売等を11月３日(祝)の商店街の日に開催した。

(3)　まちなかイルミネーション事業への協力

光のしずく事業（福島市イルミネーション）実行委員会への支援・協力を行い、冬のまちなかにあかりを灯した。

• 点灯（令和３年12月３日）

令和３年度に関しては、駅前元気プロジェクトによる「フユフェス・東口駅前広場イルミネーション点灯式」と同タイミングで点灯。

※点灯期間

令和３年12月３日(金)～令和４年１月31日(月)

新型コロナウイルスの影響により一部短縮有

３　街なか情報の発信

１．ホームページによる「まちなかイベントカレンダー」の発信

市内中心部で開催されるイベントを主体に各種イベント情報を収集し、まちなかの賑わい創出や中心市街地の活性化に寄与することを目的として、インターネット（公式ホームページ・スマートフォンサイト）において一括した情報発信を行った。

３年度は子育て世代をはじめとした幅広い世代が、市内で開催されるイベントや子供向け催事等へのお出掛けを計画する際に、わかりやすく情報を入手できるようアイコン等の見直しを中心としたリニューアルを行った。

４　県立医大保健科学部開設に関するおもてなし

福島県立医科大学保健科学部が令和３年４月、福島市栄町の駅前通りに開設され、新入生143名が入学した。

当所は開設前から県立医大、福島県、福島市と協議を重ね、中心街に新たに開設された大学を歓迎する事業を展開した。

①住宅情報の提供

当所不動産業部会事業として、同学部合格者専用イントラネットに学生向けの住宅情報を掲載した。定期的に更新し、安心・安全な住まいを提供した。

②歓迎フラッグの掲揚

福島市商店街連合会と協力し、福島駅前通りに大学開設を歓迎するフラッグを掲揚した。

③学生向けクーポンの発行

市内のパン・スイーツ店で期間限定で利用できるクーポンを発行し、学生は通常500円以上のメニューを300円で利用できる内容とした。

ＩＤ
広域連携の推進

１　福島・相馬・米沢地域経済開発懇談会による地域連携の促進

２　福島西道路の南伸および北伸促進

１　福島・相馬・米沢地域経済開発懇談会による地域連携の促進

３市の相互地域開発並びに経済発展を図ることを目的に３会議所合同で各種事業を実施した。

⑴　会議の開催

• 専務理事会議

令和３年６月１日（火）（福島市）

令和３年10月13日（水）（米沢市）

⑵　福島・相馬・米沢地域開発懇談会

「東北中央自動車道（相馬～福島～米沢間）全線開通を祝う会」の開催

昭和57年より福島・相馬・米沢３商工会議所が年１回持ち回りで開催している同懇談会は、令和３年４月24日の東北中央自動車道（相馬～福島～米沢）全線開通を祝し、沿線地域も含めて今後の連携をさらに深めることを目的に祝う会を開催した。

日　時　令和３年７月９日（金）　14：00

場　所　「ウエディングエルティ」（福島市）

出席者　100名

内　容

第１部　祝う会

主催者代表挨拶

福島商工会議所　会頭　渡邊　博美

来賓紹介

来賓挨拶

経過説明

国土交通省東北地方整備局

福島河川国道事務所長　福島　陽介 氏

意見表明

相馬商工会議所　会頭　草野　清貴

万歳三唱

米沢商工会議所　会頭　増村　　力

閉　　会

第２部　記念講演

- 演題　「地域が育てる選ばれる観光地づくり」
  ～地域プラン度は「物語（ストーリー）」づくりから～
- 講師　（公社）日本観光振興協会総合研究所顧問
  日商観光インバウンド専門委員会
  学識委員　丁野　　朗 氏

⑶　３商工会議所懇談会の開催

今後の『東北中央道活用促進』と『相互地域の活性化を図る』ため意見交換の機会として開催した。

日　時　令和４年３月１日(火)　15：30
場　所　「上杉伯爵邸」（米沢市）
出席者　16名
内　容
　第１部　懇談会
　　挨　拶
　　米沢商工会議所　会頭　増村　　力
　　ゲスト講話
　　テーマ「DMOを軸とした広域観光連携」
　　ゲスト／宮嶌　浩聡 氏
　　意見交換
　第２部　交流会

⑷　福島・相馬・米沢広域観光PRの実施

３市のさらなる連携強化と交流人口の促進を目的に３商工会議所の会報誌で相互にPRを行った。

⑸　観光ドライブマップの作成

東北中央自動車道をさらに活用していただくことを目的に道の駅をはじめ各種観光情報を掲載したマップを作成した。

- 作成部数　20,000部
- 配布場所　各地「道の駅」、サービスエリア、観光案内所　ほか

２　福島西道路の南伸および北伸促進

一般国道13号福島西道路は、Ⅰ期事業区間7.7kmが全線４車線で供用されており、市民の通勤や買い物などの日常生活を支えるとともに、福島市の基幹産業である農業および工業の基盤となる、極めて重要な道路である。

また、福島西道路Ⅱ期事業（南伸）は、平成24年に新規事業に採択されて以降、用地進捗率は８割に達し、平成29年から始まった改良工事も順調に進み、ついには令和８年度までとの開通見通しが示されたところである。

Ⅱ期事業は慢性的な渋滞の緩和、交通事故の減少、災害時のリダンダンシ―の確保、県内唯一の高度救急救命センターである福島県立医科大学付属病院への搬送所要時間の短縮による救命率向上など、安全・安心な市民生活の実現に大きく寄与するものである。さらに、一般国道13号が関東・東北の大動脈たる一般国道４号と直結することで生じる物流効率の向上は、Ⅰ期事業が地域にもたらす恩恵を深化させ、福島都市圏のさらなる発展を強く引き寄せるものである。

これらを踏まえ、当所会頭が福島西部環状道路建設促進期成同盟会会長となり、事業が継続的かつ着実に進むよう官民挙げての要望を、国や国会議員等へ働きかけた。

ＩＥ
観光振興と交流人口拡大の推進

１　「花のまちふくしま」による誘客事業の実施

1.「ふくしま花のまちフェスティバル2021」の実施
2. 花ももの木プランター・切り花設置事業の実施

２　地域資源を活用した観光素材等の情報発信による誘客の推進

1. 観光集客拠点と連携した観光情報の発信
2. WEB版　ふくしまフォトライブラリーの充実と情報発信

３　昭和の大作曲家・古関裕而氏を未来へつなぐ各種事業の実施

1. 古関裕而の名曲を聴こう！事業

４　交流人口拡大に向けたスポーツイベントへの支援・協力

1. 福島ユナイテッドFCへの支援・協力
2. 2021ふくしま花ウォークへの支援
3. 第23回ふくしま吾妻荒川・花見山ツーデーマーチへの支援
4. 第19回あづまの郷ウォーク大会への支援
5. 第23回あづま荒川クロスカントリー大会への支援

５　国際交流の推進

1. ふくしま台湾友好協会による交流事業の実施
2. 台湾経済団体との交流促進事業の実施（風評被害・風化対策事業）

１　「花のまちふくしま」による誘客事業の実施

1.「ふくしま花のまちフェスティバル2021」の実施

当市随一の観光拠点である花見山と福島駅前広場に設置する花のモニュメントおよび花時計設置事業や春のランチで食うポン事業を通して、観光客のおもてなしをすることを目的に実施した。

- 実施期間
  令和３年４月１日(木)～令和３年５月31日(月)
  ※花時計は年間事業として実施
- 場　　所
  メイン会場を「駅前広場」とし、古関裕而ストリート（駅前通り・レンガ通り）をはじめ、周辺の商店街を対象とした。

2. 花ももの木プランター・切り花設置事業の実施

プランターに植栽した「花ももの木」と「切り花」を４月の花見山観光シーズンに合わせて開催した「ふくしま花のまちフェスティバル2021」期間中、古関裕而ストリート（福島駅前通り・レンガ通り）、県庁通り、および福島駅東口･西口広場に設置した。

- 設置期間
  令和３年４月１日(木)～令和３年４月23日(金)
- 内　　容　花ももの木プランター（約80鉢）・花見山の切り花（40鉢）設置に合わせ、古関裕而のまちふくしまをPRする小型看板をプランターに設置した。

2　地域資源を活用した観光素材等の情報発信による誘客の推進

1．観光集客拠点と連携した観光情報の発信

⑴　「金わらじ」「紅白わらじ」の展示

平成29年度の当所創立100周年を記念して製作した「金わらじ」（３ｍ）をコラッセふくしま１階アトリウムに、「紅白わらじ」（３ｍ）を市本庁舎１階へ昨年に引き続き常設展示した。

⑵　「健脚わらじ」の展示

「福島わらじまつり」PRのため、JR福島駅新幹線乗換口に、まつりで使用した長さ５ｍの健脚わらじを展示した。

2．WEB版　ふくしまフォトライブラリーの充実と情報発信

アマチュアカメラマンによる福島市の優れた風景写真を撮影していただき、その作品をWeb上に展示する事業を実施した。当事業の実施により、「いつでも・だれでも・どこからでも」福島の四季折々の風景写真を閲覧・利用できるシステムを整備し、写真により福島市の自然の素晴らしさを全国に伝えた。

⑴　作品の希望者への貸借

年度	作　品　貸　出	
	申込団体数	増　減
令和３年度	5	1
令和２年度	4	3
令和元年度	1	▲ 6

3　昭和の大作曲家・古関裕而氏を未来へつなぐ各種事業の実施

1．「古関裕而の名曲を聴こう！」事業

⑴　「古関裕而ミュージックダンスステージ」

- 開 催 日　令和３年10月30日（土）
- 場　　所　福島駅前通り
- 内　　容　古関裕而氏作曲「栄冠は君に輝く」等使用したダンスイベントを開催した。

⑵　「ふくしまユージックフェス2021」（青年部事業）への支援・協力

- 新型コロナウイルス感染症の影響により中止

⑶　古関裕而氏を紹介するラジオ番組の放送

- 放送日時　令和４年２月28（月）19時～20時
- 放 送 局　ラジオ福島
- 内　　容　朝ドラ「エール」でも描かれた、福島時代の仲間（伊藤久男、野村俊夫）や生涯出逢う仲間たち（菊田一夫、丘灯至夫ほか）に焦点を当てた番組構成にしたほか、女優の井上希美さんをゲストに迎え、古関メロディへの想いをインタビューした。

４　交流人口拡大に向けたスポーツイベントへの支援・協力

１．福島ユナイテッドFCへの支援・協力

⑴　オフィシャルクラブパートナー契約による支援

- 福島ユナイテッドFCとオフィシャルクラブパートナー契約をし、福島ユナイテッドFCの主催ゲームにおいて、フィールド看板を掲出した。

⑵　サポーターズクラブへの加入促進

- 加入促進チラシの全会員事業所への配布

⑶　クラブ活動に関する広報支援

- 所報「ふくしま」、当所ホームページでの試合情報の広報

⑷　Ｊ２、Ｊ１昇格に向けた環境整備への支援

- 「福島市にサッカースタジアムをつくる会」活動スタジアム構想ワーキンググループの開催

２．2021ふくしま花ウォークへの支援

- 開 催 日　令和３年４月10日（土）
- 場　　所　街なか広場から５㎞・10㎞のコースを会場に感染症対策を取って実施した。
- 参 加 者　650名

３．第23回ふくしま吾妻荒川・花見山ツーデーマーチへの支援

４．第19回あづまの郷ウォーク大会への支援

５．第23回あづま荒川クロスカントリー大会への支援

上記３事業は新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となった。

５　国際交流の推進

１．ふくしま台湾友好協会による交流事業の実施

⑴　情報提供

- 台湾観光（日本語版）の送付

台湾の最新情報と日本との交流事業を伝える情報誌『台湾観光（日本語版）』を台湾観光協会東京事務所の協力を得て希望会員に送付した。

⑵　台湾オンラインツアーへの参加

新型コロナウイルス感染拡大のため海外旅行ができない中、オンラインにより台湾の観光や食の魅力を再認識いただくことを目的とした県主催のオンラインツアーに会員に対して周知をした。

①　実施日　令和３年11月27日（土）
　　内　容　古都「台南」方面へのツアー
②　実施日　令和４年２月13日（日）
　　内　容　元宵節＆夜市を巡るツアー

２．台湾経済団体との交流促進事業の実施（風評被害・風化対策事業）

震災時最大規模の支援をいただいた親日国である台湾との交流をより深め、併せて風評被害の払拭および風化の防止を図るため、台北駐日経済文化代表所並びに台湾観光協会に対して福島市のくだもの（桃・りんご）を贈呈した。

引き続き、両国の良好な経済･観光推進について、交流を深めることを確認した。

ＩＦ
地域の祭り・伝統文化の興隆

１　福島わらじまつりの実施

２　ふくしま花火大会の実施協力

３　ふくしま山車祭りの実施協力

１　福島わらじまつりの実施

(1)　第52回 福島わらじまつり（縮小開催）

①　大わらじ奉納・疫病退散祈願神事

- 開 催 日　令和３年８月６日(金)
  15：00～16：30
- 会　　場　羽黒神社
- 行事内容

　羽黒神社へ大わらじを奉納し、その後神社拝殿において疫病退散祈願神事を執り行った。

②　わらじTV（YouTube Live配信）

- 開 催 日　令和３年８月７日(土)
  17：30～20：30
- 会　　場　福島商工会議所会議室より配信
- 行事内容

　大友良英氏と井上希美さんのリモート出演、過去の記録動画やメッセージ動画の放映等

③　おうちでわらじまつり
（ZOOMによる一般参加のわらじおどり）

- 開 催 日　令和３年８月７日(土)
  18：00、20：00

・会　　場　オンライン
・行事内容

　リモート会議システムのZOOMを使用し、オンライン一般参加のわらじおどりを実施、実行委員会メンバーも市内各所（駅東口わらじまつり提灯前、じょーもぴあ宮畑、鯖湖湯ほか）よりオンライン参加。

　おどりの様子を「わらじTV」内で生配信した。

２　ふくしま花火大会の実施協力

第43回ふくしま花火大会（中止）

３　ふくしま山車祭りの実施協力

第14回ふくしま山車祭り（中止）

ＩＧ
消費拡大の推進

１　飲食店パンフレット等活用による消費拡大の推進

1．優待食事券事業「2021ランチで食うポン」の作成・配布

２　酒類提供飲食店支援事業「呑んde食うポン」、「会員限定プレミアム飲食券」の発行

３　福島県飲食店応援前払利用券「がんばる地元（おらほ）の飲食店応援（エール）券」事業の実施

４　福島の夜のにぎわいを取り戻そうキックオフ会の開催

５　弁当販売事業者の販路拡大支援

１　飲食店パンフレット等活用による消費拡大の推進

１．優待食事券事業「2021ランチで食うポン」の作成・配布

震災からの復興と、加えて、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている飲食業界における停滞ムードの払拭、ならびに飲食店の売上増進を目的として、参加店で使用できる優待食事券事業を実施した。

参加飲食店を記載したクーポン付きパンフレットを作成し、通常1,000円超のメニューを食うポンチケット持参のお客様に1,000円（税込）で提供していただく取り組みである。パンフレットに付録の「食うポンチケット」やスマートフォン等で、「食うポンチケット画面」を見せるだけで使用できる仕組みとした。

⑴　春のランチで食うポン

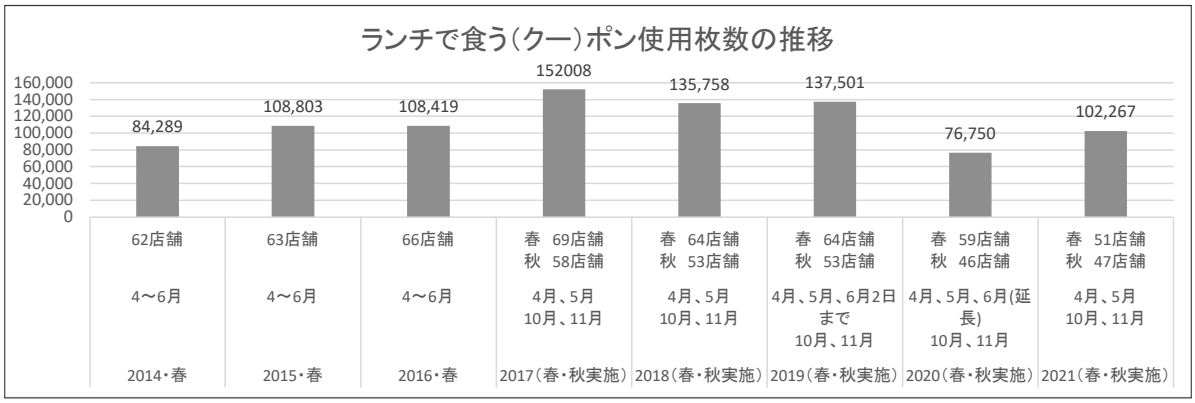
- 期　　間
  令和３年４月１日～令和３年５月31日
- 実　　績　クーポン券　45,701枚
- 発行部数　パンフレット…６万部
  添付クーポン券…12万枚
  （２枚／１部×６万部）

• 参加店舗　51店舗
　　福島商工会議所管内：48店舗
　　飯坂町商工会管内　：１店舗
　　松川町商工会管内　：２店舗

⑵　秋のランチで食うポン

• 期　　間
　令和３年10月１日～令和３年11月30日
• 実　　績　クーポン券　56,566枚
• 発行部数　パンフレット…６万部
　　添付クーポン券…12万枚
　　（２枚／１部×６万部）
• 参加店舗　47店舗
　　福島商工会議所管内：45店舗
　　松川町商工会管内　：２店舗

［クーポン券使用枚数の推移］



２　酒類提供飲食店支援事業「呑ん de 食うポン」、「会員限定プレミアム飲食券」の発行

新型コロナウイルスの影響で大打撃を受けた酒類提供飲食店を支援するため、掲載各店でお得な特典サービスが受けられる「呑んde食うポン」冊子を発行するとともに、呑んde食うポン掲載店で使える額面１万円の「会員限定プレミアム飲食券」を当所会員事業所限定で5,000円で販売した。

⑴　呑んde食うポン

- 期　　間
  令和３年12月６日～令和４年３月31日
  ※当初は２月28日までの利用期間としていたが、まん延防止等重点措置の影響により３月31日まで延長した。
- 発行部数　30,000部
- 参加店舗　87店舗

⑵　会員限定プレミアム飲食券

- 期　　間
  令和３年12月６日～令和４年４月30日
  ※当初は２月28日までの利用期間としていたが、まん延防止等重点措置および県の感染拡大防止重点措置の影響により４月30日まで延長した。
- 販売枚数　500枚
- プレミアム　100％
  （5,000円の購入で10,000円分利用可能）

３　福島県飲食店応援前払利用券「がんばる地元（おらほ）の飲食店応援券（エール）」事業の実施

新型コロナウイルス感染症の拡大により、県内飲食店の利用が大幅に落ち込んでいる状況を踏まえ、福島県がプレミアム付き前払利用券を発行し当所から参加店へ配布した。

利用者が応援したい飲食店の前払利用券を購入することにより、当該飲食店における当面の運転資金確保につなげることを目的として令和２年度より実施。３年度も継続実施した。

- プレミアム　法人10％　個人20％
- 参 加 店　131事業者184店舗（市内の飲食店、仕出し・弁当店、ホテル・旅館等）
- 期　　間　令和２年６月８日～令和３年６月30日
- 配布枚数　402,800枚（令和２年度～３年度通算）
  個人店用／1,200円券　216,600枚
  法人店用／1,100円券　186,200枚

４　福島の夜のにぎわいを取り戻そうキックオフ会の開催

福島県と福島市の新型コロナウイルス行動制限が令和３年に11月に緩和された（当時）ことを受け、飲食店にエールを送ることを目的に市内の経済団体が共同で開催し、感染ルール厳守による飲食店利用を呼び掛けた。

- 開 催 日　令和３年12月2日
- 参加人数　20名

5　弁当販売事業者の販路拡大支援

会員事業所が製造･販売する弁当を所報で紹介し、販路拡大を支援した。

- 掲載期間　令和３年12月号～令和４年２月号
- 事業所数　12社

Ⅱ　会員事業所の発展（企業の安定・成長）

ⅡＡ　小規模事業者の伴走型支援の推進

1．小規模支援法に基づく経営発達支援計画による伴走型個社支援の強化
「ランチdeクーポン」参加店レベルアップ事業、ふくしまのフルーツを活用したスイーツのブラッシュアップ事業
2．小規模事業者持続化補助金等による伴走型個社支援の推進
3．福島県小規模いきいき支援事業に対する支援協力
4．連携による中小企業振興の推進

ⅡＢ　相談支援体制の充実・強化

1．さまざまな経済環境に対応した経営相談の充実
(1) 新型コロナウイルスに対する企業支援の強化
各種情報提供、特別相談窓口、個別相談会、持続化給付金申請サポート事業への協力等
(2) 令和３年福島県沖地震による災害対策関連事業
グループ補助金等を通じた復興支援、BCP策定支援

2．金融に関すること
(1) 小規模事業者経営改善資金融資制度（マル経融資）の利用促進
(2) 小規模事業者経営発達支援融資事業の利用促進
(3) 各種制度資金（国・県・市等）の利用促進
(4) 金融相談会の開催

3．税務申告業務の充実
(1) 経営指導員による消費税申告書作成の取組み強化
(2) 記帳の電子化・クラウド化に関する支援
(3) 消費税申告に関する支援

4．消費税に関すること

5．労務に関すること

6．原子力損害賠償に関すること

7．専門家による指導体制の充実
(1) 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業
(2) 嘱託専門職員（専門指導センター）の活用
(3) 専門家（中小企業診断士等）の個別企業への派遣指導
(4) 弁護士、社会保険労務士等による個別相談の実施

8．事業継続計画（BCP）に関する支援

ⅡＣ　経営革新の推進

1．経営革新等支援機関としての経営革新支援の充実・強化
(1) 経営革新計画策定および認定に関する支援
(2) 経営革新に関する個別相談会の開催

ⅡＤ　事業承継・事業再生の支援

1．後継者対策、事業承継に関する支援の充実
(1) 事業承継と後継者育成支援事業の実施
(2) 事業承継に関する個別相談の実施
(3) 福島県事業引継ぎ支援センターと連携した無料相談会の実施

2．事業再生に関すること
(1) 経営安定特別相談事業による倒産防止相談の実施
(2) 事業転換に関する支援

ⅡＥ　創業の推進

1．福島創業スクールの実施

2．創業に関する個別相談の充実
(1) ビジネスプラン作成の支援
(2) 開業資金の調達に関する支援

上記内容については、「7　経営改善普及事業」（Ｐ99～Ｐ113）で報告

Ⅱ F
ビジネス拡大の推進

1　医産連携推進事業の充実

2　会員事業所応援表彰「福エール賞」会員企業の顕彰

3　販路開拓支援事業の実施

1　医産連携推進事業の充実

1．ふくしま医療関連ビジネス研究会の推進ならびに福島県立医科大学と中小企業のマッチングおよび医療機器メーカーと中小企業のマッチング支援

市内の製造業者等が医療福祉分野との連携により技術開発を図り、新たな産業創出を推進していくことを目的とした福島市医産連携推進事業（名称：福島市医産連携研究会）については、平成25年度より福島市の委託事業として取り組んできたが、平成29年度をもって委託事業が終了となった。

今後も継続した取り組みが必要であることから、平成30年度以降は会の名称を「ふくしま医療関連ビジネス研究会」に変更し、福島商工会議所事業として事業運営を行っている。

令和３年度の活動については、新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けたが、関係機関のご支援をいただきながら、下記の事業を実施した。

1．組　織

- 会員数　18社
- 役　員

会　長　渋谷　修一（㈲福島熔材工業所）
副会長　林　　克重（タカラ印刷㈱）
幹　事　細井　建紀（㈱アイバック）
〃　　渡辺　　隆（東北精密工業㈱）
〃　　菅野　寿夫（アサヒ電子㈱）
〃　　中野泰三郎（㈱NAKANO）
監　事　五十畑昌之（東北自興㈱）

- 支援アドバイザー（団体名で記載）

国立大学法人福島大学　うつくしまふくしま未来支援センター
公立大学法人福島県立医科大学
ふくしま新産業創造推進協議会
福島県知財総合支援窓口

２．会議関係

会の運営・活動に関する検討や会員企業の医産連携に向けた取り組み報告等について役員会および研究会を開催

- ６月11日　第１回役員会
- ７月15日　第２回役員会
- ８月４日　第１回研究会
- 12月13日　第２回研究会

３．講演会

医産連携に向けた講演・意見交換等を実施した。

- ８月４日

  テーマ　福島県の医療機器開発・新規参入の現状と課題、今後の展望

  講　師　ふくしま医療機器開発支援センター事業企画推進部長　石橋　　毅 氏

  ※関連があるため工業部会にも案内（４社参加）

- 12月13日

  テーマ　民間企業と共同開発したウイルス吸着マスクの取り組みについて

  講　師　福島県立医科大学医療－産業トランスレーショナルリサーチセンター教授　高木　基樹 氏

４．出展関係

研究会および会員企業の活動をPRするため各種展示会に出展した。

- メディカルクリエーションふくしま2021（WEB）

  開催日　10月28日・29日

  会　場　特設サイト内

  内　容　研究会として参加会員企業に対し、出展料の補助を行った。なお、福島市「展示会出展・販路拡大支援補助金」を活用した。

  （補助率２／３、補助額６万円）

  ［出展企業　４社および研究会］

  アサヒ電子㈱、㈱永沢工機、㈱NAKANO、㈲福島熔材工業所、ふくしま医療関連ビジネス研究会

  参加実績（名刺交換・交流件数）

  36件（研究会全体　４社・１団体）

  参加しての感想

  - WEBによる展示会に出展したことで、普段顔を合わせることのできない様々な団体や企業と交流を持つことができた。
  - 出展企業において、具体的な商談につながった事例も出ており、一定程度の成果を出すことができた。

５．県立医大との連携事業「職場のお困りごと解決！ものづくり事業」

会員企業が医療分野進出の足掛かりとするため、福島県立医科大学で勤務されている方々から意見や要望を伺い、参入へ向けたニーズを探るとともに製品開発に活かすことを目的として実施した。

実施に際しては、県立医科大学医療研究推進課にご協力いただき、大学内イントラネットで告知いただくとともに関係各課にチラシを配布し周知を行った。

- 意見・要望件数　２件

６．試作支援

県立医科大学から点眼補助器具（白内障・緑内障等で視力低下に伴う方の点眼の補助器具）のニーズをお聞きし、会員企業のアサヒ電子㈱が取り組むこととなったため、試作品作成に関する支援を行った。

７．広報関係

研究会および会員企業をPRするため、HP等により広報活動を実施

- ホームページ
  http://www.fukushima-cci.or.jp/?p=15415
  （福島商工会議所HP内）
- Facebook
  https://www.facebook.com/fukushimaHBA/
- 周知
  メディカルクリエーションふくしま2021（web）等において周知を行った。

８．情報提供

会員企業に対して医産連携に向けた情報提供活動を随時実施した。

２　会員事業所応援表彰「福エール賞」会員企業の顕彰

１．目　的

自社の強みや経営資源を活かしたり、新たな商品・サービス等を開発することなどで努力を重ねられ、業績に好影響［福］をもたらしている事業所を顕彰することによって、会員企業の経営意欲を高めるとともに、地域経済の活性化を図る。

２．応募方法および審査方法

福島商工会議所議員事業所や役職員等からの推薦により対象事業所を選出し、選考委員会で受賞事業所を決定。

３．応募期間

令和３年11月１日～12月15日

４．応募並びに選出事業所数

応募事業所数　10社
※全事業所を表彰対象事業所として選出

５．受賞事業所（事業所50音順、業種）

㈱吾妻山麓醸造所（食品製造・販売業）
FAシンカテクノロジー㈱（一般産業用機械･装置製造業）
㈱笑夢（飲食業）
㈲シーリン（飲食業）
㈲玉山畳店（製造業）
㈱フォーカス（佐蔵農園）（広告業）
ブライダルギャラリーSACHIKO（サービス業）
プリン工房はちまん（食品製造・販売業）
㈲油井海草店（小売業）
㈱レパコ（食品製造・販売業）

3　販路開拓支援事業の実施

1.「2021年 販路開拓塾」の開催

食品製造・加工・卸売業の事業所の中で、コロナ禍により減少した売上回復に向け、新たな販路を開拓するために商談会へ参加してみたいが、どのような準備や対策を行うべきか分からないという方や、実際に商談会へ参加してみたが成果が上がらないという方の疑問や課題を解決するため、実際に活用できる知識とスキルを習得いただけるよう、商品編と営業編の２回シリーズで販路開拓塾を開催した。

(1)　第１回 商品編

- 開 催 日　令和３年９月７日(火)
- 場　　所　福島商工会議所　会議室
- 講　　師　(一社)スーパーマーケット協会
  シニアディレクター　籾山　朋輝 氏
- 参加者数　12社13名
- 内　　容
  ①販売チャネルに合わせた商品開発
  ②バイヤーが求める商品の理解
  ③商談成約率を上げるためのポイント　等

(2)　第２回 営業編

- 開 催 日　令和３年９月21日(火)
- 場　　所　福島商工会議所　会議室
- 講　　師　小さな会社の販売戦略を設計する専門家　吉見　範一 氏
- 参加者数　14社14名
- 内　　容
  ①あなたの話はなぜ「伝わらない」のか
  ②人は発言内容を「足し算」で聞く
  ③営業トークは「削る」ルールでここまで変わる　等

(3)　フォローアップ講習会

- 開 催 日　令和３年12月２日(木)
- 場　　所　福島商工会議所　会議室
- 講　　師　(一社)スーパーマーケット協会
  シニアディレクター　籾山　朋輝 氏
- 参加者数　２社２名
  ※下記の展示商談会出展事業者
- 内　　容
  ①FCPシート作成のポイント
  ②商談時の準備物について
  ③出展ブースレイアウト・見せ方について
  ④商談会ロールプレイング　等

2. 展示商談会への出展支援の実施

令和４年３月に仙台市で開催された展示商談会に福島商工会議所ブースを設け、出店を希望する事業者の出展支援を実施した。

- 商談会名　ビジネスマッチ東北2022春
- 日　　時　令和４年３月10日(木)
- 会　　場　夢メッセみやぎ
- 出 展 者　２事業所
- 出展形態　商工会議所１ブースを２事業者で半分ずつ利用
- 全体出展　429企業・団体
- 来場者数　4,062名

ⅡG 人材育成事業の推進

1　人材育成・経営課題に関するセミナーの実施

1．製造企業の技術力向上に関するセミナーの実施
2．生産性向上支援訓練セミナーの実施
3．パソコン教室
4．経営に役に立つ!WEBセミナーの配信
5．人材確保支援事業の実施

2　各種検定試験による商工技能の向上

1．簿記検定試験
2．リテールマーケティング（販売士）検定試験
3．珠算能力検定試験
4．PC検定試験
5．福祉住環境コーディネーター検定試験
6．ビジネス実務法務検定試験
7．カラーコーディネーター検定試験
8．環境社会検定試験（ECO検定）
9．ビジネスマネジャー検定試験

1　人材育成・経営課題に関するセミナーの実施

1．製造企業の技術力向上に関するセミナーの実施

⑴　2021人財育成塾「県北技塾」

- 開 催 日　令和３年10月５日(火)～10月28日(木)
- 開催場所　コラッセふくしま
- 開催日数　８回（８日間）
- 受講者数　99名（令和２年実績：153名／８回）
- 講座内容　次の通り

「金属材料学」～基礎と応用の境界を学ぶ～

日本大学工学博士　藤原　雅美 氏

「ものづくり改善の管理と指導」

ポリテクセンター福島　電気・電子技術分野
職業訓練指導員、TWIトレーナー（改善の仕方）
藤村　伸治 氏

「生産管理の基礎と応用」

国立大学法人福島大学教育研究院
教授（共生システム理工学類担当）　樋口　良之 氏

「品質管理」
～製造現場でのより良い製品づくりの取り組み方～

亀井社会保険労務士事務所
ものづくり支援アドバイザー　亀井　浩之 氏

「塗装技術の基礎」

福島県ハイテクプラザ　技術開発部　工業材料科
主任研究員　矢内　誠人 氏

「溶接・接合の基礎」

ポリテクセンター福島　テクニカルメタルワーク科
溶接技術分野　職業訓練指導員　馬場崎　裕 氏

「デジタル技術で理解を深める材料力学」

福島県ハイテクプラザ　技術開発部　工業材料科
主任研究員　工藤　弘行 氏

「3Dモデリングの基礎」

ポリテクセンター福島　テクニカルオペレーション科
機械加工技術分野　職業訓練指導員　菅原 大雅 氏

2．生産性向上支援訓練セミナーの実施

今後の企業経営の上で、地域の中小企業等が持続的に成長するためには、労働者一人一人の生産性向上が重要であると考えられることから、中小企業等の人材育成、従業員の労働生産性向上を支援することを目的に生産性向上支援訓練セミナーを開催した。

⑴ 「インターネットマーケティングの活用」

生活様式や経済活動が変容する今こそ取り組み、インターネットを活用した販促手法を実践することを呼び掛けた。

- 講　　師　イーンスパイア㈱
  代表取締役　横田　秀珠 氏
- 開 催 日　令和４年１月６日(木)、７日(金)
- 開催場所　コラッセふくしま
- 受講者数　19名（１／６）　19名（１／７）

3．パソコン教室（福島商工会議所生産性向上IT研修事業）

1．委 託 先　㈱ミライフ
（令和４年３月現在、全国115商工会議所123教室で受託運営）

2．開講場所　チェンバおおまち

3．授業内容
- インストラクターが常駐して指導
- 受講料は１回（50分）1,000円の固定制。各自の都合によって何時間受講しても可

4．在籍者数　357人

4．経営に役に立つ！ WEBセミナーの配信

新型コロナ対策・一般経営・研修等、600本以上のセミナーを無料でネット配信した。

- 配信期間　令和３年４月１日(木) ～
  令和４年３月31日(木)
- 視聴回数　3,723回
- 視聴セミナー数　1,195本
- 視聴者数　1,380名

5．人材確保支援事業の実施

福島市内の企業を対象に、社員の人材育成・女性活躍推進や若者の人材確保支援事業として、下記のセミナーを開催した。

また、当所に人材確保支援事業推進コーディネーターを配置し、福島市が推奨している「福島市働く女性応援企業認証」および「福島市障がい者雇用推進企業認証」の登録について推進を行った。

⑴ 女性社員向けセミナー

- 開 催 日　令和３年10月28日(木)
- 場　　所　福島商工会議所　会議室
- 講　　師　㈱クリフ　代表取締役　石山　純恵 氏
- 参加者数　８名

⑵ 企業向け女性活躍セミナー

- 開 催 日　令和３年11月２日(火)
- 場　　所　福島商工会議所　会議室
- 講　　師　(一財)女性労働協会　山田　理子 氏
- 参加者数　８名

⑶　若手社員向けセミナー
（入社５年以内の若手社員対象）

- 開 催 日　令和３年11月10日（水）
- 場　　所　福島商工会議所　会議室
- 講　　師　採用と教育研究所　所長
  半田　真仁 氏
- 参加者数　16名

⑷　働き方改革セミナー

- 開 催 日　令和３年11月17日（水）
- 場　　所　福島商工会議所　会議室
- 講　　師　社会保険労務士　　丹治　正夫 氏
- 事例発表　㈱三本杉ジオテック
  代表取締役　三本杉　裕 氏
  タカラ印刷㈱
  代表取締役　林　　善克 氏
- 参加者数　16名

⑸　企業認証数

福島市働く女性応援企業認証件数　　９社
福島市障がい者雇用推進企業認証件数　４社

2　各種検定試験による商工技能の向上

1．簿記検定試験（主催：日本商工会議所）

回　次	施行年月日	受験者数（合格者数）			今年度合　計	昨年度合　計	対比増減
		1級	2級	3級			
第158回	3年6月13日（日）	17 (2)	71 (12)	119 (15)	207 (29)	－ (－)	207 (29)
第159回	3年11月21日（日）	20 (0)	60 (12)	187 (61)	267 (73)	453 (136)	▲186 (▲ 63)
第160回	4年2月27日（日）	－ (－)	156 (16)	162 (75)	318 (91)	404 (179)	▲ 86 (▲ 88)
合　　計		37 (2)	287 (40)	468 (151)	792 (193)	857 (315)	▲ 65 (122)

受験者数の推移

年　度	1級	2級	3級	合計	対前年比
令和3年度	37	287	468	792	▲ 65
令和2年度	44	275	538	857	▲343
令和元年度	16	573	611	1,200	▲182

【各級の程度・能力】

1級	公認会計士、税理士などの国家資格への登竜門で、1級に合格すると税理士試験の受験資格が得られる。大学で専門に学ぶ程度の商業簿記、会計学、工業簿記、原価計算を習得し、財務諸表規則や企業会計に関する法規を踏まえて経営管理や経営分析ができる。
2級	株式会社の経営管理に役立つ。企業の財務担当者として必要な高校（商業高校）程度の商業簿記、工業簿記を習得している。財務諸表を読む力が身に付き、自社や取引先の経営内容を数字から把握できる。
3級	企業に働く者の必須の基礎知識が身に付き、商店や中小企業の経理事務に役立つ。 経理関連書類を読むことができ、青色申告などの書類作成もある程度できる。経理・財務担当以外でも必要な知識として評価する企業が多い。

2．リテールマーケティング（販売士）検定試験（主催：日本商工会議所）

令和3年度からオンライン検定試験が導入され、受験者と試験会場の都合で随時受験が可能になった。

回　次	施行年月日	級	受験者数（合格者数）	前年度受験者数（合格者数）
オンライン検定試験		2級	102（ 80）	121（ 79）
		3級	125（ 71）	163（117）
合　　計			227（151）	285（197）

受験者数の推移

年　度	１級	２級	３級	合　計	対前年比
令和３年度	－	102	125	227	▲58
令和２年度	1	121	163	285	▲28
令和元年度	5	111	197	313	7

３．珠算能力検定試験（主催：日本商工会議所）

回　次	施行年月日	受験者数（合格者数）						今年度合　計
		１級	２級	３級	４級	５級	６級	
第222回	令和３年６月27日（日）	16－ (3)	22 (9)	24 (12)	6 (5)	6 (5)	5 (4)	79－ (38)
第223回	令和３年10月24日（日）	25 (3)	36 (14)	28 (9)	6 (6)	3 (3)	6 (5)	104 (40)
第224回	令和４年２月13日（日）	32 (6)	27 (9)	43 (20)	1 (1)	5 (4)	5 (4)	113 (44)
合　　計		73 (12)	85 (32)	95 (41)	13 (12)	14 (12)	16 (13)	296 (122)

受験者数の推移

年　度	１級	２級	３級	４級	５級	６級	合計	対前年比
令和３年度	73	85	95	13	14	16	296	62
令和２年度	43	66	95	12	6	8	234	▲105
令和元年度	72	88	130	21	15	17	339	

【各級の程度・能力】

	【みとり算（10題）】	【かけ算（20題）】	【わり算（20題）】
１級	10口　100字	実法合わせて11けた	法商合わせて10けた
２級	10口　80字	実法合わせて９けた	法商合わせて８けた
３級	10口　60字	実法合わせて７けた	法商合わせて６けた
４級	10口　50字	実法合わせて７けた	法商合わせて６けた
５級	10口　40字	実法合わせて６けた	法商合わせて５けた
６級	10口　30字	実法合わせて５けた	法商合わせて４けた

４．PC検定試験（主催：日本商工会議所）※ネット試験認定校により随時実施

級		施行回数	受験者数（合格者数）	今年度合計
文書作成	２　級	12	12（ 7）	44（36）
	３　級	28	28（25）	
	ベーシック	4	4（ 4）	
データ活用	２　級	4	4（ 4）	45（40）
	３　級	26	26（24）	
	ベーシック	15	15（12）	
プレゼン資料作成	２　級	1	1（ 1）	13（13）
	３　級	12	12（12）	
合　　計		102	102（89）	102（89）

受験者数の推移：過去３年

年度	文書作成			データ活用			プレゼン資料作成		合計	対前年比
	２級	３級	ベーシック	２級	３級	ベーシック	２級	３級		
令和３年度	12	28	4	4	26	15	1	12	102	5
令和２年度	13	24	5	15	29	4	4	3	97	▲ 9
令和元年度	5	15	33	11	19	16	3	4	106	60

【各級の程度・能力】

文書作成	**２級**	与えられた情報を整理・分析し、参考となる文書を選択・利用して、状況に応じた適切なビジネス文書、資料等を作成することができる。
	３級	指示に従い、ビジネス文書の雛形、既存文書を用いて、正確かつ迅速にビジネス文書を作成することができる。
	ベーシック	ワープロソフトの基本的なスキルを有し、企業実務に対応することができる。
データ活用	**２級**	表計算ソフトを用い、当該業務に関する最適なデータベースを作成するとともに、適切な方法で分析し、表やグラフを駆使し業務報告・レポート等ができる。
	３級	表計算ソフトを用い、指示に従い正確かつ迅速に業務データベースを作成し、集計、分類、並べ替え、計算、グラフ作成等ができる。
	ベーシック	表計算ソフトの基本的な操作スキルを有し、企業実務に対応することができる。
プレゼン資料作成	**２級**	与えられた情報を整理・分析し、図解技術やレイアウト技術、カラー表現技術等を用いて、適切で分かりやすいプレゼン資料を作成することができる。
	３級	指示に従い、プレゼン資料のひな型や既存の資料を用いて、正確かつ迅速にプレゼン資料を作成することができる。

５．福祉住環境コーディネーター検定試験（主催：東京商工会議所）

回　次	オンライン 施行年月日	受験者数			今年度合計
		１級	２級	３級	
第46回	令和３年７月14日～８月６日		3	5	8
第47回	令和３年11月15日～12月13日		5	0	5
合　計			8	5	13

受験者数の推移

年　度	１級	２級	３級	合　計	対前年比
令和３年度	0	8	5	13	▲33
令和２年度	0	36	10	46	▲54
令和元年度	2	78	20	100	▲ 4

【各級の程度・能力】

１級	３級・２級で得た知識をもとに、新築や住宅改修の具体的なプランニングができる。さらに、安全で快適なまちづくりへの参画など、幅広い活動ができる。
２級	３級レベルの知識に加え、介護、医療、福祉、住環境等の専門的な知識を身につけ、住環境の現場にて具体的な解決策を提案できる。
３級	福祉と住環境の関連分野の基礎的な知識を有している。

６．ビジネス実務法務検定試験（主催：東京商工会議所）

回　次	オンライン試験 施行年月日	受験者数（合格者数）			今年度合計
		１級	２級	３級	
第49回	令和３年６月17日～７月９日	当所では 実施なし	4	6	10
第50回	令和３年10月14日～11月８日		3	3	6
合　計			7	9	16

受験者数の推移

年　度	１級	２級	３級	合　計	対前年比
令和３年度	0	7	9	16	▲52
令和２年度	0	31	37	68	14
令和元年度	0	15	39	54	▲10

【各級の程度・能力】

１級	業務上必要な法律実務知識をビジネス全般にわたって持っており、その知識に基づいて多面的な観点から高度な判断・対応ができる。
２級	企業活動の実務経験があり、弁護士などの外部専門家への相談といった一定の対応ができるなど、質的・量的に法律実務知識を有している。
３級	ビジネスパーソンとしての業務上理解しておくべき基礎的法律知識を有し、問題点の発見ができる。

7．カラーコーディネーター検定試験（主催：東京商工会議所）

回　次	オンライン試験 施行年月日	受験者数		今年度合計
		アドバンスクラス	スタンダードクラス	
第50回	令和３年６月17日～７月９日	2	3	5
第51回	令和３年10月14日～11月８日	1	0	1
合　計		3	3	6

受験者数の推移

年　度	アドバンスクラス	スタンダードクラス	合　計	対前年比
令和３年度	3	3	6	▲12
令和２年度	6	12	18	－

※令和２年度より級が廃止されアドバンスクラスとスタンダードクラスに変更。

年　度	１級	２級	３級	合　計	対前年比
令和元年度	2	14	18	34	3

【各級の程度・能力】

アドバンスクラス	スタンダードクラスの知識に加え、ビジネスにおける色彩の活用事例など幅広い知識を有している。
スタンダードクラス	日常から見た色彩に関する基礎的な知識について理解している。

8．環境社会検定試験（ECO検定）（主催：東京商工会議所）

回　次	オンライン試験 施行年月日	受験者数
第30回	令和３年７月14日～８月６日	10
第31回	令和３年11月15日～12月13日	7
合　計		17

受験者数の推移

年　度	合　計	対前年
令和３年度	17	▲29
令和２年度	46	▲48
令和元年度	94	0

「エコピープル」

商工会議所ではeco検定合格者を「エコピープル」と呼んでいる。幅広い環境問題に対する基本的な知識を有し、そこから生まれる問題意識を日常の行動に移そうとしている方々、あるいは既にそうした活動を行っているeco検定合格者に対して、商工会議所として敬意を込めた名称。

【取得の意義】

企業にお勤めの方	企業の社会的責任対応や今後の環境ビジネスの展開に向けて、知識を活用できるようになる。また、取得社員が増えることで、企業のイメージアップにもつながり、ISO取得後の継続学習の一環として、社員の意識改革や自己啓発にも役立てられる。
学生の方	環境保全に取り組んでいる企業・団体などへの就職活動や進学時のアピール材料になる。知識の幅を拡げ、国際的な視野でこれからの社会の姿を考えられるようになる。
一般の方	日常生活の中で、環境に配慮した生活知識を身につけることができる。また、環境への知識をもとに、地域再生や地域振興のために活動していただくことを期待できる。

９．ビジネスマネジャー検定試験（主催：東京商工会議所）

回　次	オンライン試験 施行年月日	受験者数
第13回	令和３年６月17日～７月９日	1
第14回	令和３年10月14日～11月８日	0
合　計		1

受験者数の推移

年　度	合　計	対前年
令和３年度	1	▲18
令和２年度	19	3
令和元年度	16	▲32

経営者と社員の結節点であるマネジャーのミッションは、「チームとして成果を出すこと」。「人と組織のマネジメント」「業務のマネジメント」「リスクのマネジメント」を系統立てて学習する機会を提供し、マネジャーとしての活躍が期待されるビジネスパーソンの養成を目的に始まった検定試験。

Ⅱ H
雇用対策事業の推進

1　求人・求職間のミスマッチ解消に関すること
1．会員企業人事担当者と高等学校就職担当教諭との意見交換会の開催

2　雇用創出事業の推進
1．福島市若者自立支援仕事体験事業の実施（職場体験講習事業）

3　健康経営に関すること
1．健康経営セミナーの実施
2．健康経営優良法人の認定

1　求人・求職間のミスマッチ解消に関すること

1．会員企業人事担当者と高等学校就職担当教諭との意見交換会の開催

高校と企業の連携強化と相互理解により、新規高卒者雇用環境の改善および学生の就職支援を図ることを目的として、会員企業の人事担当者と高等学校の就職担当者との意見交換会を開催した。

また、意見交換会開催前に高等学校就職担当の先生を対象とした企業説明会を実施し、㈱いちい、㈱日新堂印刷所の２社から企業概要等の説明を受けた。

【企業説明会】
- 開 催 日　令和３年12月16日（木）
- 開催場所　ウエディングエルティ
- 説明企業　㈱いちい
  ㈱日進堂印刷所
- 出席者数　高等学校　11校11名

【意見交換会】
- 開 催 日　令和３年12月16日（木）
- 開催場所　ウエディングエルティ
- 出席者数　会員企業　12社12名
  高等学校　９校９名
  雇用育成委員会　９名
  中小企業振興委員会　１名
  福島公共職業安定所　１名
  福島県商工労働部雇用労政課　１名
  福島市商工観光部産業雇用政策課　１名
- 意見交換内容
  ①高等学校就職担当教諭からの現状ならびに要望発表
  ②会員企業人事担当者からの現状ならびに要望発表
  ③意見交換

2　雇用創出事業の推進

1．福島市若者自立支援仕事体験事業の実施（職場体験講習事業）

コミュニケーション能力や対人関係に不安を抱えている若者（ニートや引きこもり等）で、ユースプレイス支援団体等の支援を受けて就労意欲の向上が見られる方を対象に、就職へのチャンス拡大を目指すとともに、希望する職場における実際の仕事体験を通して自立促進を図ることを目的として実施した。

- コーディネーター　事業所訪問件数　94社
- 登録事業所数　44社
- 職場体験講習受講者数　32名

3　健康経営に関すること

1．健康経営セミナーの実施

本県における心疾患・脳血管疾患などの生活習慣病の死亡率が上昇している傾向と、少子高齢化等による労働人口の減少が予想される中、従業員の健康の維持・増進と併せ、事業所の生産性向上を高めていくことが企業の継続的発展に今後重要な要素になると考え、下記の日程において健康経営セミナーを実施した。

- 日　程　令和３年11月22日（月）
- 場　所　ウエディングエルティ
- 内　容

第１部　「少子高齢化を勝ち抜く“健康経営”
～健康経営優良法人2023に向けて～」
講師　アクサ生命保険株式会社
HPM推進部HPM第２課担当課長
健康経営エキスパートアドバイザー
井上　貴樹 氏

第２部　「感染症を防ぐために『腸内環境』を
整えて免疫機能を正常に！」
講師　株式会社グリーンハウス
管理栄養士／健康経営アドバイザー
山田　修子 氏

２．健康経営優良法人の認定

健康経営優良法人とは、地域の健康課題に即した取組みや「日本健康会議」が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度。当所は令和３年度に初めて認定された。

認定証
（中小規模法人部門）
法人名　福島商工会議所
貴法人は、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する「健康経営」の取組が優良であると認められました
よって、ここに「健康経営優良法人2021（中小規模法人部門）」として認定します
経済産業省及び厚生労働省と共に、今後一層取組を推進されることを期待いたします
2021年3月4日
日本健康会議
日本健康会議

Ⅱ Ⅰ
各種調査・情報提供

1　登録・申請・検査業務の実施
1．公害健康被害補償業務の徴収業務の実施
2．容器包装リサイクル業務の実施
3．貿易関係証明書の発行

2　地域経済に関する各種調査の実施
1．LOBO（早期景気観測）調査
2．中小企業景況調査
3．新型コロナウイルス感染症に関する影響調査

1　登録・申請・検査業務の実施

1．公害健康被害補償業務の徴収業務の実施

⑴　**受 託 先**

独立行政法人環境再生保全機構

⑵　**受託業務内容**

①　浜通り地区（いわき、相馬、原町）を除く県内に事業所を有する汚染負荷量賦課金納付義務者に対する、申請書、添付書類および納付書の送付

②　納付義務者に対する制度の啓蒙および指導

③　申告書類の受理等の業務

⑶　**取 扱 数**

汚染負荷量賦課金取扱事業所数（88件）

2．容器包装リサイクル業務の実施

⑴　**受 託 先**

公益財団法人日本容器包装リサイクル協会

⑵　**受託業務内容**

①　ガラス瓶、PETボトル、紙製容器、プラスチック製容器の製造・販売を行う事業所を「特定事業者」として位置づけ、リサイクルにかかる経費の一部に充てるための委託料支払業務の補助

②　委託料の申請には「紙申請」および「オンライン申請」があり、「紙申請」を行う事業所のオンライン申請の代行業務

③　容器包装リサイクル制度の説明会の実施

⑶　**取 扱 数**

①　紙申請　　８社

②　オンライン申請　　23社

３．貿易関係証明書の発行

商工会議所が発給する貿易関係証明書は、真正・公正な証明として海外でも認知されている。会員事業所の円滑な海外取引のために発給業務および相談に対応した。

- 証明内容　原産地証明、サイン証明　他
- 発給件数　610件

発給件数

年　度	合　　計	対前年比
令和３年度	610	▲ 269
令和２年度	879	▲ 312
令和元年度	1,191	263

２　地域経済に関する各種調査の実施

１．LOBO（早期景気観測）調査
(QUICK SURVEY OF LOCAL BUSINESS OUTLOOK)

LOBO調査は、商工会議所のネットワークを活用して、各地域の「肌で感じる足元の景気感」を全国ベースで毎月調査・集計するもの。その結果を景気対策等に関する意見活動等に資することを目的に実施した。

- 調査内容
  売上・採算・仕入単価・従業員の状況および業界として当面する問題など
- 調査対象
  管内３事業所　※組合含む
- 調査回数
  毎月１回（計12回）

２．中小企業景況調査

管内中小企業の景況ならびに経済動向に関する情報の収集および分析を行い、全国・東北地域と比較し、管内業況を把握することで中小企業関係機関の施策および指導、ならびに一般企業者の経営の参考にすることを目的として実施した。

- 調査内容
  売上高、採算、設備投資、経営上の問題点等について
- 調査対象
  管内52事業所（製造業10社、建設業３社、卸売業７社、小売業19社、サービス業13社）
- 調査回数
  ４半期に１回実施（計４回）
- そ の 他
  当所議員事業所を中心に52社に同様の調査を行い、全104社の結果をまとめ定期刊行物「所報ふくしま」およびホームページで発表。

３．新型コロナウイルス感染症に関する影響調査

新型コロナウイルス感染症が会員事業所に及ぼす影響を調査し、当所の施策や行政等への要望に生かすために実施した。

- 調査内容

  売上への影響、休業の状況、雇用への影響、各種支援策の利用状況・効果等について

- 調査対象

  全会員事業所

- 調査回数

  ３回

Ⅱ J
業種別振興事業の推進

1　食品商業に関すること

2　生活関連商業に関すること

3　工業に関すること

4　建設業に関すること

5　金融・経営支援業に関すること

6　観光・飲食業に関すること

7　情報・通信業に関すること

8　不動産業に関すること

9　健康・社会サービス業に関すること

※１～９については、「Ⅵ　会議　6部会」（Ｐ31～Ｐ36）で報告

総括的概要
施策体系
Ⅰ定款・規約等
Ⅱ組織
Ⅲ議員選挙役員・議員の選任
Ⅳ事務局
Ⅴ庶務
Ⅵ会議
Ⅶ事業Ⅰ活力ある福島の創造
Ⅶ事業Ⅱ会員事業所の発展
Ⅶ事業Ⅲ魅力ある商工会議所
Ⅶ事業経営改善普及事業他
Ⅷ登録
Ⅸ事務所等
Ⅹ団体加入および連携
Ⅺその他の会議等への参加

ⅡＫ
福利厚生の充実

1　会員事業所の福利厚生と事業リスク対策の充実

1．生命共済制度等の普及・拡大

⑴　生命共済制度

⑵　特定退職金共済制度

⑶　個人保険（商工会議所福祉制度）

2．共済・福祉制度キャンペーンの実施

2　会員事業所従業員の健康増進と疾病リスク対策の推進

1．生活習慣病健診の実施

2．人間ドック健診の実施

3．新型コロナワクチン職域接種の実施

3　会員事業所従業員の永年勤続表彰事業の実施

1　会員事業所の福利厚生と事業リスク対策の充実

1．生命共済制度等の普及・拡大

⑴　生命共済制度（愛称「エール共済」）

（令和４年３月31日現在）

- 事業所数　1,236事業所
- 加入者数　5,668人
- 加入口数　7,622口

◆給付金・保険金の支払状況

給付の種類 ＼ 件数・金額		年間累計 件数	年間累計 金額（円）
独自給付金	結婚祝金	36	405,000
	出産祝金	80	910,000
	事故通院給付金	25	475,000
	病気入院給付金	117	3,490,000
	遺児育英給付金	1	50,000
	検定合格祝金	2	8,920
	小　計	261	5,338,920
アクサ給付金	事故入院給付金	17	2,840,000
	死亡給付金	7	19,300,000
	高度障害給付金	1	1,300,000
	ガン入院一時金	20	580,000
	６大生活習慣病入院一時金	20	340,000
	ガン先進医療一時金	0	0
	小　計	65	24,360,000
給付合計		326	29,698,920

(2) 特定退職金共済制度(令和4年3月31日現在)

- 事業所数　146事業所
- 加入者数　970人
- 加入口数　6,124口

◆退職給付金の支払状況

件数・金額 給付の種類	年間累計	
	件　数	金額（円）
退職給付金	90	96,691,094
解約手当金	1	7,032,200
遺族給付金	0	0
給付合計	91	103,723,294

(3) 個人保険（商工会議所福祉制度）

（令和４年３月31日現在）

- 事業所数　2,617事業所
- 加入者数　3,741人

◆保険制度別の加入状況

制度No.	制度名	事業所数	加入者数
702	大型損保セット	81	91
711	医療保障プラン	35	37
721	個人年金プランＳ	38	38
731	ガン保険	9	10
735	ガン治療	492	654
751	終身保障プラン	65	72
801	総合	1,470	2,318
845	定期保険群集団	200	235
851	低払型定期保険	227	286
	合　　計	2,617	3,741

２．共済・福祉制度キャンペーンの実施

共済・福祉制度加入事業所への還元事業として、キャンペーン期間中に当制度へご加入（新規･増口）いただいた事業所へ下記の賞品を進呈した。

- 実施期間　令和３年10月１日(金)～11月30日(火)
- 賞　　品　①共通映画鑑賞券
  ②女性専用フィットネス３回利用チケット
- 進 呈 数　①共通映画鑑賞券　61事業所122枚
  ②女性専用フィットネス３回利用チケット　98事業所196枚

２　会員事業所従業員の健康増進と疾病リスク対策の推進

１．生活習慣病健診の実施

会員事業所の福利厚生の充実・健康管理に寄与することを目的に生活習慣病健診を実施した。労働安全衛生法の診断項目やメタボリックシンドローム症候群の健診項目にも対応した内容とした。

- 実施期間　令和３年９月９日(木)～10日(金)、
  13日(月)～16日(木)（６日間）
- 受診者数　96事業所・419名

２．人間ドック健診の実施

会員事業所の役員･従業員およびその家族の方を対象に会員価格の特別料金で人間ドックの提供を行った。

- 実施期間　令和３年４月１日(木)～令和４年３月31日(木)
- 受診者数　42名

３．新型コロナワクチン職域接種の実施

会員事業所の役員・従業員を対象とし、新型コロナウイルスワクチン職域接種を福島市の協力のもと実施した。

- 実施期間
  １回目　令和３年９月８日(水)、９日(木)、12日(日)
  ２回目　令和３年10月６日(水)、７日(木)、10日(日)
- 会場　クーラクーリアンテサンパレス福島
- 接種者数　91事業所457名

３　会員事業所従業員の永年勤続表彰事業の実施

会員事業所において永年勤続された優良な従業員に対し、日本商工会議所会頭、福島商工会議所会頭名で表彰するとともに記念品を贈呈した。

- 表 彰 日　令和３年11月10日(水)
- 会　　場　ウエディングエルティ
- 受章者数　49事業所・167名

Ⅲ
魅力ある商工会議所
（商工会議所の活性化）

ⅢＡ
商工会議所の運営強化

1　運営強化のための会議等の充実
1．常議員会・議員懇話会の充実
2．議員親睦事業の開催
⑴　議員親善ゴルフ大会
3．福島市新年市民交歓会の開催

2　部会・委員会の運営強化
1．部会・委員会活動活性化に向けた意見交換

3　会員サービスの充実
1．会議所活用辞典ダイジェスト版の発行
2．オリジナルカレンダーの作成
3．GoToEatキャンペーンふくしまプレミアム食事券事業

4　女性会・青年部の運営支援と連携強化

5　外郭団体との連携
1．福島市商店街連合会
2．福島市商店街連合会青年部
3．福島青色申告会連合会
4．福島市青色申告会
5．福島県珠算連盟
6．福島珠算連盟
7．福島エネルギー懇談会
8．東北経済連合会福島地域懇談会
9．福島県警察官友の会連合会
10．福島地区警察官友の会
11．福島県クリーンふくしま運動推進協議会
12．福島県自衛隊協力会連合会
13．福島市自衛隊協力会
14．福島わらじまつり実行委員会
15．福島リサイクル推進協議会
16．ふくしま台湾友好協会
17．福島市にサッカースタジアムをつくる会
18．大相撲大波三兄弟福島後援会

1　運営強化のための会議等の充実

1．常議員会・議員懇話会の充実

新型コロナウイルスによる経済停滞を乗り越えるために議員が意見を交わし、それぞれの知見や情報の共有を図るため、常議員会と議員懇話会を積極的に開催した。

- 常議員会　　計４回開催
- 議員懇話会　　計２回開催

2．議員親睦事業の開催

⑴　議員親善ゴルフ大会

第１回 （第233回）	開催日　令和３年６月９日（水） 場　所　福島ゴルフ倶楽部民報コース 参加数　21名 表　彰　優　勝　平田　　哲 氏 　　準優勝　菅野日出喜 氏
第２回 （第234回）	開催日　令和３年８月26日（木） 場　所　ボナリ高原ゴルフクラブ 参加数　23名 表　彰　優　勝　河原田浩喜 氏 　　準優勝　三瓶　善明 氏
第３回 （第235回）	開催日　令和３年10月21日（木） 場　所　東蔵王ゴルフ倶楽部 参加数　17名 表　彰　優　勝　菅野日出喜 氏 　　準優勝　半野　秀一 氏
第４回 （第236回） 議員・女性会 ・青年部交流	開催日　令和３年11月27日（土） 場　所　福島ゴルフ倶楽部民報コース 参加数　26名 表　彰　優　勝　植田　リサ 氏 　　準優勝　大内　淳子 氏

３．福島市新年市民交歓会の開催

年頭にあたり、会員事業所をはじめとした地域商工業者と市長、福島市幹部の参加により各々の年頭所信の表明、参加者の相互交流を図るために実施した。

ワクチン接種証明の提示など新型コロナウイルス対策を徹底し、２年ぶりに開催した。

- 開催日　令和４年１月４日(火)
- 場　所　ウエディングエルティ
- 参加者　527名

２　部会･委員会の運営強化

１．部会・委員会活動活性化に向けた意見交換

各部会・委員会の活動内容について議員間で共通の認識を持つことで、より活動の活性化を図ることを目的に議員懇話会を開催し、各部会長・委員長よりそれぞれの活動内容について説明をした。

- 開催日　令和４年３月４日（議員懇話会）
- 内　容　「各部会・委員会の令和３年度事業概要並びに令和４年度事業計画について」（各部会長並びに委員長から説明）

３　会員サービスの充実

１．商工会議所活用辞典ダイジェスト版の配布

当所のサービス内容をわかりやすく収録した『活用辞典』のダイジェスト版を職員で実施した会員巡回の際に配布した。

また、新型コロナウイルス関連の相談で来所された未加入事業所にも渡すなど会議所活動の周知活動に利用した。

2．オリジナルカレンダーの作成

会員事業所へのサービス事業の一環として、当所オリジナルカレンダーを作成した。

テーマ　「古関裕而の自筆画で綴る懐かしのメロディー」

古関裕而氏は作曲ばかりでなく、自身で絵画をたしなみ、数多くのスケッチや絵画作品を残した。ほのぼのとした筆致は作曲に通ずるものがあり、2022年版カレンダーではご本人の自筆画を珠玉のメロディーとともに紹介した。また、つい口ずさみたくなる名曲が生まれた背景や作曲にまつわるエピソードも紹介した。

当所会員事業所および各関係機関へ配布した他、郵送･窓口受付による販売も行った。

作成部数　5,000部

仕　　様　Ａ２版カラー７ページ

3．GoToEatキャンペーンふくしま プレミアム食事券事業

発行総額　　60億円
発行総冊数　　48万冊
当所販売冊数　５千冊　※完売
販売期間　令和２年11月２日～令和３年５月31日
利用期間　令和２年11月２日～令和３年６月30日
券面構成　1,000円券×10枚＋500円券×５枚＝12,500円／１冊
利用店舗　福島県内2,891店舗／福島市内541店舗

4　女性会・青年部の運営支援と連携強化

1．女性会の活動状況

地域経済の担い手たる企業の女性経営者および社会におけるリーダーの集まりとして自己研鑽に励むとともに会員間の連携を図り、また地域に根ざす企業として福島の復興と地域の発展のための事業活動に取り組んだ。

(1)　会議の開催

①　第41回通常総会（書面審議）

(2)　研修会・全体会の開催

講演会やわらじおどり練習会など、経営者としての資質向上及び会員親睦事業等の全体会を実施した。

（年間３回開催）

⑶　コラッセ夢ばざーる（第38回バザー）

例年、地域社会福祉への貢献を目的として開催しているが、新型コロナウイルス感染拡大を受け、会員のみで開催した。

⑷　花時計の花植替えおよび維持・管理

福島に訪れた方々をきれいな花でお出迎えし、「花のまち　ふくしま」を印象づけるために、平成20年４月からJR福島駅東口駅前広場に設置している「巨大な花時計」が福島駅前のシンボルとして定着するように、福島明成高校の協力で植替えを定期的に行うなどPRおよび年間の維持管理に努めた。

⑸　信夫山彼岸花プロジェクト

（一財）福島県遺族会の「恒久平和を託す彼岸花（悲願花）」を咲かせる活動に賛同・支援するとともに、県都福島市のシンボルである信夫山に彼岸花の名所づくりを行うことで、秋の観光客集客を推進した。

２．青年部の活動状況

地域を支える青年経済人として、次代への先導者としての責任を自覚し、地域の経済的発展の支えとなり、新しい文化的創造をもって豊かで住みよい郷土づくりに貢献していくことを目的に『何の為に？』～時代の流れを感じYEGが創る新常識！～を令和３年度テーマに掲げて下記の事業を実施した。

⑴　総会の開催

［第37回通常総会］

- 開 催 日　令和３年４月22日（木）
- 会　　場　ザ・セレクトン福島
- 出席者数　74名（委任状出席含む）

［臨時総会］

- 開 催 日　令和３年12月15日（水）
- 会　　場　ザ・セレクトン福島
- 出席者数　47名

⑵　定例会の開催

５月から３月まで毎月の講演会や会員親睦事業等の定例会を実施した。

開催日時・場所	出席者数	内　　容
３年５月20日(木) 福島県青少年会館	30名	５月定例会「福島わらじまつりの今を知りこれからを考える」
３年６月17日(木) ザ・セレクトン福島	32名 (Zoom ７名)	６月定例会「福のたねプロジェクト」(Zoom ウェビナー配信)
３年７月15日(木) ふくしん夢の音楽堂	32名	７月定例会「直前会長慰労会～親愛なる共に送るエールコンサート～」 ※(Zoom ウェビナー配信)
３年８月19日(木) 福島商工会議所	26名 (Zoom 11名)	８月定例会「会員紹介」(Zoom ウェビナー配信)
３年９月30日(木) オンライン開催	32名	９月定例会「宅飲みおつまみ充実レシピ配信～飲食店メンバー応援～」 (Zoom 配信ウェビナー配信)
３年10月28日(木) ウィズもとまち	22名	10月定例会「講師例会～人事評価制度を学ぶ～」
３年11月23日(祝・火) 福島駅西口 エールビジョン前	32名	11月定例会「ふるさとのコト」※ハイブリッド開催
３年12月15日(水) ザ・セレクトン福島	36名	12月定例会「クリスマスパーティー」※臨時総会後開催
４年２月17日(木) オンライン開催	40名	２月定例会「委員会活動報告会」(Zoom ウェビナー配信)

※新型コロナウイルス感染症の影響により、９・10月定例会については内容を変更して開催。
１月定例会・３月定例会については開催中止となった。

⑶　11月定例会【ふるさとのコト】

令和３年度福島商工会議所青年部（YEG）では「ふるさと納税関連事業」の推進を図っており、行政間で連携事業を推進している気仙沼市・登米市・久慈市のそれぞれの青年部に加え、夫婦YEGとして協力体制にある豊橋YEGも含めた形でハイブリッドイベントを開催した。

共同企画した返礼品の発表だけでなく、地元福島市での連続テレビ小説「エール」機運の再掘り起しも目指し、同出演者をゲストに迎え、来場者・視聴者の方に楽しんで頂いた。上記連携した各地の青年部をオンラインにて繋ぎ、地元の観光資源をPR頂くことで、相乗効果が生まれた。

１．日　　時　令和３年11月23日(祝・火)
　　13：00～
２．会　　場　福島駅西口エールビジョン前
３．参 加 者　一般来場者約300名
　　福島商工会議所青年部32名
　　久慈商工会議所青年部２名
　　気仙沼商工会議所青年部２名
　　登米ブロック商工会２名
　　豊橋商工会議所青年部５名
４．出　演　者　佐久本　宝、井上　希美
５．後援・協力　福島市観光コンベンション協会
　　福島民報社、福島民友新聞社

⑷　ふくしま古関楽団2020動画配信・WEBページ開設

古関事業スタート当初からの目的であった「福島の復興を世界にアピールし、福島で暮らす若者たちがわが町に誇りを取り戻す」を達成するため、福島商工会議所青年部がこれまで関わってきた古関楽団の活動の集大成として演奏の場を設け、動画を撮影し世界に向け公開するよう企画した。1964年のオリンピック開催式で使われた「オリンピックマーチ」の演奏動画を撮影・公開し、東京2020オリンピック開会式に合わせ特設WEBページにてリリースした。

【撮影・公開】

1．撮　影　日　令和３年７月17日（土）13：00～
2．公　開　日　令和３年７月23日（金）10：00～
3．会　　場　とうほうみんなの文化センター
4．共済・講演　福島県立福島商業高校
　　福島成蹊高校
5．そ　の　他　600回超の動画再生回数
　　青年部の有志により当日の会場準備・撤収・撮影協力

5　外郭団体との連携

1　福島市商店街連合会

商店街販売促進事業、従業員の研修、商店および商店街の連絡

2　福島市商店街連合会青年部

青年経営者の資質の向上と市商連事業に対する協力

3　福島青色申告会連合会

青色申告者の適正申告、記帳の指導・税制改正に関する意見活動

4　福島市青色申告会

青色申告者の適正申告、記帳の指導・税制改正に関する意見活動

5　福島県珠算連盟

珠算の普及および技能の向上に関する事業

6　福島珠算連盟

珠算の普及および技能の向上に関する事業

7　福島エネルギー懇談会

エネルギー問題の調査・研究に関する事業

8　東北経済連合会福島地域懇談会

東経連の会議への出席や県内での講演会の開催および東経連活動を円滑に行うための情報提供

9　福島県警察官友の会連合会

福島県警察官の士気の高揚を図るための支援事業

10　福島地区警察官友の会

福島警察署警察官の士気高揚を図るための支援事業

11　福島県クリーンふくしま運動推進協議会県北地域協議会

地域内の清掃美化の促進

12　福島県自衛隊協力会連合会

自衛隊との相互理解と親睦を図り、健全な育成発展に協力

13　福島市自衛隊協力会

自衛隊との相互理解と親睦を図り、健全な育成発展に協力

14　福島わらじまつり実行委員会

わらじまつり実行と宣伝普及、企画検討
【福島わらじまつり実行委員会】
【福島夏まつり委員会】

15　福島リサイクル推進協議会

事業所の廃棄物を資源化するための効率的な分別回収事業

16　ふくしま台湾友好協会

双方の観光・経済・文化等の交流促進並びに情報交換および親善協力

17　福島市にサッカースタジアムをつくる会

福島ユナイテッドFCのＪ２、Ｊ１昇格のためのサッカースタジアムの早期整備に向けた活動

18　大相撲大波三兄弟福島後援会

大相撲力士「大波三兄弟」こと、「若隆景」「若元春」「若隆元」の支援、激励を行い、「郷土に誇りを持てる魅力ある地域づくりの推進」を図ることを目的に令和２年12月に設立

Ⅲ B
運営基盤の強化

1　議員・職員による新規会員加入促進

2　会員事業所の巡回訪問

1　議員・職員による新規会員加入促進

運営基盤強化の取り組みの一環として、議員・職員一丸となった新規会員の加入促進に努めた。

2　会員事業所の巡回訪問

全職員で会員事業所を訪問し、新型コロナウイルス対策支援に関する情報提供や相談事項への対応に努めた。平成21年度から開始。

Ⅲ C
事務局機能の強化

1　職員の経営支援能力等の向上

1　職員の経営支援能力等の向上

日本商工会議所、東北六県商工会議所連合会、福島県商工会議所連合会等が主催する各種研修会等に職員を積極的に派遣し資質向上を図った。

経営指導員研修会（１回目）	
福島商工会議所	令和3年6月17日･18日
WEBマーケティング支援の進め方	
中小企業大学校WEB校	令和3年8月17日･8月24日
事業承継・廃業支援の進め方	
中小企業大学校仙台校	令和3年9月13日~9月15日
補助員研修会	
福島商工会議所	令和3年10月28日･10月29日
小規模事業者支援に役立つ財務知識	
中小企業大学校WEB校	令和3年11月16日･11月17日
経営指導員研修会（２回目）	
福島商工会議所	令和3年11月18日~11月19日
伴走型支援に役立つロジカルライティング	
中小企業大学校WEB校	令和３年12月２日・12月９日
日商オンラインセミナー	
福島商工会議所	令和４年１月25日

Ⅲ D
情報収集力と発信力の強化

1　情報戦略の構築
1．情報発信の強化
⑴　LINE公式アカウントの開設
⑵　ホームページの改良
2．未加入事業所と市民への発信情報の強化
⑴　ももりんビジョンによる情報発信
⑵　ラジオによる情報発信
3．マスコミとの意見交換会の開催
4．コーポレートアイデンティティーの構築

2　所報ふくしまの充実
1．所報ふくしまによる情報発信
2．DM配送サービスによる企業情報の発信
（企業情報宅配便）

3　物産展示室における情報発信の強化

総括的概要
施策体系
Ⅰ定款・規約等
Ⅱ組織
Ⅲ議員選挙役員・議員の選任
Ⅳ事務局
Ⅴ庶務
Ⅵ会議
Ⅶ事業Ⅰ活力ある福島の創造
Ⅶ事業Ⅱ会員事業所の発展
Ⅶ事業Ⅲ魅力ある商工会議所
Ⅶ事業経営改善普及事業他
Ⅷ登録
Ⅸ事務所等
Ⅹ団体加入および連携
Ⅺその他の会議等への参加

1　情報戦略の構築

1．情報発信の強化

⑴　LINE公式アカウントの開設

当所LINE公式アカウントを令和３年８月に開設し、新型コロナウイルス関連支援情報や当所主催事業に関するお知らせなどをタイムリーに配信した。

⑵　ホームページの改良

当所ホームページへのアクセスはスマートフォン経由が多くを占めることを受け、令和３年10月にスマホにも対応したシステムとした。

新型コロナウイルス支援情報などを積極的に発信したほか、「ランチで食うポン」「呑んで食うポン」、検定試験などの情報へのニーズが高かった。

１．アクセス総数　　138,265件

２．地域別アクセス数

	国　　内	133,790件
（内訳）	福 島 県	65,210件
	東 京 都	20,184件
	神奈川県	15,826件
	北 海 道	8,678件
	大 阪 府	7,149件
	宮 城 県	3,235件
	愛 知 県	2,612件
	埼 玉 県	2,146件
	千 葉 県	912件
	茨 城 県	760件ほか
	国　　外	4,475件

（内訳）アメリカ、ドイツほか

２．未加入事業所と市民への情報発信の強化

⑴　ももりんビジョンによる情報発信

会員事業所のみならず、未加入事業所や市民へ商工会議所の事業を紹介することを目的とし、福島駅東口前の「ももりんビジョン」から当所オリジナルCMを放送した。

令和３年度は古関裕而のまち・ふくしまをPRするメッセージCMを放映した。

- ＣＭ時間　15秒
- 放映本数　１本／１時間　15本／１日、
  年間5,455本

⑵　ラジオによる情報発信

経営支援に関する情報や当所主催のイベント情報、商工会議所のPRを福島コミュニティ放送（FM-POCO）で行った。

20秒のスポットCMを随時入れ、コロナ禍における当所経営相談の利用を促したり、「ランチで食うポン実施中」などのメッセージを発信した。

３．マスコミとの意見交換会の開催

調査事項やイベント等の情報発信のために市内報道機関との懇談会を定期的に開催した。

- 報道機関：市内の報道機関17社
  （新聞・テレビ・ラジオ）
- 開催頻度：毎月１回開催（計11回）

回	開催年月日
第１回	３年４月21日
第２回	３年５月19日
第３回	３年６月23日
第４回	中　止
第５回	３年８月27日
第６回	３年９月22日
第７回	３年10月27日
第８回	３年11月25日
第９回	３年12月22日
第10回	４年１月26日
第11回	４年２月24日
第12回	４年３月23日

４．コーポレートアイデンティティーの構築

市民・企業・地域の元気をつくる当所の認知度を高めることを目的に、当所の広告を福島駅東西地下自由通路に掲出している。

令和３年度は連続テレビ小説「エール」の舞台を紹介し、「古関裕而のまち・ふくしま」にちなんだ広告を展開した。

２　所報ふくしまの充実

１．所報ふくしまによる情報発信

新型コロナウイルス感染症対策支援情報などを中心に中小企業相談所からの各種制度の案内、当所主催の事業等に関するお知らせ、特色ある会員事業所の取り組みなどを掲載した。

令和３年５月号に表紙をリニューアルし、特集企画と連動しながら頑張る会員事業所を応援するメッセージを込めた。

- 発 行 日　毎月10日
- 発行部数　4,500部
- ページ数　全16ページ

令和３年度　特集内容

４月号	４月１日スタート 東北デスティネーションキャンペーン
５月号	祝　開通 東北中央自動車道「相馬福島道路」 相馬～福島～米沢が一本の道に
６月号	不易流行を見極め、コロナ禍を乗り越える 「変えること」と「変えないこと」は何か
７月号	東京2020オリンピック・パラリンピック まもなく開幕　感動は福島から
８月号	地域ブランドは「物語（ストーリー）」 づくりから
９月号	非常時の備え、大丈夫？ 今こそ事業継続力を強化しよう
10月号	事業所のお悩みに寄り添います 使いこなそう、商工会議所
11月号	相談しよう、使ってみよう 福島商工会議所の飲食店支援メニュー
12月号	デジタルとアナログの二刀流で お客さまの心をつかもう
１月号	若者の輝きがまちに元気をもたらす ～変わる中心市街地を若者の感性が変える～
２月号	時代が求める人材を育成しよう ～ WEBセミナーや検定試験のいま～
３月号	2020年４月１日より中小企業も義務化 おさえておきたい　職場のパワハラ対策

２．DM配送サービスによる企業情報の発信（企業情報宅配便）

所報「ふくしま」に会員事業所のチラシやパンフレットを同封し、販路拡大に役立ていただくことを目的としてサービスを実施した。

- 利用数　94件
- 利用例　①自社PR・事業内容の案内
  ②商品・新サービス
  ③各種イベント・セミナー開催案内など

３　物産展示室における情報発信の強化

会員事業所の販路開拓を支援するため、同室の一角に各社こだわりの逸品を展示するスペースを令和３年10月に新設した。

今後も半年を目途に展示内容を入れ替え、来所者へのPRを図る。

同室では引き続き、新型コロナウイルス対策支援情報を中心とするチラシ・パンフレット、書籍等を整備して各種情報を提供した。

また、平成29年度の創立100周年記念事業「小学生作文コンクール」で応募いただいた全作文を封入した“タイムカプセル”を設置している。

チラシ・パンフレット関係

- 新型コロナウイルス感染症対策支援情報
- セミナー
- 経営
- 融資・税制・会計
- 共済・保険・雇用
- 新規創業・海外展開　ほか

書籍関係

- まちづくり
- 統計調査
- 企業経営調査
- 歴史　他

タイムカプセル（2037年開封）

2～6については、「Ⅶ　事業」内にて記載しています。該当ページは下表の通りです。

事　業　項　目	ページ
2　意見活動（陳情・要望活動等）	P 45～46
3　調査研究	P 80～81
4　広報	P 95～97
5　証明等（貿易関係証明）	P 80～81
6　技能技術の普及および検定	P 71～76

7　経営改善普及事業

1．小規模企業振興基本法および改正小規模支援法に対応した中小企業経営発達支援事業の充実

小規模企業の持続的な発展と事業運営の支援強化を図ることを目的として施行された「小規模企業振興基本法」および「改正小規模支援法」に則り、経営指導員、専門経営指導員による経営相談の充実･強化を図った。

特に、平成30年３月16日認定を受けた「経営発達支援計画」に基づき、『小規模事業者の安定･成長･継続･創出を目指す』ことを目標として、事業所に寄り添った伴走型の支援を行い、売上が増加するように個社の経営力を高めるとともに、地域経済の活性化と、小規模事業者の経営環境の改善を図った。

(1)　巡回・窓口相談事業

①　経営指導員の指導

業種	巡回件数									
	企業数	金融	税務	経理	経営	労働	取引	情報	その他	計
製造業	128	2	1	0	134	1	0	0	15	153
建設業	179	4	2	0	163	2	0	0	22	193
小売業	232	10	3	1	245	0	0	0	43	302
卸売業	49	0	0	1	58	0	0	0	9	68
サービス業	537	8	3	1	663	7	0	0	54	736
その他	40	2	0	0	47	1	1	0	5	56
小規模計	1,165	26	9	3	1,310	11	1	0	148	1,508
小規模以外	23	0	1	0	21	0	0	0	1	23
回数計	1,188	26	10	3	1,331	11	1	0	149	1,531
創業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

業種	窓口件数									
	企業数	金融	税務	経理	経営	労働	取引	情報	その他	計
製造業	107	8	33	3	249	0	0	1	111	405
建設業	114	22	61	12	105	3	0	1	143	347
小売業	220	26	115	25	406	0	3	3	115	693
卸売業	44	3	13	1	118	0	0	2	57	194
サービス業	534	31	320	81	827	13	1	27	235	1,535
その他	30	5	20	1	41	0	0	0	11	78
小規模計	1,049	95	562	123	1,746	85	4	34	672	3,252
小規模以外	64	2	12	6	59	1	0	0	2	82
回数計	1,113	97	574	129	1,805	86	4	34	674	3,403
創業	34	6	1	0	185	0	0	0	5	197

② 専門経営指導員の指導

業種	巡回件数		
	企業数	専門指導件数 計	
		回数	人数
製造業	41	54	54
建設業	46	50	50
小売業	71	74	74
卸売業	12	12	12
サービス業	110	120	120
その他	11	11	11
小規模合計 小規模人数	291	321	321
小規模以外	44	59	59
回数計 人数計	335	380	380

業種	窓口指導（通信・電話によるものを含む）		
	企業数	専門指導件数 計	
		回数	人数
製造業	56	121	121
建設業	77	172	172
小売業	117	238	238
卸売業	22	66	66
サービス業	215	428	428
その他	17	31	31
小規模合計 小規模人数	504	1,056	1,056
小規模以外	55	93	93
回数計 人数計	559	1,149	1,149

2．講習会等の開催による指導

(1) 専門指導員等の指導

内容＼区分		経営革新	経営一般	金融	税務	労働	取引	その他	計
集団指導	のべ回数	0	5	2	1	0	0	0	8
	のべ人数	0	71	13	18	0	0	0	102
個別指導	のべ回数	0	0	0	20	0	0	12	32
	のべ人数	0	0	0	695	0	0	5	700

(2) 金融に関すること

① 金融の斡旋

区分＼金額		斡旋件数・金額		貸付決定件数・金額	
		件数	金額	件数	金額
日本政策金融公庫	一般・特別	4	1,490万円	2	700万円
	経営改善資金	24	11,540万円	22	9,440万円
	合計	28	13,030万円	24	10,140万円

小規模事業者 経営改善資金制度 （マルケイ資金）	融資実績	申込件数・金額		24件・11,540万円	
		斡旋件数・金額		24件・11,540万円	
		融資決定件数・金額		22件・9,440万円	
		資金の使途	運転資金	16件・7,058万円	※決定件数中、運転・設備資金の併用申込決定分あり
			設備資金	6件・2,382万円	
会員向け特別融資制度 （メンバーズローン）	斡旋件数・金額			0件・0円	

② 小規模事業者経営改善資金審査会

回　数	開催年月日	審査件数	審査金額
第１回	令和３年７月16日	5件	1,330万円
2	８月27日	4件	1,200万円
3	９月30日	0件	0万円
4	11月11日	2件	1,450万円
5	12月８日	3件	2,380万円
6	令和４年１月12日	3件	1,330万円
7	２月７日	1件	500万円
8	２月16日	3件	3,350万円
9	３月25日	0件	0万円
合 計	９回	21件	11,540万円

(3) 講習会の開催状況

① 集団指導

開催日	指導分類	内容／講師の職・氏名	参加人数
３年４月21日	新入社員研修	(1) 学生と社会人の違い (2) 仕事の目的と進め方 (3) マナーの重要性を理解する (4) 電話応対の基本 (5) 職場のコミュニケーション (6) 報連相が会社を伸ばす (7) 目標が未来の自分を創る (8) 気づきと今後の目標 講師　篤志館㈱　代表取締役　雨間けい子 氏 	19名
３年７月６日	金融相談会 （１日公庫）	福島商工会議所（経営指導員） 日本政策金融公庫（担当者）	７名
３年９月７日	販路開拓セミナー	第１回（商品編） (1) 販売チャネルに合わせた商品開発のポイント (2) バイヤーが求める商品の理解 (3) 商談成約率を上げるためのポイント　等 講師　(一社)スーパーマーケット協会 シニアディレクター　籾山　朋輝 氏	13名
３年９月21日	販路開拓セミナー	第２回（営業編） (1) あなたの話はなぜ「伝わらない」のか (2) 営業トークは「削る」ルールでここまで変わる (3) 人は発言内容を「足し算」で聞く　等 講師　小さな会社の販売戦略を設計する専門家 吉見　範一 氏	14名
３年９月22日	集客と安全な 店づくり ポイントセミナー	(1) コロナ禍での集客や安全な店づくり • 感染症対策ガイドラインの概要 • 安全な店づくりのポイント • 自身が経営する飲食店の事例 • コロナ禍における集客のポイント (2) HACCPに関する説明 • 2021年６月より完全義務化されたHACCPの概要 • 中小企業に必要な対策	12名

開催日	指導分類	内容／講師の職・氏名	参加人数
３年９月29日	「事業再構築補助金」 徹底解説セミナー	⑴　申請条件の確認 ⑵　事業再構築補助金の概要 ⑶　コロナ禍の事業への影響を整理する ⑷　今後に向けて必要な事業形態の変化 ⑸　申請書作成に向けた事業計画の作成 ⑹　申請手順の確認	13名
３年11月24日	金融相談会 （１日公庫）	福島商工会議所（経営指導員） 日本政策金融公庫（担当者）	６名
４年１月14日	決算・確定申告 講習会	令和３年分所得税の決算・確定申告について 講師　税理士法人MASTAC佐藤会計 佐藤　昌彦 氏	18名

②　個別指導

開催日	講習会内容	講師の職・氏名	参加人数
３年４月 ～４年３月	無料法律相談 （随時）	弁護士　渡辺　健寿 氏	５名
３年４月～ 毎月第３水曜日	貿易何でも相談会	ジェトロ認定貿易アドバイザー　阿部　一也 氏	－
４年２月１日 ～３月15日	所得税税務指導 （14回）	税理士（敬称略） 今井　智恵／尾形　一二／小野　宏一／菅野　庄二 齋藤　敏春／佐藤　正志／佐藤　充孝／竹澤　　均 玉根　一憲／二階堂良子／古谷　一位／三浦　信雄	595名
４年３月16日 ～３月28日	消費税個別指導 （６回）	税理士（敬称略） 安部修太朗／阿部　寿子／佐藤　昌彦／行形　裕司 三浦　信雄／渡邊　高志	100名

⑷　経営安定特別相談事業

経営の不安定な中小企業に対し、健全経営を図るための相談や指導事業を実施した。

①　講習会の開催

開催日等	開　　催　　内　　容	参加人数
３年11月26日 福島商工会議所 会議室	「お客様のこころを掴む、感動接客術」 講師　Fine HR　代表　津田　典果 氏 	25人
３年12月16日 コラッセふくしま	コロナで変わる消費動向!?ウィズコロナを生き抜くためには… 「お客様を増やし、売る方法」 講師　㈲いろは　代表取締役　竹内　謙礼 氏 	29人

②　倒産防止関連事業の開催

個別相談件数　３件

⑸　専門家活用経営支援事業

①　専門家派遣

中小企業者の経営・技術力強化を目的とした経営上の課題解決への助言・診断を行う専門家派遣（一般枠）

- 派遣回数　　１件

②　集合研修

新型コロナウイルスにより経営環境が激変した中小企業者等の経営課題に対応するための研修事業

- 研修事業　　０件

３．経営支援特別事業

⑴　新型コロナウイルス感染症対策関連事業

【FAX一斉送信による情報提供】

新型コロナウイルス感染症の拡大により事業活動に影響を受けた事業者に対する助成金、補助金、融資制度等、国・県・市等の支援メニューについてタイムリーに案内できるよう会員事業所に対してFAX一斉送信と迅速なホームページ掲載等による情報提供を実施した。

情報提供日 提供方法	情　報　内　容
令和３年５月14日 FAX一斉送信・郵送	【第８報】 新型コロナウイルス感染症防止　協力金・一時金について
令和３年８月８日 FAX一斉送信	【第９報】 新型コロナウイルス感染症防止　協力金・一時金（第３弾）について
令和３年８月30日 FAX一斉送信・郵送	【第10報】 売上の減少した中小企業者に対する一時金（福島県版一時金第３弾）について
令和３年９月10日 FAX一斉送信	【第11報】 福島県まん延防止等重点措置等の延長による新型コロナウィルス感染症拡大防止協力金・一時金について
令和３年９月30日 FAX一斉送信	【第12報】 緊急事態措置又はまん延防止等重点措置の影響緩和に係る月次支援金について
令和４年２月１日 FAX一斉送信	【第13報】 事業復活支援金について
令和４年２月14日 FAX一斉送信	【第14報】 売上の減少した中小企業者に対する一時金（福島県版一時金第４弾）について

【新型コロナウイルス感染症対応のための経営相談体制強化事業「特別相談窓口」】

１．日　　時　６月～１月まで　第２・第４火曜日を基本とした月２回開催
　　（10：00～17：00）　※１日最大５件対応
２．会　　場　コラッセふくしま内　会議室
３．内　　容　補助金の事業計画策定支援・申請手続の説明、国の給付金・助成金申請支援
　　今後の経営相談　等
４．相談件数　合計93件
５．協　　力　一般社団法人福島県中小企業診断協会

【新型コロナウィルス感染症防止協力金・一時金（福島県）申請へのサポート】

1．内　　容　申請が難しい会員事業所の申請サポートを実施

2．サポート件数　226件

【「緊急事態宣言の影響緩和に係る一時支援金（国）」「事業復活支援金」申請希望者に対する事前確認】

1．内　　容　給付にあたり、不正受給や誤って受給してしまうことへの事前対応として、支援金の給付申請希望者が、「事業を実施しているかどうか」、「給付対象を正しく理解しているかどうか」等について、認定経営革新等支援機関等である当所が登録確認機関となって、申請に先立ち形式的な確認を行った。

2．確認期間　「緊急事態宣言の影響緩和に係る一時支援金（国）」：令和３年３月18日～５月31日
「事業復活支援金」：令和４年１月31日～３月31日　※確認事業は令和４年５月26日まで実施

3．確認件数　「緊急事態宣言の影響緩和に係る一時支援金（国）」：172件
「事業復活支援金」：259件（令和４年３月31日現在）

⑵　制度改正に伴う専門家派遣等事業

新型コロナウイルスへの対応をはじめ、働き方改革関連法などの労働法制、消費税率の引上げに伴う価格転嫁対策や消費税軽減税率制度および適格請求書等保存方式（インボイス）などの税制度、民法改正等の制度変更の円滑な対応に向けて、講習会の開催等を通じて諸制度改正に伴い対応が必要となる小規模事業者・中小企業者等の事業活動を支援しつつ、円滑に対応できるよう支援することを目的に実施した。

①　講習会の開催

開催日等	開　催　内　容	参加人数
３年６月24日 福島商工会議所	「インボイス制度の概要と電子インボイス導入に向けた実務対応講習会」 講師　税理士法人トリプル・ウィン　顧問　星　　叡 氏	25人
３年７月７日 福島商工会議所	「政府の新型コロナウイルス関連支援施策の解説と上手な資金繰り」 講師　㈱インフォクリエマネジメント　代表取締役　新木　啓弘 氏	16人
３年８月４日 福島商工会議所	「インボイス制度の仕組みとクラウド会計の活用」 講師　河合中小企業診断士・社会保険労務士事務所 代表　河合　正尚 氏	21人
３年９月３日 福島商工会議所	「新型コロナウイルス関連支援施策の解説と決算書で読む会社の信号」 講師　ミナト経営㈱　代表取締役　田内　孝宜 氏	９人
３年10月20日 福島商工会議所	「新型コロナに対する政府の支援施策を活用したコロナ不況に負けない販売力強化講習会」 講師　イーンスパイア㈱　代表取締役　横田　秀珠 氏	25人
４年１月13日 福島商工会議所	「【基礎編】インボイス制度の概要と適格請求書発行事業者登録の実務対応」 講師　税理士法人トリプル・ウイン　顧問　星　　叡 氏	33人
４年１月13日 福島商工会議所	「【実務編】インボイス制度の概要と適格請求書発行事業者登録の実務対応」 講師　税理士法人トリプル・ウイン　顧問　星　　叡 氏	25人

星　　叡 氏

新木　啓弘 氏

河合　正尚 氏

⑶　令和３年福島県沖地震による災害対策関連事業

「中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業」

内　　容：被災地域の中小企業等のグループが復興事業計画を作成し、地域経済・雇用に重要な役割を果たすものとして県から認定を受けた場合に、施設・設備の復旧・整備について補助を行う制度で、福島商工会議所として、「福島商工会議所復興グループ」を形成し、被災された中小企業の支援を行う。

具体的には、グループ参加事業所における事業継続計画（BCP）策定支援をメインに共同事業を行い、併せて、個別の事業計画策定の際の支援を随時行った。

＊福島商工会議所復興グループ参加事業所の状況

65事業所

（内訳：製造15、卸６、小売14、飲食・サービス28、宿泊１、その他１）

関連事業（グループ共同事業）

①　事業継続力強化計画に関する座学研修

日　　時：令和３年９月22日(水)

内　　容：多発する自然災害と事業継続への備えについての座学研修を開催

②　事業継続力強化計画策定に向けたワークショップ

日　　時：令和３年10月４日(月)

内　　容：個社の「事業継続力強化計画策定」に向け、想定される災害と発災直後からの対応手順や、事業継続や資金調達に向けた資金調達の想定等について、策定シートを活用したワークショップを実施

講　　師：①・②ともに東京海上日動火災保険㈱ 福島支社

⑷　事業継続力強化支援計画

中小企業や小規模事業者は、日頃の事業活動を通じて、地域経済の循環や雇用機会の創出等に極めて重要な役割を果たしている。しかしながら、近年は大規模な自然災害や感染症等の予期せぬリスクにより、事業活動の継続に支障をきたす事態が生じていることから、地域経済の活力の源泉である中小企業・小規模事業者の経営の強靭化に資することを目的に、改正小規模事業者支援法における『事業継続力強化支援』に則り、様々な災害や感染症等のリスクへの備えに対する活動を行った。

①　事業継続力強化支援計画の認定取得

申 請 者：福島商工会議所、福島市（共同申請）

認 定 者：福島県

認 定 日：令和３年５月21日（県内で２例目）

②　事業継続力強化計画の周知活動

第１回

日　　時：令和３年９月22日(水)

内　　容：多発する自然災害と事業継続への備えについての座学研修を開催

第２回（事業継続力強化計画策定に向けたワークショップ）

日　　時：令和３年10月４日(月)

内　　容：個社の「事業継続力強化計画」策定に向け、想定される災害と発災直後からの対応手順や、事業継続や資金調達に向けた資金調達の想定等について策定シートを活用したワークショップを実施

講　　師：①・②ともに東京海上日動火災保険㈱ 福島支社

⑸　相談事業

支援内容	開催日・開催場所	相　　談　　員	相談件数
金融相談会（１日公庫）	令和３年７月６日(火) 福島商工会議所	日本政策金融公庫国民生活事業職員、当所経営指導員	７事業所
金融相談会（１日公庫）	令和３年11月24日(水) 福島商工会議所	日本政策金融公庫国民生活事業職員、当所経営指導員	６事業所

⑹　嘱託専門指導員（専門指導センター）の活用

区　分	巡回指導のべ回数	窓口指導のべ回数	合　計
経営一般	125	50	175
創業	0	0	0
合　計	125	50	175

⑺　経営計画策定および実施等の支援

【令和元年度補正予算　小規模事業者持続化補助金〈一般型〉】

受付開始：令和２年３月13日

受　付　締　切		支援事業者
第５回	令和３年６月４日	２件
第６回	令和３年10月１日	５件
第７回	令和４年２月４日	７件
合　　計		14件

【令和２年度３次補正予算　小規模事業者持続化補助金〈低感染リスク型ビジネス枠〉】

公募開始：令和３年５月12日

受　付　締　切		支援事業者
第１回	令和３年５月12日	０件
第２回	令和３年７月７日	０件
第３回	令和３年９月８日	２件
第４回	令和３年11月10日	０件
第５回	令和４年１月12日	３件
第６回	令和４年３月９日	１件
合　　計		６件

【ふくしま小規模企業者等いきいき支援事業補助金】

募集期間：令和３年６月２日～（追加公募：令和３年８月５日～）

受　付　締　切		支援事業者
通常	令和３年７月５日	９件
追加公募	令和３年８月26日	４件
合　　計		13件

【令和元年度補正・令和２年度補正　ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金】

受　付　締　切		支援事業者
第６次	令和３年５月13日	０件
第７次	令和３年８月17日	１件
第８次	令和３年11月11日	１件
第９次	令和４年２月８日	１件
合　　計		３件

【令和２年度補正予算　中小企業等事業再構築促進事業補助金】

受　付　締　切			支援事業者
第１回	通常枠・卒業枠	令和３年５月７日	１件
	緊急事態宣言特別枠		１件
第２回	通常枠・卒業枠	令和３年７月２日	０件
	緊急事態宣言特別枠		０件
第３回	通常枠・卒業枠	令和３年９月21日	２件
	緊急事態宣言特別枠		１件
第４回	通常枠・卒業枠	令和３年12月21日	０件
	緊急事態宣言特別枠		１件
第５回	通常枠・卒業枠	令和４年３月24日	１件
	緊急事態宣言特別枠		１件
合　　計			８件

４．事業再生・事業承継の支援

(1)　事業承継　個別相談会の定期開催

事業承継セミナーの開催を契機として、事業承継への取り組みをさらに促進するため、福島県事業引継ぎ支援センターと連携し個別相談会を定期的に開催した。

①　日　　時　毎月第２週の水曜日　10時～17時　１社約45分（事前予約制）

②　対　　象　中小企業・小規模事業者の経営者・後継者

③　参加者数　５社（のべ５回）

５．創業支援事業

⑴　産業競争力強化法に基づく創業支援事業への参画

福島市が国の認定を受けて実施する「産業競争力強化法に基づく創業支援計画」により、本計画に位置付けられる「創業支援機関」との情報交換等を行い連携を強化することで、創業支援体制の充実を図った。

- 実施主体　福島市
- 連携する創業支援機関（当所以外の支援機関）

㈱福島まちづくりセンター・飯坂町商工会・松川町商工会・飯野町商工会・㈱日本政策金融公庫福島支店・㈱東邦銀行・㈱福島銀行・福島信用金庫・福島県信用保証協会・福島県ベンチャーSOHOテレワーカー共働機構

６．伴走型小規模事業者支援推進事業

各種支援機関と連携し、事業計画策定支援として、「Ⅰ　経営力向上に資する事業計画作成支援事業」、「Ⅱ　事業承継と後継者育成支援事業」、「Ⅲ　福島創業スクール事業」および「Ⅳ　飲食店割引クーポン「ランチdeクーポン」を活用したレベルアップ事業」、また、新たな需要の開拓に寄与する事業として、「Ⅰ　ふくしまのフルーツを活用したスイーツのブラッシュアップ事業」をそれぞれ実施した。

⑴　事業計画策定支援

Ⅰ　経営力向上に資する事業計画作成支援事業

①　事業概要：

「事業計画策定セミナー」を開催し、事業計画の重要性を周知するとともに小規模事業者が自ら事業計画を作成できるよう支援することで、経営力の向上と持続的な発展を図った。

また、国･県などで公募している補助金に対応した内容を盛り込むことで、補助金の活用も促した。

②　具体的事業内容：

【第１回～第４回　事業計画策定セミナーの開催】

※第１回～第４回とも同内容

１．開催時期	令和３年８月25日（水）［第１回・第２回］ 令和３年12月３日（金）［第３回・第４回］
２．会　　場	コラッセふくしま ※第１回・第２回については、コロナ感染拡大を受け、講師派遣元の埼玉県が国の緊急事態措置区域に指定されたことから、参加者は会場集合としたが、講師については会場とオンラインで結び開催した。
３．時 間 帯	【第１・３回】　９：00～12：00（３時間） 【第２・４回】　13：30～16：30（３時間）
４．内　　容	• 事業計画作成の重要性 ～事業を継続するための事業計画とは～ • 事業計画　作成のポイント • 活用できる補助金等の紹介

5．講　　師	㈱エイチ・エーエル 三上　康一 氏（中小企業診断士）
6．参加人数	【第１回】７社７名（うち小規模事業者　６社６名） 【第２回】８社９名（うち小規模事業者　８社９名） 【第３回】13社16名（うち小規模事業者　10社11名） 【第４回】12社16名（うち小規模事業者　12社16名） 【合　計】40社48名（うち小規模事業者　36社42名）
7．事業計画策定支援件数	８件 今後の事業展開において補助金（小規模事業者持続化補助金及びふくしま小規模企業者等いきいき支援事業補助金（福島県独自））の活用が有効と判断された事業者に対しては、具体的な事業計画書の作成及び申請が行えるまで積極的な支援を実施した。

Ⅱ　事業承継と後継者育成支援事業

①　事業概要

事業承継を円滑に行えるよう現経営者（継がせる側）と後継者（継ぐ側）双方がこれから歩む方向性を正しく認識し共有していくために事業承継塾（勉強会）に参加して頂き、事業承継計画策定の早期着手に向けた支援を行った。

また、特に方向性が共有できている事業所については、専門家を派遣する個別相談会により具体的な事業承継計画書の作成支援を行った。

②　開催日時等

［事業承継塾（勉強会）の開催］

◆第１回「10年後の会社を考えよう！」

日　　時　令和３年10月14日(木)　14時～16時30分
場　　所　福島商工会議所　会議室
講　　師　㈱エイチ・エーエル　杉山　建夫 氏
説　　明　福島県事業承継・引継ぎ支援センター
参加人数　15社16名

◆第２回「10年後のために改めて学ぶ！経営者に必要な知識とスキル」

日　　時　令和３年10月21日(木)　14時～16時30分
場　　所　福島商工会議所　会議室
講　　師　㈱エイチ・エーエル　杉山　建夫 氏
説　　明　㈱日本政策金融公庫福島支店
参加人数　12社13名

◆第３回「持続するための事業承継計画策定に向けて」

日　　時　令和３年10月29日(金)　14時～16時30分
場　　所　福島商工会議所　会議室
講　　師　㈱エイチ・エーエル　杉山　建夫 氏
説　　明　福島県信用保証協会
参加人数　12社12名

［個別相談会の開催］

日　　時　令和３年11月10日（水）　10時30分～15時55分（各１事業所75分程度）

場　　所　各事業所

講　　師　㈱エイチ・エーエル　杉山　建夫 氏

参加人数　３社４名

Ⅲ　福島創業スクール事業

①　事業概要

講座の内容は、ビジネスプランを策定するメイン講座のほか、創業に必要不可欠な基礎知識を習得できるよう、商工会議所の経営指導員や専門家のフォロー、創業支援等事業者（金融機関）等とも連携しながら実施した。開催期間は、10～12月の年１回、創業体験者の事例等を交えて、講義及び演習により実施した

②　開催日時等

［創業スクールの開催］

◆第１講

日　　時　令和３年10月２日（土）　13時30分～17時

場　　所　福島商工会議所　会議室

内　　容　１．創業の前に

２．創業のビジョンとビジネスモデル

３．ビジネスプランの作成準備

講　　師　柳沼マネジメント・コンサルタント事務所　代表　柳沼　芳裕 氏

参加人数　19名

◆第２講

日　　時　令和３年10月６日（水）　18時～21時

場　　所　福島商工会議所　会議室

内　　容　逆境を順境に変える店主の不易のマーケティングと行動習慣

１．営業・販売戦略

２．マーケティング

講　　師　㈲髙橋幸司の事務所　取締役社長　髙橋　幸司 氏

参加人数　19名

◆第３講

日　　時　令和３年10月９日（土）　13時30分～19時30分

場　　所　福島商工会議所　会議室

内　　容　１．地元創業者による創業体験談

２．ビジネスプランをつくってみよう！

３．受講者交流会

講　　師　１．あぶくま塾　代表　岩崎　浩治 氏

２．柳沼マネジメント・コンサルタント事務所　代表　柳沼　芳裕 氏

参加人数　19名

◆第４講

日　　時　令和３年10月13日（水）　18時～20時30分

場　　所　福島商工会議所　会議室

内　　容　１．チラシ・DM・手描きPOPのつくり方
講　　師　POPセンター福島　代表　川村　洋一 氏
参加人数　18名

◆第５講
日　　時　令和３年10月20日（水）　18時～21時
場　　所　福島商工会議所　会議室
内　　容　１．誰でも明日から取り組める！集客のためのIT活用
講　　師　㈱イーンスパイア　代表取締役　横田　秀珠 氏
参加人数　18名

◆第６講
日　　時　令和３年10月23日（土）　13時30分～17時
場　　所　福島商工会議所　会議室
内　　容　１．会計の基礎知識
　　２．税務・法務・労務
　　３．創業に必要なお金をどう集めるか？
　　４．資金調達と公的支援制度の活用
講　　師　１～３．柳沼マネジメント・コンサルタント事務所　代表　柳沼　芳裕 氏
　　４．㈱日本政策金融公庫福島支店国民生活事業　融資課長　村上　真樹 氏
参加人数　17名

◆第７講
日　　時　令和３年10月27日（水）　18時～20時30分
場　　所　福島商工会議所　会議室
内　　容　１．店舗デザインの仕方（空間・色彩）
　　～新しい生活スタイルに対応する店づくり～
講　　師　みずのやていこブランディングデザイン　代表　水野谷　悌子 氏
参加人数　18名

◆第８講
日　　時　令和３年10月30日（土）　13時30分～17時
場　　所　福島商工会議所　会議室
内　　容　１．ビジネスプラン作成
　　２．ビジネスプランのプレゼンテーション
講　　師　柳沼マネジメント・コンサルタント事務所　代表　柳沼　芳裕 氏
参加人数　16名

◆フォローアップ事業
　福島創業スクール終了後、受講者のスムーズな創業の後押しや創業後の安定を図るため、作成した事業計画書の修正等について、メイン講師を務めた柳沼氏を中心に個別にフォローアップを実施した。

《フォローアップ～事業全般～》
日　　時　令和３年12月11日（土）、12月17日（金）
場　　所　福島商工会議所　会議室
講　　師　柳沼マネジメント・コンサルタント事務所　代表　柳沼　芳裕 氏
参加人数　12月11日（土）６名　12月17日（金）５名

《フォローアップ～事業全般～》

日　　時　令和３年12月７日(火)、12月８日(水)

場　　所　福島商工会議所　会議室

講　　師　㈲髙橋幸司の事務所　取締役　髙橋　幸司 氏

参加人数　12月７日(火)　５名　12月８日(水)　３名

《フォローアップ～創業融資～》

日　　時　令和３年12月17日(金)

場　　所　福島商工会議所　会議室

講　　師　日本政策金融公庫

参加人数　12月17日(金)　４名

Ⅳ　飲食店割引クーポン「ランチdeクーポン」を活用した参加店レベルアップ事業

①　事業概要

期間限定で実施している割引クーポン事業を活用し、参加店の売上（利用）状況や利用者アンケートによる利用実態を把握して売上を更に増加したい店舗、売上が伸び悩んでいる店舗を抽出し、事業計画の必要性を認識していただき、事業計画の策定を支援し、店舗のレベルアップを図った。

②　開催日時

第１回目　令和３年10月４日(月)、10月５日(火)、10月６日(水)

第２回目　令和３年12月14日(火)、12月15日(水)

令和４年１月14日(金)、１月20日(木)、１月21日(金)

③　開催会場　対象事業所店舗

④　参加人数　７社

(2)　新たな需要の開拓に寄与する事業

Ⅰ　ふくしまのフルーツを活用したスイーツのブラッシュアップ事業

①　事業概要

福島市は出荷量が全国第２位となる「桃」をはじめ、さくらんぼ、梨やりんごなどの果実を多く産出する「くだもの大国」と言われている。これらの果実を利用し、福島市を代表するスイーツを育てることを目指している。

本年度は、当事業４年目として過年度に参加したスイーツ店を継続支援（希望者）するとともに、新規のスイーツ店舗の方々も新たに集め、当所が独自で行うスイーツ試食会にブラッシュアップ希望の商品を試食用として出品いただき､スイーツ好きな参加者からアンケート調査を実施した。その後、アンケートの結果、分析を踏まえてフードコーディネーターと連携し、パッケージを含めたスイーツのブラッシュアップを図り、新規スイーツの商品化や売上の向上を目指した。

②　開催日時

【A】スイーツ試食会　令和３年12月14日(火)

【B】専門家によるブラッシュアップ等の支援（指導日）

１回目　令和３年10月４日(月)、10月５日(火)、10月６日(水)

２回目　令和４年１月13日(木)、１月14日(金)、１月15日(土)、１月20日(木)、１月21日(金)

③　開催会場

【A】当所入居ビル・館内レストラン（きいちご）

【B】対象事業所店舗

④　参加人数　12社

8　受託事業

No.	事　業　名	ページ
1	公害健康被害補償業務の徴収業務に関する業務	P 80
2	容器包装リサイクル事業	P 80
3	福島市若者自立支援仕事体験事業	P 78
4	福島市人材確保支援事業	P 69
5	中小企業景況調査に関する業務	P 81
6	生産性向上支援訓練事業	P 69
7	福島県飲食店応援前払利用券事業	P 61・89
8	制度改正に伴う専門家派遣事業	P 104
9	新型コロナウイルスに関する特別相談窓口事業	P 103

Ⅷ 登　　録

1 法定台帳

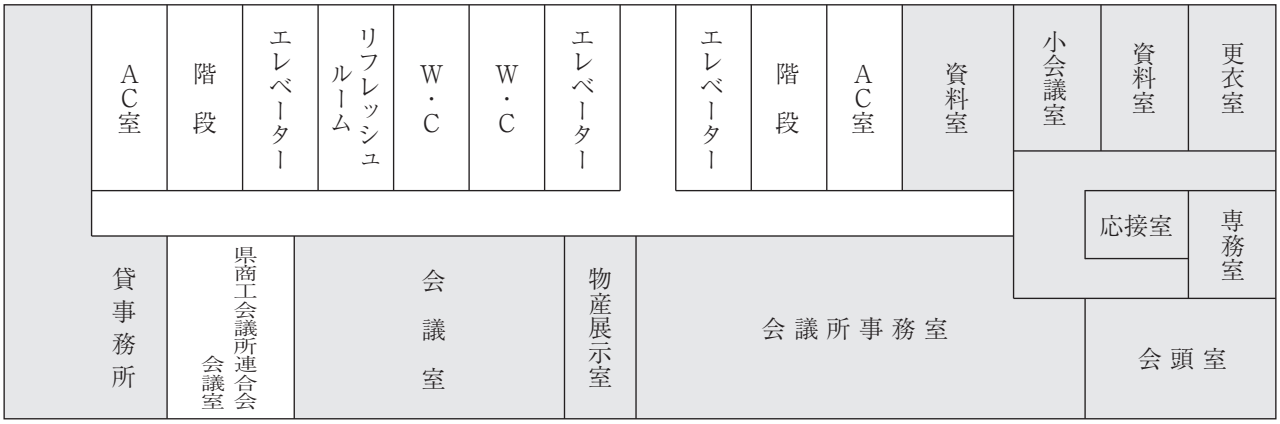
1．作成年月日　　令和３年４月１日付で調査し、４月８日までに台帳の補充登録
2．登録業者数　　1,733名
3．負　担　金　　2,000円

Ⅸ 事務所等

1．地　　番　　福島市三河南町１番20号 「コラッセふくしま」８階と９階の一部
2．構　　造　　鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造
3．面　積　等

面　　積		内　　容
919.57㎡	870.05㎡ （８階）	事務室、会議室、物産展示室、会頭室、専務理事室、資料室、貸事務所、その他
	49.52㎡ （９階）	テナント

4．事務所レイアウト（８階）



X　団体への加入および連携

1　日本商工会議所（地位：常議員）

※会議出席状況は下記の通り。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、オンライン会議またはオンライン会議を併用したハイブリッド会議が開催され、オンラインで参加した。

開催月	常議員会	議員総会	会員総会	総合政策委員会	各種委員会※	専務理事会議
4月	4月15日					
5月					5月27日	
6月						
7月				7月2日	7月21日	
8月						
9月			9月16日			
10月					10月25日	
11月	11月18日				11月18日	
12月	12月16日			12月1日		
1月	1月20日	1月20日				
2月						
3月	3月17日	3月17日	3月17日			
計	5回	2回	2回	2回	4回	0回

※中小企業委員会（11月18日）、まちづくり・農林水産資源活用専門委員会（5月27日、7月21日、10月25日）

2　東北六県商工会議所連合会（地位：副会長）

※会議出席状況は下記の通り。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、オンライン会議またはオンライン会議を併用したハイブリッド会議が開催され、オンラインで参加した。

開催月	総会・理事会	県連会長会議	東北・北海道商工会議所連絡会議	幹事会	県庁所在地商工会議所事務局長会議
4月					
5月					
6月				6月14日	
7月	7月12日			7月12日	
8月					
9月				9月17日	
10月					
11月					11月29日
12月				12月16日	
1月					
2月					
3月					
計	1回	0回	0回	4回	1回

3　福島県商工会議所連合会（地位：会長）

1．会　議

会議開催状況は下記の通り。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、オンライン会議を開催した。

開催月	総会・監査会	会頭会議	政策委員会	幹　事　会	事務局長会議	中小企業 相談所長会議
４月						
５月				５月21日 オンライン		
６月	６月21日					
７月	７月１日	７月１日				
８月				８月19日		
９月						
10月					10月28日	
11月			11月12日	11月15日		11月６日 オンライン
12月		12月26日				
１月						
２月				２月21日 オンライン		
３月						書面審議
計	２回	２回	１回	４回	１回	２回

2．要望活動

(1)　令和４年度福島県議会予算編成に対する要望（令和３年８月25日）
(2)　東北六県商工会議所連合会中央要望（令和３年11月18日　郵送）
(3)　令和４年度政府予算対策要望（令和３年12月４日）
(4)　福島県知事に対する要望（令和３年12月26日）
(5)　東北六県商工会議所連合会復興要望（令和４年１月24日　オンライン）
(6)　東日本大震災沿岸部被災地区商工会議所連絡会復興要望（令和４年１月24日　オンライン）
(7)　日本商工会議所東日本大震災からの「復興・創生」に関する要望（令和４年３月８日　オンライン）

3．所管省庁・関係団体等との懇談

(1)　東北経済連合会第54回東北地方経済懇談会（令和３年10月７日　オンライン）
(2)　日商三村会頭と東日本大震災沿岸部被災地区商工会議所連絡会との懇談会（令和４年１月24日　オンライン）

4．職員研修会

(1)　共済業務担当者研修会（令和３年９月21日　オンライン）

XI その他の会議等への参加

1．参加会議等

令和３年	
４月１日	福島駅東口市街地再開発事業事務局会議
４月３日	県立医大保健科学部記念式典
４月７日	ふくしま情熱通り実行委員会
４月９日	福島商業高校入学式
４月13日	福島市若者自立支援仕事体験事業事務局会議
４月13日	福島県在籍型出向等支援協議会
４月14日	中学生ドリームアップ事業推進委員会
４月15日	県北地域サポート委員会（第１回）
４月18日	第22回廃炉・汚染水対策福島評議会
４月19日	内外情勢調査会福島支部懇談会
４月22日	福島駅東口市街地再開発事業事務局会議
４月23日	福島イノベーションコースト構想推進機構　事務局次長等着任挨拶来所
４月23日	第６回総合計画・復興計画策定検討部会
４月24日	2021ミスピーチキャンペーンクルー選考会
４月24日	東北中央自動車道霊山IC ～伊達桑折IC間開通式典
４月26日	福島市中心市街地活性化協議会運営会議
４月26日	福島県新規高卒者就職促進対策会議
４月26日	東京2020オリパラ推進協議会総会
４月27日	コラッセふくしま管理組合施設管理運営部会
５月11日	㈠財)福島市中小企業福祉サービスセンター第１回理事会
５月11日	福島県ハイテクプラザ研究成果発表会
５月13日	コラッセふくしま管理組合理事会／定期総会
５月13日	福島駅東口市街地再開発事業事務局会議
５月13日	福島市ロケツーリズム推進会議総会
５月14日	福島県ハイテクプラザ中期ビジョン検討委員会
５月14日	東京オリンピック福島開催に関する説明会
５月14日	福島市入札監視等委員会
５月17日	福島市人材確保支援事業事務局会議
５月17日	内外情勢調査会福島支部懇談会
５月20日	福島県商工会館理事会
５月20日	福島踊屋台伝承会通常総会
５月21日	新規高等学校卒業者に係る求人要請
５月23日	東北絆まつり実行委員会総会
５月24日	花見山観光振興協議会観光案内部会
５月24日	INF取締役会
５月25日	福島コミュニティ放送㈱定時株主総会
５月25日	福島市高齢者生涯活躍プロジェクト協議会
５月26日	公財福島市スポーツ振興公社第２回理事会
５月26日	福島県信用保証協会理事会
５月27日	令和３年度福島市就職支援懇談会
５月27日	福島駅東口市街地再開発事業事務局会議
５月27日	福島まちづくりセンター取締役会
５月28日	福島駅東口市街地再開発準備組合理事会・通常総会
５月31日	ALPS処理水の処分に関する関係閣僚等会議ワーキンググループ
５月31日	第１回福島市行政改革推進委員会
６月１日	福島市観光コンベンション協会理事会
６月１日	㈱AC福島ユナイテッド経営会議
６月２日	第６回総合計画審議会
６月２日	福島大学絆会運営委員会
６月３日	小企業者税務援助推進協議会
６月３日	福島県火災共済協同組合理事会

６月３日	コラッセふくしま管理組合施設管理運営部会
６月７日	ふくしま産業賞専門委員会
６月10日	福島駅東口市街地再開発事業事務局会議
６月10日	福島県産業振興センター理事会
６月10日	東北経済連合会定時総会・理事会
６月14日	福島地方最低賃金審議会（第１回）
６月15日	福島県国際交流協会評議員会
６月15日	福島県商工会館総会
６月15日	福島県原子力損害対策協議会代表者会議
６月15日	福島県自家消費型再生可能エネルギー導入支援事業審査会
６月16日	内外情勢調査会６月全国懇談会
６月17日	ふくしま被害者支援センター定時総会
６月18日	福島空港ビル定時株主総会
６月22日	第１回ふくしま環境基本計画推進協議会
６月22日	福島県火災共済協同組合通常総代会
６月23日	福島市にサッカースタジアムをつくる会WG
６月24日	福島駅東口市街地再開発事業事務局会議
６月24日	福島地方最低賃金審議会（第２回）
６月28日	福島まちづくりセンター株主総会
６月28日	あづまの郷ウォーク大会実行委員会
６月29日	内外情勢調査会福島支部６月懇談会
６月30日	福島市観光コンベンション協会理事会
６月30日	㈱AC福島ユナイテッド経営会議
７月５日	福島県最低賃金専門部会（第１回）
７月６日	東北地方整備局等との意見交換会
７月６日	福島県スマートコミュニティ支援事業補助金審査委員会
７月６日	福島市立地企業懇話会総会
７月８日	福島駅東口市街地再開発事業事務局会議
７月８日	福島市安全で安心なまちづくり推進協議会
７月12日	福島市受動喫煙防止対策推進委員会
７月15日	福島県事業再開・帰還促進事業交付選定委員会
７月15日	ふくしま医療関連ビジネス研究会第２回役員会
７月16日	内外情勢調査会福島支部７月例会
７月19日	経営発達支援計画評価委員会
７月20日	高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会
７月26日	福島地方最低賃金審議会（第３回）
７月27日	福島県最低賃金専門部会（第２回）
７月27日	福島駅東口地区市街地再開発組合設立総会
７月27日	ふくしま環境フェスタ検討会
７月28日	第８回総合計画・復興計画策定検討部会
７月28日	福島県子ども・子育て会議
７月29日	第２回伊達地域雇用対策本部会議
７月30日	㈱AC福島ユナイテッド経営会議
８月２日	福島県最低賃金専門部会（第３回）
８月３日	創業等支援補助金審査会
８月３日	第１回ふくしま環境フェスタ検討会
８月３日	福島県最低賃金専門部会（第４回）
８月４日	浜通り地区等における来訪者による消費促進事業企画選定委員会
８月４日	東北経済連合会産業経済委員会幹事会
８月４日	福島市にサッカースタジアムをつくる会第４回WG
８月４日	第１回福島市地域情報化推進委員会
８月５日	福島地方最低賃金審議会（第４回）
８月５日	（仮称）福島市観光振興計画策定懇談会
８月５日	第23回原子力災害からの福島復興再生協議会
８月12日	第３回福島市中小企業振興会議
８月23日	福島地方最低賃金審議会（第５回）
８月24日	第７回福島県総合計画審議会
８月25日	東北絆まつり第４回幹事会
８月26日	コラッセふくしま管理組合施設管理運営部会

８月28日	第23回廃炉・汚染水・処理水対策福島評議会
８月31日	福島ユナイテッド経営会議
９月２日	「ふくしま国際施策推進プラン」改定に係る有識者会議
９月２日	福島県中小企業振興審議会
９月２日	地球にやさしい“ふくしま”県民会議幹事会
９月３日	経営改善普及事業に係る福島県表彰審査委員会
９月７日	内外情勢調査会福島支部９月例会
９月15日	福島県ハイテクプラザ中期ビジョン検討委員会
９月15日	福島県プロフェッショナル人材戦略協議会
９月16日	県北地域サポート委員会（第３回）
９月16日	令和３年度第１回街なか創業者支援検討会
９月22日	古関裕而氏の野球殿堂入りを実現する会総会
９月22日	福島地方最低賃金審議会専門部会
９月27日	福島市にサッカースタジアムをつくる会第５回WG
９月28日	福島県地域訓練協議会ワーキングチーム会議
９月29日	『（仮称）福島市観光振興計画』策定懇談会
９月30日	福島県事業再開・帰還促進事業交付金交付先選定委員会
９月30日	AC福島ユナイテッド経営会議
10月１日	東北エネルギー懇談会企画委員会
10月７日	福島市技能功労者選考委員会
10月11日	福島県魅力ある職場づくり推進協議会作業部会
10月12日	福島市若者自立支援仕事体験事業事務局会議
10月13日	第２回新しい産業未来ビジョンふくしま策定有識者懇談会
10月13日	福島市高齢者生涯活躍プロジェクト協議会
10月18日	コラッセふくしま管理組合施設管理運営部会
10月19日	福島市発明くふう展審査委員会
10月19日	福島地方最低賃金審議会専門部会
10月19日	福島県原子力発電所の廃炉に関する安全確保県民会議
10月19日	第１回東北中央自動車道利活用促進に関する懇談会
10月21日	アカデミア・コンソーシアムふくしま第３回事業推進会議
10月21日	内外情勢調査会福島支部例会
10月25日	福島県事業再開・帰還促進事業交付金交付先選定委員会
10月26日	最低賃金審議会専門部会
10月26日	コラッセふくしま管理組合理事会
10月26日	福島市入札監視等委員会
10月26日	令和３年度福島市就職支援懇談会
10月27日	東北エネルギー懇談会理事会
10月29日	㈱AC福島ユナイテッド経営会議
11月２日	金融に関する懇談会
11月４日	第３回ふくしま環境基本計画推進協議会
11月４日	福島県地域訓練協議会
11月９日	福島市若者自立支援仕事体験事業事務局会議
11月９日	第２回街なか創業者支援検討会
11月９日	第７回ふくしま産業賞専門委員会
11月10日	福島市行政改革推進委員会第２回委員会
11月12日	福島県自立支援協議会障がい者差別解消支援部会
11月15日	東北税理士会福島県支部連合会五者連絡協議会
11月19日	福島県産業振興センター理事会
11月19日	健康長寿ふくしま会議健康経営推進部会
11月22日	福島市観光コンベンション協会理事会
11月22日	駅東口・西口駅前広場の管理に関する作業部会
11月22日	福島県魅力ある職場づくり推進協議会
11月24日	内外情勢調査会福島支部例会
11月25日	中小企業振興審議会
11月26日	花見山観光振興協議会監査会・役員会
11月26日	福島松川スマートIC地区協議会担当者会議
11月26日	福島まちづくりセンター取締役会
11月29日	花見山観光振興協議会総会
11月30日	福島県商工会館理事会

11月30日	ハイテクプラザ第３回中期ビジョン検討委員会
11月30日	㈱AC福島ユナイテッド経営会議
11月30日	東北経済連合会産業経済委員会
12月３日	福島県火災共済協同組合理事会
12月６日	トラック輸送における取引環境・労働時間改善福島県協議会
12月10日	小企業者税務援助推進協議会
12月10日	若年技能者人材育成支援等事業第２回連絡会議
12月17日	㈱AC福島ユナイテッド経営会議
12月20日	コラッセふくしま管理組合施設管理運営部会
12月22日	福島圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会
12月24日	福島県信用保証協会理事会
12月24日	福島市観光コンベンション協会臨時理事会
令和４(2022)年	
１月５日	福島県労働福祉協議会新春交歓会
１月７日	福島県子ども・子育て会議
１月７日	JA福島五連新年懇談会
１月12日	福島県銀行協会理事会
１月13日	実湧満彩ふくしま路ウォーキング運営委員会
１月17日	福島県在籍型出向等支援協議会
１月19日	福島圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会
１月20日	第37回福島県民の警察官表彰選考委員会
１月20日	小企業者記帳指導協議会
１月21日	高齢者活躍・活用促進連絡会議
１月31日	コラッセふくしま管理組合理事会
１月31日	㈱AC福島ユナイテッド経営会議
２月４日	福島市保健所運営協議会
２月７日	福島県ハイテクプラザ中期ビジョン検討委員会
２月８日	福島市水素社会実現推進協議会
２月８日	福島市若者自立支援仕事体験事業事務局会議
２月９日	福島県銀行協会理事会・臨時総会
２月12日	第24回原子力災害からの福島復興再生協議会
２月22日	福島市自殺対策ネットワーク会議
２月22日	福島市入札監視等委員会
２月24日	内外情勢調査会福島支部例会
２月25日	福島まちづくりセンター第131回取締役会
２月25日	産業ビジョン第３回策定有識者懇談会
２月25日	東北経済連合会産業経済委員会幹事会
２月25日	福島市功労表彰審査会
２月28日	福島市産官学連携プラットフォーム推進会議
２月28日	福島市スポーツ振興公社理事会
２月28日	AC福島ユナイテッド取締役会
３月１日	福島商業高等学校卒業証書授与式
３月７日	福島市観光コンベンション協会理事会
３月７日	コラッセふくしま管理組合施設管理運営部会
３月10日	東北エネルギー懇談会企画委員会
３月11日	福島県産業振興センター理事会
３月18日	コラッセ管理組合総会
３月22日	福島市若者自立支援仕事体験事業事務局会議
３月22日	内外情勢調査会福島支部例会
３月23日	旧広瀬座事業実行委員会
３月23日	東北中央自動車道の利活用促進による地域活性化協議会
３月24日	福島県高等学校就職問題検討会議
３月24日	福島県原子力発電所の廃炉に関する安全確保県民会議
３月24日	東北経済連合会産業経済委員会
３月25日	福島県信用保証協会理事会
３月25日	東北情報通信懇談会運営委員会
３月25日	東北経済連合会第41回理事会
３月30日	福島経済同友会会員懇談会
３月31日	㈱AC福島ユナイテッド経営会議